澱江

DENKO

春近し（寒雀）

'94

大阪経済大学同窓会

新しいシンボルマークと
ロゴタイプが決まりました。

KEIDAI
OSAKA

シンボルマーク等を利用される場合は、使用マニュアルがありますので大学広報部へお問い合わせください。

KEIDAI OSAKA 大阪経済大学 OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

「エコノ・ロマンティストの世紀へ」

母校では、新しいシンボルマークとロゴタイプを決定し、同時に新しいキャッチフレーズ「エコノ・ロマンティストの世紀へ」も決定しました。そして、11月3日に皆さまに発表いたしました。

一見落書きのように見えるグレイッシュ・ピンクのマーク。このマークの1本の直線は、母校の伝統である「実学」を、螺旋状の曲線は、「夢」や「ロマン」を象徴しています。単に学問、実務ができるだけでなく、夢やロマンも語れるような人間「エコノ・ロマンティスト」を育てていきたいという母校の理念を表現するものです。

同窓会総会で卒業生に、大樟祭のステージで在学生に、それぞれ発表しましたが、どちらからも〝ユニーク〟〝可愛い〟〝きれい〟〝しゃれている〟などおおむね好評でした。

今後共、母校はこのシンボルマークとキャッチフレーズのもとに、新しい時代の扉を開いていくことと思います。

1994 No.30

グラビア
新シンボルマーク・ロゴタイプ……1
同窓会総会……2
特集 インタビュー
「心のふるさと、我が母校」スポーツ界に光る 母校の星たち……3
◆キャンパスライフ……12
ホワイトミュー基礎スキー同好会
クラブ戦績……17
◆学園ニュース……18
理事長・学長あいさつ
教務／入試／就職 ほか
◆ゼミ短信・先生の近況……28
◆本部だより……39
会長あいさつ／総会／理事会／全国支部長会
◆支部だより……43
話題の同窓生（佐藤常十郎氏44／森安欣吾氏・新田和弘氏・上野山親主氏46／三宅孝治氏49／松保寿氏51
平成6年支部総会一覧……52
支部長一覧……53
◆OBネットワーク……54
ホットインタビュー
桑原泰業氏・北元喜雄氏・田中宏和氏・成田徹氏……63
◆北から南から……69
◆お知らせ——事務局……75

表紙写真紹介

中村 一雄（なかむら・かずお）

ダイビング

【略歴】
1931年　滋賀県彦根市に生まれる
1955年　大阪経済大学経済学部を卒業
1991年　松下電器産業株式会社を定年退職
1948年頃（中学時代）に写真を始め、1952年頃から全日本写真連盟理事であった故川崎亀太郎氏より指導を受ける。中学時代から写真の世界に魅せられ、自然や鳥などを趣味として撮り続け、現在にいたるまでアマチュア写真家として活躍、主にネイチャーフォトの作品づくりに励んでいる。
彦根市写真展無監査滋賀県写真展で県展賞・特選を受賞。その他各種フォトコンテストに入賞すると共に『日本カメラ』誌月例フォトコンテストで年度賞を受賞。また『日本フォトコンテスト』誌でも第6位をはじめ3年連続上位入賞に輝く。1962年10月と1963年6月には「湖風」をテーマに大阪で2回個展を開く。また、1964年5月にも滋賀県立近代美術館で、11月には彦根市民ギャラリーにおいて「淡海に生きる——湖国の野鳥たち——」をテーマに個展を開催する。現在、彦根写真連盟会長・全日本写真連盟彦根支部長・滋賀県写真連盟理事を務めオール関西写真集団滋賀地区委員などの各種写真団体にも所属し活動を続ける。

「澱江」の由来

題字：渡辺達好名誉会長

初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ　我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。
ちなみに岩波漢語辞典によれば、【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。「淀」は「澱（でん）」に通ずる。と記載されています。

OUR STARS

特集：インタビュー

心のふるさと、我が母校

スポーツ界に光る 母校の星たち

今、プロ、アマを問わずスポーツに関心を寄せ熱中している人が多い。
野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、相撲…。
テレビのスイッチを入れれば、いつでもスポーツ界のスターに出会うことができる。
ところでその活躍している選手たちの中に、
私たちの同窓生が数多くいることをご存じであろうか。
そこで今回は、スポーツ界で生きる若き同窓生を訪ねてみた。
インタビューに応じてくれたのは野球、サッカー、
アメリカンフットボールで活躍する各界の選手たち。
学生時代から現在のプロ生活にいたるまで、
その熱い胸のうちを語ってもらった。

〈野球〉
有働克也(58)
［横浜ベイスターズ］

〈サッカー〉
長谷川祥之(58)
［鹿島アントラーズ］

〈サッカー〉
土田尚史(55)
［三菱浦和レッズ］

〈アメリカンフットボール〉
白岩弘司(56)
［松下電工インパルス］

〈アメリカンフットボール〉
中西克仁(59)
［松下電工インパルス］

●インタビュアー：加藤正秋（10）　前東海支部長
波根伸俊（32）　同窓会広報部長、本学就職部

平成6年度 大阪経済大学同窓会総会

11月3日

▲加藤前東海支部長へ感謝状贈呈

◀磯野会長あいさつ

▲参加者が続々と訪れる会場受付

▲故松本副会長への感謝状をご夫人へ

▲中川前泉南支部長(代理)へ感謝状贈呈

▲松岡広報委員長が新しい
シンボルマークとロゴを発表

◀磯野会長、鈴木理事長、
上島学長による鏡開き

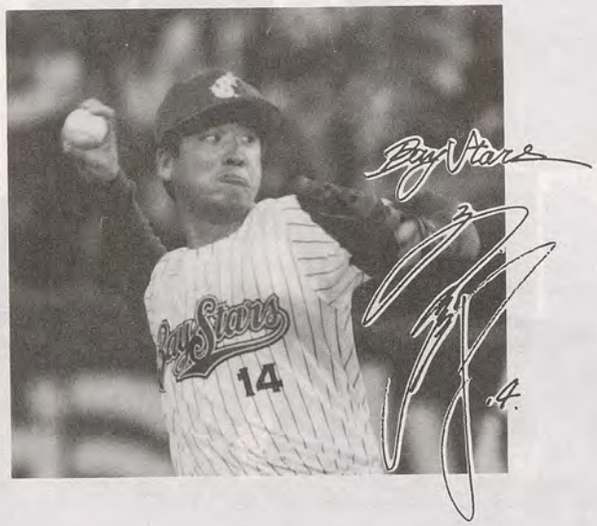
▲立食パーティーでなごやかに歓談

▲吹奏楽総部による歓迎演奏

▲経大逍遥歌を作曲者の
松川氏を囲んで合唱

▲井阪東京支部長による三本じめ

互いに切磋琢磨した学生時代。大投手としての道はその時から始まっていた。〈野球〉



PROFILE

有働克也　(58)

[横浜ベイスターズ所属]

身長182㎝／体重88㎏／兵庫県出身／昭和44年9月24日生／血液型A型／神港学園高校卒業。高校時代は控え投手であったが10連続奪三振の記録をもつ。母校では1年の春にMVPを獲得。通算成績26勝2敗。'91年3月大洋ホエールズ(現横浜ベイスターズ)に入団。

有働克也投手(58)は、現在横浜ベイスターズで活躍する、将来を有望視された選手である。母校の入学に際しても仲川雅俊現硬式野球部監督(30)は「50球投げさせたうちの2球に光るものがあった」と語っている。少年時代からボールを握り、大学時代にMVPを獲得するなどその野球人生に花開かせた。これからもテレビの向こうのVサインに大いに期待したい。

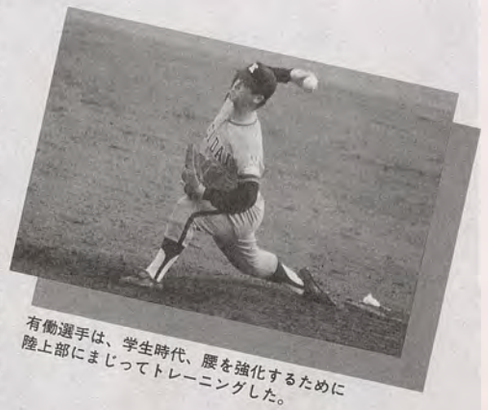
母校の立役者、栄光は今も

3年前に卒業したばかりの58期生といえば、記憶に新しい同窓生も多いだろう。関西六大学野球連盟で優勝して、全日本の神宮大会へ出場。延長戦で愛知学院大学に惜敗したが、母校の名前を全国にPRしてくれた立役者である。

卒業と同時に大洋球団（現在の横浜ベイスターズ）へドラフト3位に指名されて入団。早速、対阪神戦で中継ぎ投手としてマウンドを踏んでいる。この一戦の記録には勝利とも敗戦ともものらなかったが、その後、常に一流選手として活躍。昨シーズンは6勝6敗の輝かしい成績をおさめている。

投手だがバットも時には火をふく。去る6月、甲子園で阪神を破った時も、2死満塁に2塁打を放ち、勝利投手にハクをつけた。今シーズンは6月末ですでに4勝4敗、この調子でいけば昨シーズンを上回ることは間違いない。

有働選手は神戸市出身、神港学園からスポーツ推薦で母校へ入学した。高校時代からもちろん投手として活躍したが、残念ながら前評判だけで、甲子園へ出場することは一度もなかった。プロでも通用する実力をつけたのは経大の野球部時代だったようだ。



有働選手は、学生時代、腰を強化するために陸上部にまじってトレーニングした。

山本晴義前学長は同窓会総会で

「どの会議に出てもえらい評判ですわ。野球がこんなに学校をPRしてくれるとは…」

と嬉しそうによく語ったものである。

有働選手は母校の話になると笑顔になる。シーズン前に浜野有未さんと恋愛結婚した

が、彼女は経大の同級生、おまけに野球部のマネージャーを務めていた。こういえば、彼が学生時代をいかにエンジョイしていたかがうかがえよう。

披露宴と新婚旅行は、シーズンオフまでお預けだそうだが、経大は彼にとって生涯忘れられない「思い出の楽園」になることは言うまでもない。

茶の間から画面の向こうにエールを送る

テレビの画面を通じ、茶の間へ届けられるマウンド姿からは想像もできない柔和な顔立ち、物腰も丁重な好青年だが、プロ根性はなかなかなものである。

現在の彼の喜びも悲しみも「すべて結果が出るかどうかにある」。そう彼は強調する。結果とは試合に勝つか負けるかである。「結果が出ればチームへ貢献でき、自分のためにもなる」。彼らしい人生訓ともいえる熱のこもった言葉だ。

母校の野球部員の後輩へも「地味にコツコツ励むこと、そして周りから信頼される選手になってほしい」と自分のメッセージを語ってくれた。

今ここに茶の間で会える立派な同窓生が誕生したわけである。これからの活躍に心からの声援を送りたい。

（加藤正秋記）

有働選手に直撃！アンケート

Q 学生時代から現在にいたるまで1番心に残っている試合はいつごろの何の試合ですか？ また、その理由は？
A 大学4年時、秋の関西地区代表決定戦の決勝戦（対近畿大学）。 最初で最後の神宮大会出場を決めた試合だったから。
Q あなたのスランプ克服法は？
A 睡眠
Q 今関心のあることは何ですか？
A ゴルフと釣り
Q 自分を動物にたとえると何だと思いますか？ その理由は？
A クマ。体形と気性が似ていると思うから。
Q 座右の銘を教えてください。
A この一球

「コーチは1人だったから選手全員を指導する余裕までなく、選手が互いに切磋琢磨した」と有働選手は当時をふり返る。

また、「投手として思わぬ早さで試合に登板できたのは、エースが卒業した直後だったのでラッキーでした」と語る。その姿勢は謙虚だが、もともと大投手としての素質があったことはいうまでもない。

その活躍に、誰もが胸を熱くした

彼の目覚ましい活躍も手伝って、経大は関西六大学リーグで何シーズンもトップの座を占めることになる。その輝かしい戦歴は当時の同窓会の全国支部長会でも「経大の名前が地方紙でもよく活字になる」と話題になった。

横浜ベイスターズ 有働克也選手へ!!

広島支部長 佐々木一義

☆'95年目標を15勝に…

去る9月9日のヤクルト戦で7勝を記録した。これはこれまでのレコードではあるが、彼の実力からすれば2ケタ勝利は当然のことである。そこで、来シーズンこそ「石の上にも三年」でありガムシャラに15勝投手を目指してほしい。そのためには先発要員投手だけでなく、先発完投投手を目指して頑張ってもらいたい。

もちろん、監督の信頼を得ることもさることながら、精神的にも後半6回から集中力を高めることと、技術的にも独特の投球技術を生み出すことにより達成可能であると考える。

☆自信と勇気を持つこと

私は大のカープファンだが、彼が投げる場合は絶対横浜ファンに変身する。彼のバックには50,000人余りの大経大OBがおり、内助の功顕著な有未夫人に支えられていることを忘れないでほしい。

今年限りで引退する広島カープの北別府投手のように絶妙のコントロールで、19年間に213勝をあげた例もある。もちろん、技術的にも投球リズム、タイミング、フォーク、シンカー、パームボール等、スピードとのバランス、特に左打者への対応や苦手のバッター数人への対応等課題も多いが、結論として、彼はもとよりすばらしい性格の持ち主である。これに加えて、自信と勇気を持つことにより不可能なことはないものと考える。

過去2年間、開幕投手をつとめた
実績のある有働投手!!
来シーズンの活躍を大いに期待します。

人生にピンチはつきもの。それを乗り越えてこそひと回りもふた回りも大きくなる。〈サッカー〉

母校のサッカーの歴史は古い。昭和16年、関西学生サッカーリーグで準優勝。31年、49年同1部リーグで優勝。45年は全日本選手権大会で第3位の栄光を勝ち得ている。この伝統を継いで現在Jリーグで土田尚史選手(55)と長谷川祥之選手(58)が活躍している。この2人に母校のサッカー部元監督、日本サッカー界に知己の多い西山昭吾氏(16)のご協力を得てインタビューをすることができた。

静と動を合わせもつ、プロの顔

2階のオフィスを訪ねると、新井広報室長の好意的な歓迎を受けた。母校の取材ということで大変協力的であった。

「長谷川選手は現在ケガをしており、自由行動中ですが、午後4時半からトップチームの練習がありますので、それまでには当クラブハウスに参るでしょう」とのこと。

一瞬驚き、不安を感じながら待機している と、屋外で「アルシンド」「大野」などという子供たちの歓声が聞こえはじめた。そうこうしているうちに、われわれの応接室に長谷川選手が姿をみせた。Tシャツに半パン、右足の膝には白い包帯を巻き、少し足をひきずるように歩いている。しかし、歩行には支障がないようであった。

色艶の良いサッパリした顔つきで、物静かな雰囲気は、背丈のある普通の青年である。学生時代フォワードとして1部リーグで何度となく得点王に輝き、プロになってからもほとんど全試合に出場。得点ランキングでも常時上位を保っている人物だとは到底感じさせない物静かさである。ユニホームに身を固め、グラウンドに立った時、この物静かな青年は見事に変身し、集中力を発揮させるのだろう。

「ガンバ大阪との対戦で負傷しました。右膝の皿を骨折し、今月いっぱい休めということで2週間ほどになります。幸いたいしたことはないので、Jリーグ第2ステージには出場できます」と力強く語る長谷川選手に、すかさず西山氏が激励した。

「ケガは完全に治せよ。ケガやスランプの時にはあせらず、精神的にもひと回り大きくなってほしい」。この言葉に長谷川選手も「自分としてもリフレッシュの良い機会だと思っています。監督さんをはじめ皆さんも温かく回復を待ってくれています」と今の心境を素直に語ってくれた。

長谷川選手が机を並べ学んだ浜本泰ゼミの学生と共に。

ジーコ、アルシンドとプレーできる今が最高の時

「この3年間ジーコ選手やアルシンド選手と一緒にプレーできたことは私にとって宝です。ワールドカップに出場した選手と一緒にプレーすることはそう簡単にはできません。ジーコ選手は試合や練習以外も、生活のすべてがサッカー人生です。アルシンド選手は本当に陽気な人ですが、ひとたびグラウンドに立つと変わります。切り替えがすばらしい人です」。世界の第一線で活躍する選手との出会いは、長谷川選手にプロのプレーヤーとは何かを教えてくれたようだ。

そんな長谷川選手から後輩へのアドバイスは「目的が大事だ。プロを目指すならその目的に向かってプレーすべきだ。他人と同じことをしていては駄目だと思う」ということである。また、大学には「学生の試合や、卒業生が出場する試合には実際にスタジアムに行って観戦するなり、もっと応援をしてほしい」との要望である。

写真提供：鹿島アントラーズ　桜井由美

PROFILE

長谷川　祥之　(58)

[鹿島アントラーズ所属]

身長179cm／体重67kg／京都府出身／昭和44年2月11日生／血液型AB型／1993年で一番感動したことは、ファーストステージで優勝したこと。ポジションはフォワードで、得意とするプレーはヘディング。同チームの黒崎選手と共に〝ツインタワー〟と呼ばれる。

インタビュー後、長谷川選手は、プレーできないにもかかわらず、仲間が練習しているグラウンドへ足をひきずりながら向かって行った。「近く結婚します」と明るく話した彼だが、背中では「プロの風はきついです。試合に出場し、活躍しなければ意味がありません」と語っているようであった。

ケガに泣いた時もあるしかし、それを乗り越えたから今がある

長谷川選手の取材を終え、われわれは三菱浦和レッズが宿舎としているホテルへ向かった。約束時間は午後7時。1時間以上前にホテルへ到着すると、ひと際長身で大柄な土田選手が、汗っぽいユニホーム姿でチェックインしていた。福田選手の欠場でチームのキャプテンを務める彼は、長谷川選手より2年先輩。堂々とし、落ち着いている。

着替えを終えてロビーで再会した彼は、Tシャツに半パン、リラックスした頼もしい好青年に変身していた。西山氏が同伴ということで、同氏知己の中村コーチも同席することとなった。西山氏が昨年の左膝負傷による長期欠場に触れると、彼は力強い口調で当時のようすを語ってくれた。

「一昨年のナビスコカップで負傷、完全治癒を前に膝をこじらせ、去年の8月手術、長期欠場をしました。チームには外人GK（ゴールキーパー）が補充され、正直言って再起に不安も持ちました。しかし、プロサッカーチームは浦和レッズだけではないと自分に言い聞かせ、完全治癒に専念しました。治癒後は、余裕もなかったのか、チームよりも自分を大切にし、わがままに振る舞ったと思います。そして、偶然、監督の交代があり、GK出身の監督から多くのことを学ぶことができました」。土田選手の話が終わると西山氏は首肯しながらゆっくりと話し始めた。

「長谷川選手も今ケガをしている。彼にも言ったのだが、スポーツ選手にはケガやスランプなど、われわれ実業人には倒産など、人生には幾度かのピンチがつきものである。しかし、悪く考えずに、良いように良いようにベストを尽くしていると、必ず好転する。その意味では仏教的になるが、われわれ個人の域を越えた、何か大きな力、作用が確かにあ

長谷川選手に直撃！アンケート

Q 学生時代から現在にいたるまで1番心に残っている試合はいつごろの何の試合ですか？ また、その理由は？

A 3年前の本田技研時代、ナビスコカップ決勝戦（本田VSトヨタ）。120分間戦って5対6の接戦の末優勝できたから。

Q あなたのスランプ克服法は？

A 何も考えないでリラックスする。

Q 今関心のあることは何ですか？

A ドライブ

Q 自分を動物にたとえると何だと思いますか？ その理由は？

A カンガルーまたはカエル。ジャンプばかりしているから。

Q 座右の銘を教えてください。

A 努力

る。そして、それを乗り越えた者はひと回りも、ふた回りも大きくなると思う」実感のこもった言葉である。

プロと呼べる日まで全速力で走り続けたい

「われわれはまだプロになり切っていません。ワールドカップで昨年優勝した、ドイツのブッフバルト選手が最近チーム入りしました。現役のバリバリの選手です。老成したジーコと違ったものを彼から多く学びたいと思います」と、目を輝かせながらその熱意のほどを明かした。そんな土田選手を同席のコーチがすかさず次のように評した。

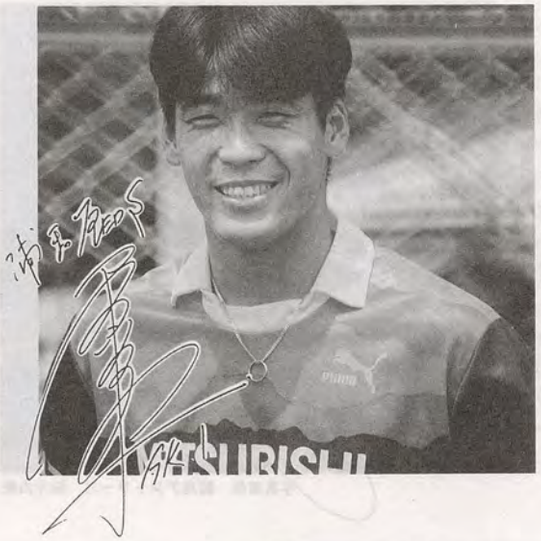
「土田はキャプテンとなったせいか、チームの守護神、指令塔として態度が変わりました。負け試合でも、ボールめがけて走り、試合後は、率先してサポーター、ファンの前に走りサポーターの声援に応えています。彼が走ればチーム全体が後に続きます」

後輩、母校へのメッセージを尋ねると、「良い選手を生み出すためにも、早くAリーグへ復帰してほしい。そのためには、母校はハード面、ソフト面で、抜本的に現状を改革してほしい」とのことである。

西山氏の話では「サッカー界のOBは彼らだけではない。横浜フリューゲルスには木村ヘッドコーチが、鹿島アントラーズには里内コーチと小松スクール総監督が、広島サンフレッチェには高橋コーチなどたくさんいます」ということ。

取材を終えて、母校のためにいつでも献身的に協力してくださる同窓生のありがたさを改めて感じると共に、これからプロサッカーの熱戦をご覧になる同窓生の方に、ぜひ浦和レッズのゴールキーパーとして活躍する土田選手と、ケガが完治し鹿島アントラーズの闘士としてゴールへ突進する長谷川選手に、心から拍手を送ってほしいと思う。

（波根伸俊記）



PROFILE

土田 尚史（55）

［三菱浦和レッズ所属］

身長187㎝／体重85㎏／岡山県出身／昭和42年2月1日生／血液型O型／岡山理大付属高校でサッカーを始め、1年からレギュラーとして活躍。大学4年時に日本代表Bに選ばれアジアカップに出場。三菱入りと同時に南米遠征に参加。ゴール前での体を張ったプレーに定評がある。

土田選手に直撃！アンケート

Q 学生時代から現在にいたるまで1番心に残っている試合はいつごろの何の試合ですか？また、その理由は？
A 大学4年時の関西学生リーグ昇格戦（対関西学院大学）。1部昇格をかけた、学生最後の試合でもあり、2対1で勝ち、昇格を決めたから。
Q あなたのスランプ克服法は？
A 人の意見を素直に聞くこと。
Q 今関心のあることは何ですか？
A ドライブ
Q 自分を動物にたとえると何だと思いますか？その理由は？
A イヌ。ひとなつっこいから。
Q 座右の銘を教えてください。
A 継続は力なり

土田選手は、学生時代、浜本泰ゼミで知力のほうも柔軟に鍛えた。

追いつ追われつ ダブル・ボンバーズの2人で〈アメリカンフットボール〉全国制覇を狙う。

アメフトファンならおなじみの松下電工インパルス。このチームに所属する白岩弘司選手（56）と中西克仁選手（59）は、スポーツ紙や、アメフトマガジンにもたびたび登場する人気スターだ。学生時代ともに戦った先輩と後輩が、今は社会人として熱い旋風を巻き起こしている。そんな2人を松下電工の本社ビルに訪ねてみた。

優れたスポーツマンは優れた企業人

巨大なインテリジェントビル1階の広いロビーで待つこと数分、心地よい靴音を響かせ両名が颯爽と登場した。会社の制服に身を固めた2人は、さすがに大きくガッシリしている。それよりも何よりも、2人は底抜けに明るく、接客マナーがすばらしい。優れたスポーツマンであると同時に、優れた企業人を目指しているのが強く印象に残った。なお、アメリカンフットボールに疎い私は、苦しい就職戦線のなか内定したばかりの本学アメリカンフットボール部女子マネジャー宮崎さんに同行願ったが、彼女のおかげで若く明るい雰囲気の取材が可能となり、大いに助かった。

両選手とも、アメリカンフットボールを始めたのは母校入学後とのこと。ボンバーズ（爆撃機隊）というチーム名をもつ母校チームは、関西学生リーグデビジョンIIに所属している。白岩選手が4回生のとき中西選手が入学、1年間一緒に汗を流しプレーしたことになる。学生時代の思い出は両者ともに、4回生時に戦った試合のこと。

「リーグ優勝をかけ関大と試合を行い、熱戦の末、引き分けました。プレーオフとなった再試合では、ボロ負けしてしまいました。第2戦が実力だったのでしょうが、相手チームを研究し尽くした第1戦で勝つチャンスはあったのです」と語る白岩選手。中西選手は「近大のリーグ戦優勝決定後の消化試合ではありましたが、最終戦で、その近大に勝利したことです。出場メンバー等事情はあるにしても、勝利の意味は大きかったと思います」と、お互いに当時のことを懐かしみながら答えてくれた。

2人がいつも練習を共にしたボンバーズのメンバーと。

お互いが惚れ込んだ好敵手

白岩選手は、1990年春卒業、持ち前の積極志向と、「2部の星」と自称するその素質と実力をかわれ、何ら縁のなかった松下電工株式会社に入社。大学のチームメイトからは祝福の歓声があがった。時あたかも、新旧交代を推進していた松下電工インパルスは、入部1年目の彼をスタメンとして起用。しかも、この年、同チームは彼の大活躍もあり、オンワードを下し初の社会人日本一を奪取したのである。「運も実力のうち」と言われるが、白岩選手は正に強運を引き寄せる男であると思われる。

さらに、1993年の入社4年目。92年社

白岩選手に直撃！アンケート

Q 学生時代から現在にいたるまで１番心に残っている試合はいつごろの何の試合ですか？ また、その理由は？
A 社会人１年目の1990年12月、'90社会人決勝東京スーパーボール(対オンワードオークス)。初の社会人日本一に輝き、また、スターティングメンバーで出場し勝利に貢献できたから。
Q あなたのスランプ克服法は？
A 大活躍している時のビデオを見て天狗になること。
Q 今関心のあることは何ですか？
A 食べることと結婚したての女房。
Q 自分を動物にたとえると何だと思いますか？ その理由は？
A ドテチン(「はじめ人間ギャートルズ」のキャラクター)。体と耳が大きく、学生時代からみんなによく言われていた。
Q 座右の銘を教えてください。
A 何もしない「０」よりも10－10の「０」に価値あり

1994.8.3.

PROFILE

白岩　弘司　(56)

［松下電工インパルス所属］

身長185㎝／体重99㎏／大阪府出身／昭和42年５月16日生／血液型B型／母校では攻守両ラインを兼任。４年の時に西宮ボウルのジュニア（２部）オールスターに選ばれる。持ち前のポジティブ志向で縁もゆかりもない松下電工インパルスに入る。現在インパルス率いる主将である。

会人日本一を惜しくも逃したインパルスは、監督以下新体制を敷き、チーム主将に白岩選手を決定した。そして今年、創部20周年を迎える同チームは、今春、第40回西日本社会人選手権で優勝を果たした。白岩選手が率いるインパルスチームが、この『澱江』が発行される頃、１９９４年の全国制覇を果たしていることは夢でないかも知れない。

一方、中西選手は、白岩選手が学生時代、そして卒業後も暇を見つけて後輩の指導をしながら、「一緒にプレーしたい奴」と注目をしていた後輩である。(現在、白岩選手にかわり中西選手が後輩の指導にあたっているとのこと)　彼は卒業後、念願がかない、憧れそして尊敬する白岩先輩が勤める松下電工株式会社に入社することができた。

入社１年目は、公式試合に１度ぐらいしか出場できなかったが、持ち前のスピードに加えウエイトも充実させ、２年目の今年はほぼスタメンとして定着。なんと、白岩主将のもと、今春優勝を果たした西日本社会人選手権の決勝戦では、談話や写真入りでスポーツ紙が取り上げるほどの大活躍をした。その談話では「自分が活躍し、白岩さんに喜んでもらう第１の目標は達成できました。次の目標は、白岩さんに追いつき、追い抜くことです」と、力強く語っている。

仕事にもスポーツにも誇りをもっている

社会人スポーツにおける、仕事とスポーツの両立について尋ねると、

「他の社会人チームは知りませんが、松下電工では完全に両立させています。強いて言えば、仕事優先です。先輩たちのそんな姿を見聞きし、我々も負けずに頑張っています。シーズン以外は、週３回、時間外に練習しますが、チーム全員が揃うことはほとんどありません。仕事が残っておれば、練習後、職場に戻り深夜まで仕事をします。合宿はお盆の夏休暇を利用し行います。だから、仕事にも、スポーツにも誇りを持っています」とのこと。たいした体力と、精神力だと、改めて感心させられてしまった次第である。

白岩選手は、学生時代、攻守両ラインを兼任したパワフルな選手だった。

中西選手に直撃！アンケート

Q 学生時代から現在にいたるまで１番心に残っている試合はいつごろの何の試合ですか？ また、その理由は？
A 社会人２年目の1994年５月、'94西日本社会人選手権決勝戦(対MYCAL)。社会人になって初めて活躍でき、IMPULSEの一員として自覚ができたから。また、優勝という喜びを感じられた。
Q あなたのスランプ克服法は？
A 活躍した時(したと思う時)のプレーをイメージする。
Q 今関心のあることは何ですか？
A 飲むこと(もちろんお酒)
Q 自分を動物にたとえると何だと思いますか？ その理由は？
A サルとワニ。サルは落ちている物を食べるから。ワニは顔が似ているから。
Q 座右の銘を教えてください。
A 気分転換

母校への２人の要望は「施設・設備は言い出したら切りがありません。それなりに整っているし、設備より前に、学生部員が自ら解決すべき課題の方が多々あると思います。しかし、スポーツ推薦制度はぜひ見直してほしいと常々思っています。アメリカンフットボールのような新興クラブは、部員数は多くても、推薦の枠が０です。たとえ２、３名でも推薦枠を設け、シッカリした選手を獲得し、時代にあった将来性のあるクラブに育ててほしいと思います」ということであった。切々と語る表情にはかなり厳しいものがうかがえた。

未来永劫、有為な青年を育てる大学にとって、一般学生を含めた大学のスポーツ振興策は、主要な大学政策の一つであると思う。教育・研究充実策と共に、決してないがしろにしたくない課題であると思われる。それは、学生だけでなく、明るい教育環境を準備すべき教職員にとっても主要な課題であろう。

PROFILE

中西　克仁　(59)

［松下電工インパルス所属］

身長178㎝／体重93㎏／兵庫県出身／昭和45年５月20日生／血液型A型／母校から白岩選手に憧れて松下電工インパルスに入る。急成長株として有望視されており、現在、ディフェンス・タックルという２名定員の厳しいポジションを白岩選手と２人で守っている。

西の浪速を制し東の江戸に乗り込む

最後に、２人は声をそろえて、「今年は、アメリカンフットボールで西の浪速を制し、東の江戸に乗り込み、全国を制すのが我々の合言葉です。思い上がった願望かも知れませんが、どうか、応援をよろしくお願いします」ときっぱりと語ってくれた。

白岩選手が、「たまに、有働君と電話で話すことがありますが、卒業年次からいうと、確か、サッカーの土田さん、次が私白岩で、続いてサッカーの長谷川君、そして、野球の有働君、アメフトの中西と続きます。ぜひ、この５名が一堂に会し、食事でもしながらスポーツ談義に花を咲かせてみたいと思います。年休を利用しますので、何とか実現してください」と、宿題を出されてしまった。

２人は、アルコールにも強いとのこと。頼もしく明るい青年からエネルギーを吸収したい同窓がおられましたら、ぜひ、彼らを誘い、激励してあげてください。

（波根伸俊記）

中西選手は、ボンバーズ時代から白岩選手を目標に頑張っていた。

★CAMPUS LIFE★ キャンパスライフ

やっぱりサークル！ されどクラブ？

クラブ離れが進みサークル（大学公認の同好会・愛好会、以下サークルと呼びます）に人気が集中する今、学生たちはサークルをどのようにとらえているのでしょうか。ひと言にサークルといっても多種多様。友だちの延長線上にできたようなものから、クラブと言わないだけで実態はそれと変わらないものまであります。そこで今回は、「なぜサークルを選ぶのか」「サークルとは何か」を、ホワイトミュー基礎スキー同好会にスポットをあてて探ってみました。

在籍人数の対在学生比 第2位を占めるサークル

現在経大では、体育会系が32クラブ、芸術会系が11クラブ、学術会系が10クラブ、独立総部が6部あります。これに比べサークルの数は24(学校が公認のもの)。'93年度のクラブ・サークル在籍人数の対在学生比を見ても、体育会15.6%、芸術会6.7%、学術会4.1%、独立総部2.0%となっている中、サークルは13.7%。体育会系に次いで第2位の位置を占めています。

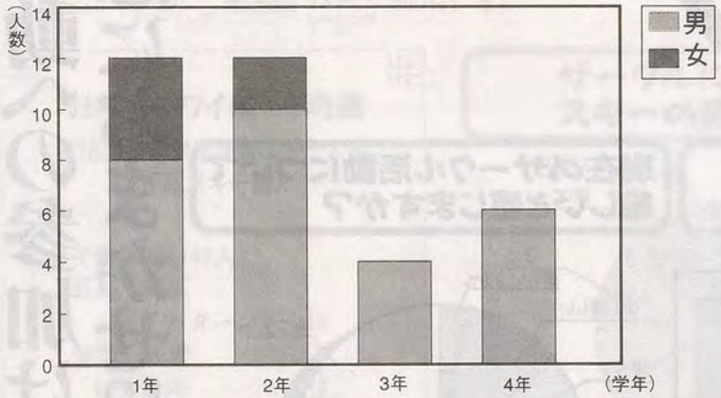
ホワイトミュー基礎スキー同好会

ホワイトミュー基礎スキー同好会は、1978年に創立。数あるサークルの中でも16年の歴史と数々の戦績を誇るサークルと言えます。在籍人数は45名。かなり骨の入ったビッグなサークルでもあります。

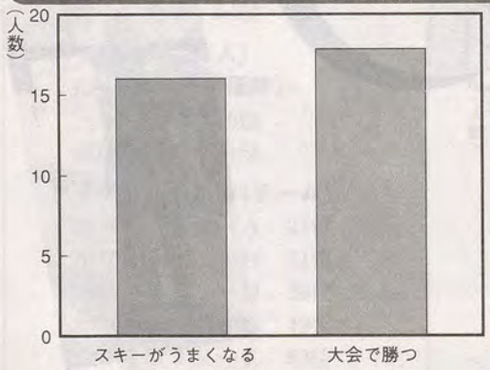
基礎スキーとは何ですか？

コンマ何秒というタイムを競うような競技スキーとは違い、スキーの**滑り自体の美しさ、技術**等を競うスポーツです。

メンバーの構成比を教えてください。



サークルでのあなたの目標は何ですか？



なぜクラブではなくサークルを選んだのですか？

第1位　特に理由はない
第2位　基礎スキー部（クラブ）がなかったから
第3位　楽だと思ったから

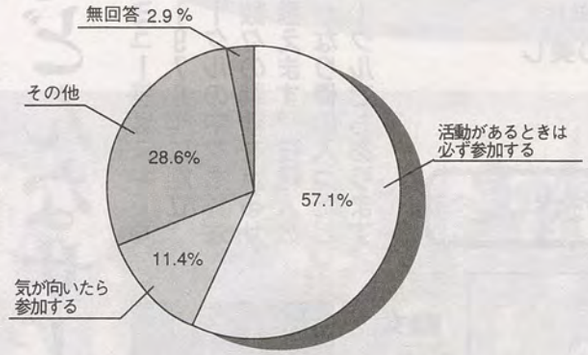
サークルをどのように考えていますか？

・みんなが集まって思い思いに楽しむ場。
・好きなこと、目指していることが同じ者たちが団結して、一つの目標に向かい頑張るところ。
・クラブほどの拘束をもたず、同じ目的をもつ者たちが活動する集団。
・わきあいあいと活動するところ。

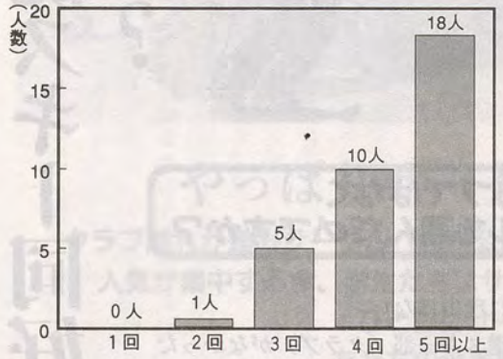
サークル活動への参加は個人の意志におまかせ!?

サークルと言うと、好きなときだけ参加して、出席率はあまり良くないと思われがちですが、クラブとの違いもこの点に顕著に現れそうです。実際はどうなのでしょう。

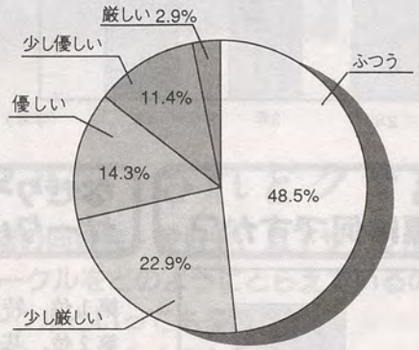
あなたは活動にどのような姿勢で臨んでいますか?

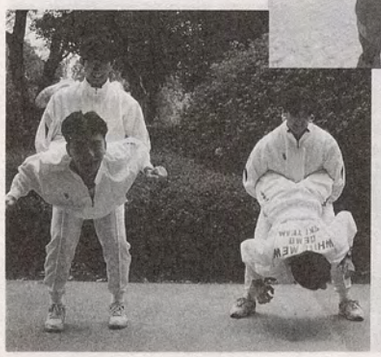


1週間に何回ぐらい参加しますか?



現在のサークル活動について厳しいと感じますか?





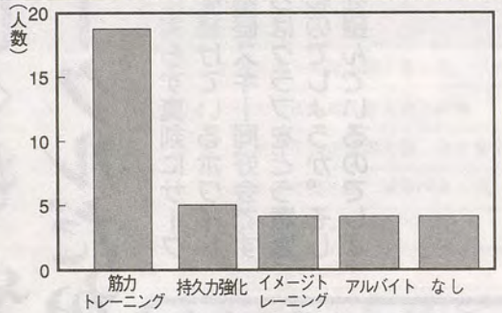
★幹部からひと言★

「出席は本人の自由意志」
サークルの参加自体は本人の意志に任せています。でも、やる気がない者にはどんどんやめてもらっています。動機はどうであれ本当にやりたいと思う者だけを残すという方針です。

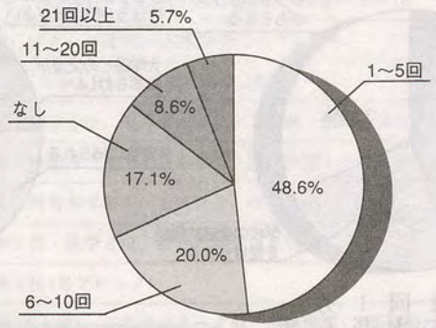
シーズンオフこそ個人の意志が試されるのがサークル!?

シーズンオフのサークルは一体どのようになっているのでしょうか。活動外はおおいに遊ぶという印象がありますが、こんなところにもサークルの特徴が現れそうです。

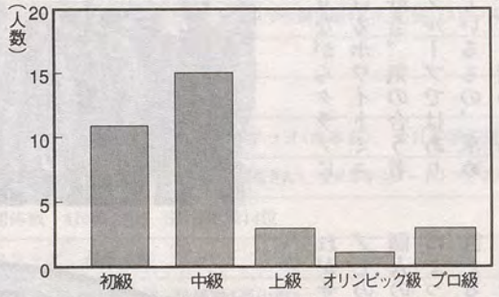
シーズンオフ(夏季) はどんな練習をしていますか?



サークルに入る前のスキーの経験は?



現在の自分のレベルを教えてください。



★幹部からひと言★

「スキー上達も本人次第」
シーズン中にサークルが行う合宿は大体2度ぐらいです。その時以外は、数人のグループに分かれ、スキー場で住み込みのアルバイトをしながら各自が練習に励みます。そしてこの期間の自主トレーニングにより、グループ間の、また個人の技量に差が出ます。

'93年度ホワイトミュー戦績

第16回関西学生基礎スキー大会
(戸隠スキー場)

男子新人戦(147人)
長島 光正
シュテムターン 1位
徳岡 征秀
総合滑降 2位

女子新人戦(111人)
岡田 直子 27位
桃井真由子 28位
源 能子 54位

男子個人戦(266人)
山本 哲也 「優勝」
三木 信宏 15位
森岡 健二 41位

男子チーム成績(74チーム)
ホワイトミューA 27位
ホワイトミューB 31位
ホワイトミューD 38位
ホワイトミューC 49位
ホワイトミューE 62位

男子クラブ成績(18クラブ) 11位

女子チーム成績(53チーム)
ホワイトミューA 25位

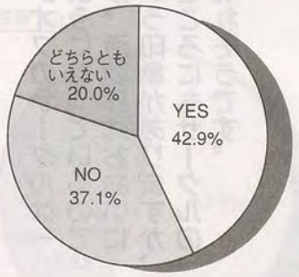
女子クラブ成績(21クラブ) 8位

総合順位(18大学) 6位

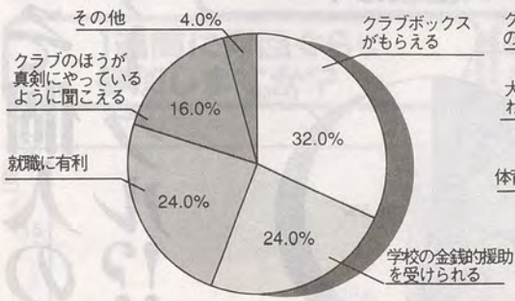
厳しくも、やさしくもサークルだから味がある!?

クラブに劣らず真剣にサークル活動を続けているホワイトミュー基礎スキー同好会ですが、彼らはクラブをどう意識しているのでしょうか。そして、何を望んでいるのでしょう。

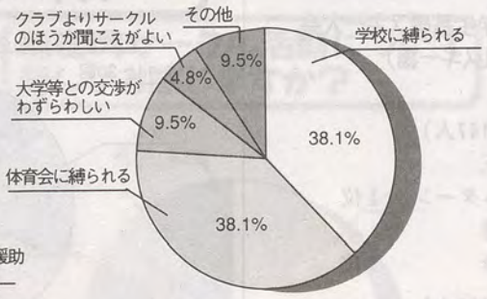
サークルがクラブに昇格してほしいと思いますか？



昇格したいと答えた人、その理由は？



昇格したくないと答えた人、その理由は？



サークルでありながらクラブに劣らぬ活動を続けるホワイトミュー基礎スキー同好会。気の合う者同士が集まったグループではありますが、目指しているもの、求めているものはクラブと変わりありません。メンバーの中にはクラブ昇格を望む者もいるようです。

もちろんこれはほんの一例で、もっと気楽に自由気ままに活動しているグループもありますが、それがサークルの良いところ。クラブとの大きな違いは、サークルは個人の意志を尊重し、個人の責任によってのみ運営されていく点と言えるのではないでしょうか。

自由であること、好きであること、そして厳しくもやさしくも自分の意志で創られていく集団であること。現在の学生の心をつかむ何かがそこにあると思われます。

（藤原広太郎・菊川和義）

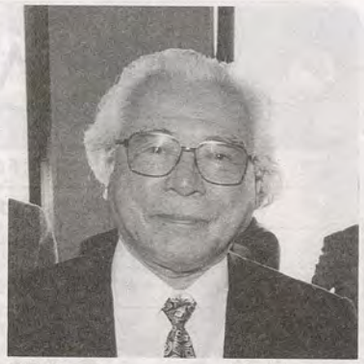
★ホワイトミューから卒業生にひと言★

- サークルにもクラブボックスがもらえるように大学へ働きかけてください。
- クラブよりも軽視しないでください。
- サークルへの援助金を増やしてください。
- 名簿の利用をさせてください。
- 応援のための費用を援助してください。

1994年度クラブ戦績

空手道部	全関西空手道個人選手権大会　ベスト6（北圧司君）
日本拳法部	全国大学選抜選手権大会2回戦
柔道部	全日本学生柔道優勝大会、全日本学生体重別選手権出場　71kg ベスト8（樫本君）
剣道部	西日本学生選手権　団体ベスト16、全日本剣道選手権　個人3回戦
合気道部	全国学生演武大会出場
少林寺拳法部	関西学生大会出場
硬式野球部	関西六大学リーグ戦　春季2位(ベストナイン村田君)・秋季3位(ベストナイン池川君)
準硬式野球部	近畿六大学リーグ戦　春季・秋季各2位
硬式庭球部	関西学生2部リーグ戦　6位
ソフトテニス部	西日本学生　男子W優勝(玉井、前田組)、全日本学生　男子W・団体ベスト16
サッカー部	関西学生2部リーグ戦　春季Cブロック優勝(入替戦昇格ならず)
ラグビー部	関西学生Aリーグ戦　5位(中京大学と大学選手権出場決定戦)
ハンドボール部	関西学生リーグ戦　春季2位・秋季3位、関西トーナメント大会　優勝、全日本学生選手権　3位
卓球部	関西学生2部リーグ戦　春季・秋季各2位、全日本学生　団体決勝トーナメント1回戦
バスケットボール部	関西学生2部リーグ戦　3位、西日本学生トーナメント　ベスト16
バレーボール部	関西学生2部リーグ戦　春季7位・秋季8位、西日本学生　2回戦
アメリカンフットボール部	関西学生2部リーグ戦　同率3位(Bブロック)
ボクシング部	兵庫県ミニ国体フライ級出場(井上君)、近畿学生リーグ戦　春季優勝(2部昇格)
陸上競技部	関西実業団学生対抗　400mリレー優勝、全日本大学駅伝　18位、関西学生駅伝　5位
バドミントン部	西日本学生　団体3位、全日本学生　団体ベスト16　男子W3回戦
自転車部	関西学生サイクルサッカーリーグ　春季・秋季各3位　全日本学生選手権出場
アイス・スケート部	全日本選抜兼世界選手権選考会出場　スピード(木戸君)、全日本学生選手権4名出場(95/1スピード・フィギュア)
ゴルフ部	関西学生3部リーグ戦　秋季5位
競技スキー部	全日本学生選手権出場(95/1)
カヌー部	広島アジア競技大会、世界カヌー選手権大会出場　カヤック(山本君)、全日本学生選手権出場
自動車部	全関西ダートトライアル　男子準優勝　女子優勝　個人女子優勝(清原さん)、全日本学生ダートトライアル　女子団体3位
ヨット部	関西学生ヨット選手権団体戦　470級13位　SNIPE級14位
洋弓部	関西学生アーチェリーBリーグ　春季4位
重量挙部	西日本学生選抜　54kg級優勝(田井君)　83kg級優勝(西山君)
水泳部	関西学生水球リーグ戦　4位、関西学生水泳大会　200m背泳ぎ3位(大久田君)
チアリーダーズ同好会	関西チアリーディング選手権大会特別賞
グリークラブ	関西合唱コンクール　大学の部銅賞
英語研究部	関西ESS連盟シナリオリーディングコンテスト　Best Actor(虻江君)
浪速ユベントス	ユニバース・カップ・イン川上(大学サッカー同好会全国大会)　3位

学園ニュース



理事長　鈴木　亨

決意を新たに
本学の発展に
一層の努力を

1994年度30号の同窓会誌が発刊されますことに心から御祝を申しあげます。

1932年に呱々の産声を上げたわが大阪経済大学も、かずかずの風雪に耐え今年で62年になりました。その間さまざまな領域に数えきれぬほどいくたの有為なる人材を輩出したことはわれわれ経大人にとって少なからぬ誇りであります。

しかしその間、天寿を全うされた幸福な方と共に、戦争で、病いで、あるいは事故で多くの先輩たちが無念の涙を飲んだことを後学たる私共は忘却することはできません。誇らしきなかにもこれらの故人の遺志を受け継いで、本学の一層の発展に努力することが、戦後50年にして改めて決意を新たにすることにより、諸先輩の霊を慰めることであると存じます。

この志から、一昨年度以来、受験人口の急激な減少が始まり、大学全体が冬の時代を迎えるという未曾有の難関にさしかかっていますが、私共はこの危機を乗り越えて新たなる本学の発展の活路を見出さねばなりません。

幸いなことに昨年から同窓会の幹部から新たに2人、いわゆる学内理事に入っていただき、これまできわめて困難である経大のリストラを、積極的に引き受けられ、その成果が次第に顕われて来ているのを見ることができつつあることは本当に喜ばしいことであります。

現在、きわめて難しい諸条件の制約の内で、新学部への可能性を探りつつあり、また本学に対する魅力を感じさせるために教学ではカリキュラムの〝斬新さ〟を中心とする諸施策、理事会では学生にできるだけ満足感を与えるための諸施設の充実を追求すると共に、今後の18歳人口の激減に対する徹底的なリストラを実行することを考えております。この目的を達成することは、単に理事会、教学のみでは不可能であり、理事会、教授会、職員の三者が自己反省的に、三者一体となって全面的に協力し合うことがなければ到底不可能であります。

企業には経済界の好・不況の波があり、自ら努力することによって、経済界の悪い状況を克服することもできますが、大学の不況は受験人口の絶対的な減少が年毎に進んでいきますので、企業より事態は深刻であります。ここに同窓生の皆さんにあえて大学の危機を訴えて同窓会をふくむ全学の方々に自らの持てるさまざまな英知をお貸しくださることを祈ってやみません。

この困難な事態を全学一致して乗り切ろうではありませんか。

最後に、1994年度の同窓会誌の刊行のお慶びと同窓会のますますの発展をお祈りするものであります。

学長　上島　武

郷土愛と母校愛

同窓会の皆さまにはいつも大変お世話になり誠にありがとうございます。

さて、初めから私事で恐縮ですが、私は長野県に生まれ、育ちました。長野県民がただでさえ島国根性の強い日本人の中にあっても独特の郷土意識を持ち、時にそれを振りまわしすぎて、世間のひんしゅくを買うことがあるのは私自身も心得ているつもりです。広い日本に「県民歌」というようなものを持ち、明治の昔にできた古色蒼然たる歌詞を今もみんなで歌っているのは信州人くらいのものだと、これは感心というよりも半ば皮肉でしょう。それはともかく、しばしば「日本のふるさと」とさえ呼ばれ、一度は行ってみたい土地と、多くの日本人が考えてくださっているのは、その秀麗な自然だけでなく、今なお残されている一種懐かしい伝統の魅力があるからだと思います。しかし、近年の自然破壊はまこと目を覆わせるものがあります。実はこの夏も信州へ帰り、白馬山麓に3日ほど遊びましたが、何よりも驚いたのは冬季オリンピック開催を控えたスキー場の建設が、美しい山肌を容赦なく、あらあらしく切り刻んでいる光景でありました。それを深く悲しみながら、心のどこか片隅で、現地の人と共にオリンピックの開催を誇らしく思う気持ちを否定しきれません。かの「誘致」にあたってさまざまな経済的打算と政治的圧力が働いたことは事実でしょうが、もし自然にこれを喜ぶ「郷土愛」がなかったら誘致はもちろん、「本番」の成功もおぼつかないでありましょう。

これに対し、人が母校を愛する気持ちには経済的打算も政治的思惑もいっさいありません。同窓生がひとたび一堂に会する時、当時の競争相手や喧嘩友達が直ちに変わらぬ親友であったかの感傷が生まれ、現在の商売仇や政敵同士ですら肩をたたきあい、声張りあげて校歌を一緒に歌うのです。それは、私自身の経験にもあることですが、学長職に就任以来、各種の経大同窓会に参加してつくづくと思うことであります。それよりも、こういう場所でなかったら或いは密かに生じたかもしれない相手への優越感や劣等感がいっさい影をひそめ、旧友の仕事と生活に素直な共感と共に尊敬の念すら生まれるということが最もありがたいことであると思います。こういうまたとない機会をまだ持つにいたっていない同窓生がいらっしゃるとしたら、それは本当につらいことです。同窓会が経大の発展にとって欠くことのできぬ力の源であることは勿論ですが、かつて経大に学んだ人々がすべて、この貴重な機会に恵まれるような工夫を同窓会としてもめぐらせていただきたいものです。私もそれに役立つことなら何でもやりたいと思っています。

教務

◎経営学特殊講義の開講

本年4月から3カ月にわたり、特別企画の経営学特殊講義「経営の最前線」を開講しました。この特殊講義は、日本を代表する一流企業のトップ経営者13名をお招きして行われたものです。企業の発展や製品開発、国際化など生きた企業経営について、講師となられた経営陣の方々から自らの体験をもとに語っていただいた経営学の実際の数々。「日本の企業経営と経営者の役割」という共通テーマのもとに熱弁をふるっていただき、限られた時間の中で、バラエティーに富んだ躍動感溢れる話が飛び出し、受講生からは「めったにない機会に恵まれて感激している」などの声が多く寄せられました。

今回の企画は、日本の経営の現場からリアルタイムで生の声が聴講できるようにと上田慧経営学部長が発案。東京証券取引所副理事長の井阪健一氏⑱の協力をえて、ユニークで実のある講義を展開することができました。

また、経営学部の「法と政策」コースでは、「コース特殊講義」として「自治行政論」を開講しました。元大阪府副知事の西村壮一氏を非常勤講師に迎え、自治行政という新しい観点から「法と政策」の諸関係について講義していただいたものです。

両特殊講義は、履修者以外の学生も聴講できる自由度の高いものでした。

経営学特殊講義（経営の最前線）

トップ経営者は語る―日本の企業経営と経営者の役割

	出講日	役職と氏名
第1回	4月13日	野村企業情報㈱社長　後藤光男氏
第2回	4月20日	ユニデン㈱会長　藤本秀朗氏
第3回	4月27日	㈱ニフコ社長ジャパンタイムス会長兼社長　小笠原敏晶氏
第4回	5月11日	松下電器産業㈱監査役　平田雅彦氏
第5回	5月18日	㈱すかいらーく社長　茅野亮氏
第6回	5月25日	㈱長谷工コーポレーション社長　合田耕平氏
第7回	6月1日	オリックス㈱社長　宮内義彦氏
第8回	6月8日	㈱ホテルオークラ専務　橋本保雄氏
第9回	6月15日	味の素ゼネラルフーズ㈱社長　松村忠雄氏
第10回	6月22日	東京証券取引所副理事長　井阪健一氏
第11回	6月29日	㈱神戸製鋼所副社長　福川伸次氏
第12回	7月6日	㈱イトーヨーカ堂社長　鈴木敏文氏
第13回	7月13日	㈱ユニ・チャーム㈱社長　高原慶一朗氏

反響と興奮よんだ特殊講義

経営学部長　上田　慧

この企画は、昨年の同窓会総会で井阪健一理事と意気投合し、学生に「生きた経営学を」との一念から発したものです。講師陣は、著書等もありマスコミでも著名な方々ですから、講義にも熱が入り、企業経営から就職・生き方まで、学生の親身になって講義していただきました。学生の感想文では、「感激し興奮した。ためになった」とたいへん好評でした。今後もこうした企画の定着を図り、大学活性化の一環としていけたらと思っています。ご理解とご協力いただいた関係者諸氏に感謝いたします。

経営学部長 上田 慧

「卒業」「成績」証明書等の申し込み方法

卒業生の皆さん、各種証明書を申し込まれる場合は、日数に十分な余裕をもって、左記の要領でお申し込みください。特に、英文による証明書には学長のサインが必要なため、10日以上の余裕をもってお申し込みください。

なお、電話による申し込みは間違い等ございますので、取り扱っておりません。

①来学して申し込む場合

所定の用紙で申し込んでいただくと、約10分でお渡しいたします。

（手数料1通につき　100円）

②郵便で申し込む場合

氏名、生年月日、卒業学部（1・2部の別）、卒業年度、証明書の種類、必要枚数を記入したメモと、切手（手数料同右、要返送料）を同封のうえお申し込みください。

③英文による証明書の場合

右記②と同様です。ただし、手数料が1通200円となります。

なお、パスポートに記載の英字氏名を明記してください。

学園ニュース

入試

1994年度入試結果

◎1994年度推薦入学選考結果

1994年度推薦入試は、1993年11月5日㈮に特技（スポーツ）推薦を、12月5日㈰に普通科・商業科推薦を実施しました。結果は左記の表の通りです。

1994年度推薦入試結果　（　）内は女子内数

推薦種別	学科	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数
特技	1部経済	98(1)	97(1)	41(0)	41(0)
	1部経営	59(1)	59(1)	28(0)	28(0)
	1部情報	4(0)	4(0)	1(0)	1(0)
	合計	161(2)	160(2)	70(0)	70(0)
商業科対象	1部経済	26(12)	24(12)	22(10)	22(10)
	1部経営	55(29)	55(29)	43(25)	43(25)
	1部情報	28(11)	28(11)	28(11)	27(10)
	合計	109(52)	107(52)	93(46)	92(45)
普通科対象	1部経済	185(31)	185(31)	185(31)	185(31)
	1部経営	107(15)	107(15)	107(15)	107(15)
	1部情報	36(16)	36(16)	36(16)	36(16)
	合計	328(62)	328(62)	328(62)	328(62)
総合計	1部経済	309(44)	306(44)	248(41)	248(41)
	1部経営	221(45)	221(45)	178(40)	178(40)
	1部情報	68(27)	68(27)	65(27)	64(26)
	合計	598(116)	595(116)	491(108)	490(107)

◎1994年度一般入試結果

日本経済の長引く景気低迷の心理的影響を受け

◇経済・経営系学部の志向低下

◇国公立大学への回帰傾向（地元志向の強化）

◇受験競争緩和感からの併願校数の絞り込み

など全国の受験生が116万人（昨年よりも4％減）という18歳人口急減期の厳しい入試環境の中で1994年度一般入試を実施しました。

1994年度はA方式（英語1教科）入試が3年目に入り、B方式（3教科）入試は経済学部・経営学部・経営学科、経済学科、および同学部・経営情報学科と、それぞれ日を異にして行いました。

A方式では地方試験会場として名古屋を新設し、本学・岡山と併せて3会場で実施しました。またB方式は、全科目オール・マーク方式をとり、地方試験会場は従来同様、東京をはじめとして全国7会場で対応しました。

本年度の志願者総数は15、376名で、前年度に比べ139名（△0・9％）の減少となりました。入試方式別ではA方式で512名（△25・6％）の減少となり、2年連続して志願者が減りました。一方B方式は373名（2・8％）の増加となり、2年連続して志願者が増加しました。全科目オール・マーク方式となり受験生にとって受けやすい印象がもたれたことや、前年度導入された学科別3日間入試による受験機会の増加の結果かと思います。

また地方試験会場での志願者がここ10年間で最高の2、730名（17・8％）を数え、入試制度の改善とも相俟って結果的に減少幅が最小限に収まりました。

A方式は志願者・合格者段階とも現役の比率が増加しました。またB方式入試の第1部では、志願者段階で現役が、合格者段階で浪人の比率がわずかに増加しました。特にA方式における合格者のうち現役が4割を占めており、浪人優位の本学入試の中にあって現役が健闘したといえるでしょう。

女子の志願者は前年度790名

A方式入試　志願者・合格者状況（第1部）　（　）内は女子内数

学科	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点（満点300）
経済	405 (26)	364 (19)	9 (0)	778 (45)	60 (5)	89 (2)	1 (0)	150 (7)	5.1	204
経営	237 (38)	208 (14)	5 (1)	450 (53)	43 (9)	59 (5)	1 (1)	103 (15)	4.3	199
経営情報	142 (26)	118 (7)	1 (0)	261 (33)	23 (5)	33 (3)	0 (0)	56 (8)	4.6	192
総合計	784 (90)	690 (40)	15 (1)	1,489 (131)	126 (19)	181 (10)	2 (1)	309 (30)	—	—

B方式入試　志願者・合格者状況（第1部）　（　）内は女子内数

学科	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点（満点400）
経済	2,388 (140)	2,977 (91)	24 (1)	5,389 (232)	325 (35)	765 (31)	5 (0)	1,095 (66)	4.7	265
経営	1,371 (141)	2,271 (79)	22 (2)	3,664 (222)	164 (33)	536 (26)	3 (0)	703 (59)	5.0	295
経営情報	754 (96)	1,359 (49)	11 (2)	2,124 (147)	138 (37)	415 (18)	2 (1)	555 (56)	3.7	281
総合計	4,513 (377)	6,607 (219)	57 (5)	11,177 (601)	627 (105)	1,716 (75)	10 (1)	2,353 (181)	—	—

B方式入試　志願者・合格者状況（第2部）　（　）内は女子内数

学科	志願者 現役	志願者 浪人	志願者 その他	志願者 合計	合格者 現役	合格者 浪人	合格者 その他	合格者 合計	倍率	合格最低点（満点400）
経済	354 (5)	1,056 (8)	19 (1)	1,429 (14)	36 (2)	270 (5)	4 (0)	310 (7)	4.4	215
経営	282 (4)	984 (7)	15 (1)	1,281 (12)	28 (1)	292 (6)	3 (0)	323 (7)	3.8	238
総合計	636 (9)	2,040 (15)	34 (2)	2,710 (26)	64 (3)	562 (11)	7 (0)	633 (14)	—	—

学園ニュース

1995年度推薦入学募集概要

	特技（スポーツ）推薦入学	商業科対象推薦入学	普通科対象推薦入学（指定校制）
募集学科 人　員	第１部　経済学科　35名 経営学科　20名 経営情報学科 15名	第１部　経済学科　20名 経営学科　40名 経営情報学科 20名	第１部　経済学科　140名 経営学科　70名 経営情報学科 50名
選考方法	①　書類選考 ②　小論文 ③　面接	①　書類選考 ②　小論文	①　書類選考 ②　小論文
出願期間	'94年10月17日(月)～ 21日(金)消印有効	'94年11月21日(月)～ 25日(金)消印有効	'94年11月21日(月)～ 25日(金)消印有効
選考日	'94年11月４日(金)	'94年12月４日(日)	'94年12月４日(日)
合格発表	'94年11月12日(土)	'94年12月10日(土)	'94年12月10日(土)

1995年度一般入学試験概要

	A方式（英語１教科）入試	B方式（３教科）入試	C方式（２教科）入試	大学入試センター試験利用
募集学部・学科 募集人員	経済学部 第1部 経済学科 60名 経営学部 第1部 経営学科 40名 経営学部 第1部 経営情報学科 30名	経済学部 第1部 経済学科 370名 経営学部 第1部 経営学科 230名 経営学部 第1部 経営情報学科 150名 経済学部 第2部 経済学科 100名 経営学部 第2部 経営学科 100名	経済学部 第1部 経済学科 40名 経営学部 第1部 経営学科 25名 経営学部 第1部 経営情報学科 20名	経済学部 第1部 経済学科 35名 経営学部 第1部 経営学科 25名 経営学部 第1部 経営情報学科 15名
試験日	1995年２月１日(水)	２月９日(木) 経済学科（第１部・第２部） ２月10日(金) 経営学科（第１部・第２部） ２月11日(祝) 経営情報学科（第１部）	1995年３月６日(月)	1995年１月14日(土)・15日(日)
試験地	大阪(本学)・岡山・名古屋	大阪・東京・名古屋・金沢・姫路・高松・広島・福岡（学科別同日実施）	大阪(本学)	
試験科目	教科：英語／科目：英語Ⅰ・ⅡB・ⅡC Listening Dictation は除く／配点：200点／時間：80分(1時限のみ) ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語／科目：英語Ⅰ・ⅡB・ⅡC／配点：150点／時間：60分 教科：国語／科目：国語Ⅰ・Ⅱ（漢文を除く）／配点：150点／時間：60分 教科：選択(1科目)／科目：政治・経済、日本史、世界史、地理、数学Ⅰから１科目選択／配点：100点／時間：60分 ※解答は全科目オール・マーク方式	教科：外国語 国語(1科目)／科目：英語Ⅰ・ⅡB・ⅡC 国語Ⅰ・Ⅱ（古文・漢文を除く）から1科目を選択／配点：100点／時間：60分 教科：社会 数学(1科目)／科目：日本史、世界史、数学Ⅰから１科目を選択／配点：100点／時間：60分 ※解答は全科目オール・マーク方式	教科：国語／配点：200点 教科：外国語（英語・独語・仏語から１科目）／配点：200点 教科：社会、数学、理科から１科目／配点：100点 ※大学入試センター試験を利用して行う ※社会、数学、理科について2教科・科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用する。 ※個別学力検査等は課さない。
出願期間	1995年１月６日(金)～19日(木)消印有効	1995年１月６日(金)～23日(月)消印有効	1995年２月13日(月)～24日(金)消印有効	1995年１月６日(金)～27日(金)消印有効
合格発表	1995年２月７日(火)	1995年２月18日(土)	1995年３月11日(土)	1995年２月18日(土)

から７５８名へと減少しましたが、合格者数・合格率についてはいずれも増加しました。女子受験生は将来の進路等も含め目的意識がはっきりしており、積極的に学習に取り組んだ現れかと思います。

1995年度入学試験概要

◎１９９５年度は新たに
◇C方式（２教科）入試を新設し、３月入試を実施
◇大学入試センター試験利用の入試の導入
◇社会人入試（第２部）の新設
など積極的に入試改革を進めています。C方式、センター試験を導入したことによって従来のA方式（英語1教科）入試、B方式（３教科）入試と併せて４種類のそれぞれ異なったタイプの試験を実施することになります。
一般入学試験概要は次頁の表をご参照ください。

◎１９９５年度推薦入学募集概要

次頁の表をご参照ください。

◎推薦入学（指定校）説明会の開催

入試部では普通科対象推薦入学説明会と同女子高等学校指定校説明会に、推薦依頼校２７４校の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。

6月23日(木)　岡山市
岡山ターミナルホテル
岡山・広島・山口・島根・徳島・香川・愛媛各県の高等学校対象
44校

6月28日(火)　京都市
新都ホテル
京都・滋賀・福井・石川・富山各県の高等学校対象　39校

7月1日(金)　神戸市
神戸東急イン
兵庫県の高等学校対象　74校

7月7日(木)　大阪市
東洋ホテル
大阪・三重・奈良・和歌山各県の高等学校対象　80校

◎女子高等学校指定校説明会

7月5日(火)　大阪市
東洋ホテル
富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重・京都・大阪・兵庫・和歌山・奈良・岡山・広島・愛媛各県の女子高等学校対象　37校

◎高校教員対象説明会の開催

入試部では、指定校以外で志願者のある進路指導担当者に対して、本学の認知度を高めるとともに、本学の入試制度や教学内容を理解していただくため、次のとおり実施しました。

7月15日(金)　大阪市
東洋ホテル
大阪・兵庫・京都・奈良・和歌山・滋賀・三重各県の高等学校対象（１５０校に案内）

◎DAIKEI CAMPUS '94

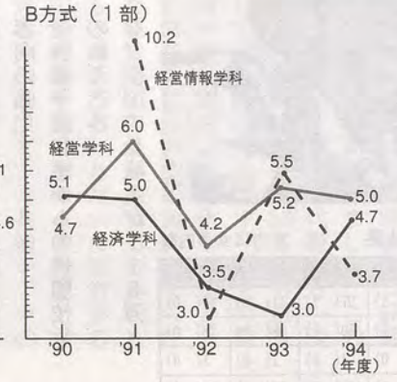
オープン・キャンパス（受験生のための大学見学会）は、今年は7月22日(金)にActⅠを実施し、10月8日(土)にActⅡを行いました。見学会当日は、推薦入学希望者を中心に昨年を大幅に上回る受験生や父母が来学し、楽しいミニ講義に始まる一連のスケジュールに熱心に参加する姿が見られました（参加者６０４名）。

地域別志願者・合格者状況（１・２部合算）　（%は全体比）

	志願者数		合格者数	
	A方式	B方式	A方式	B方式
北海道・東北・関東	18 (1.2%)	108 (0.8%)	4 (1.3%)	24 (0.8%)
中部	68 (4.6%)	534 (3.8%)	9 (2.9%)	121 (4.2%)
近畿	1,205 (80.9%)	11,820 (85.1%)	236 (76.4%)	2,449 (85.9%)
中国	118 (7.9%)	792 (5.7%)	37 (12.0%)	129 (4.5%)
四国	44 (3.0%)	368 (2.6%)	16 (5.2%)	76 (2.7%)
九州	21 (1.4%)	174 (1.3%)	5 (1.6%)	34 (1.2%)
その他	15 (1.0%)	91 (0.7%)	2 (0.6%)	17 (0.6%)
計	1,489 (100%)	13,887 (100%)	309 (100%)	2,850 (100%)

倍率の推移 A方式

B方式（１部）



高校別合格者上位10校（A方式＋B方式の第１部）

1	◎上宮	(大阪)	52(84)名
2	◎桃山学院	(大阪)	44(34)名
3	箕面	(大阪)	37(40)名
3	◎関西大倉	(大阪)	37(36)名
5	◎清風	(大阪)	35(26)名
6	東播磨	(兵庫)	32(20)名
7	加古川西	(兵庫)	29(26)名
8	泉北	(大阪)	28(27)名
8	西宮今津	(兵庫)	28(12)名
10	北千里	(大阪)	26(34)名

※高校名の◎印は私立。（　）は前年度合格者数。

就職

◎1994年卒業者の就職状況

バブル崩壊の後遺症をひきずった不況のなか、就職環境は悪く、特に女子学生の就職は大変困難を極めました。このような状況の中で、本学への求人は4,467社と、前年に比べて25・6%減少しました。特に製造業は489社減（前年比△28・4%）、卸売業307社減（前年比△19・4%）、小売業131社減（△17・7%）、と三業種の減少幅が大きくなっています。

就職内容をみると、大企業への就職者比率は30・4%（前年48・7%）、中堅企業33・0%（前年27・6%）、中企業26・6%（前年15・1%）、小企業0・2%（前年0・3%）、規模不明9・8%（前年8・3%）と大企業への就職者が減少しました。反面中堅企業・中企業への就職者が増えました。このような中で就職希望者全員（女子含む）が就職決定できたのも、学生の企業研究の結果でもあり、また確実に採用されそうな企業を選んで就職活動をした成果だともいえます。

業種・規模別就職状況

業種	人数	規模 大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明
農林・水産・鉱業	2			2		
建設	42	19	7	15		1
製造	292	86	102	101	2	1
卸売	279	64	112	99	1	3
小売	168	55	73	38		2
金融・保険	129	83	34	2		10
不動産	16	7	2	7		
運輸・通信	34	13	14	7		
電気・ガス・水道	2	1	1			
サービス	125	18	30	31		46
公務	48					国家13 地方35
合計	1,137	346	375	302	3	111
構成比(%)	100	30.4	33.0	26.6	0.2	9.8

地域・規模別就職情報

		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	計
北海道・東北		6					6
関東	東京	76	69	17		9	171
関東	その他	8	2	1			11
中部		15	14	9		2	40
北陸		4	3	5		4	16
近畿	三重		2	2		1	5
近畿	滋賀	8	7	4		7	26
近畿	京都	4	10	16		7	37
近畿	大阪	147	188	157	2	36	530
近畿	兵庫	50	50	48	1	24	173
近畿	奈良		2	7		2	11
近畿	和歌山	5	3	6			14
中国		16	7	23		9	55
四国		4	11	7		10	32
九州		3	7				10
合計		346	375	302	3	111	1,137

おもな就職先

建設	花王	雪印アクセス	平和堂	野村証券
大鉄工業	北興化学工業	青山商事	ライフコーポレーション	第一生命保険
三菱建設	ダントー	アシックス商事	**金融・保険**	日本生命保険
東亜道路工業	日立金属	ナイガイ	池田銀行	明治生命保険
住友林業	三協アルミニウム工業	内外衣料製品	愛媛銀行	オリエントコーポレーション
積水ハウス	三和シャッター工業	三星堂	香川銀行	セントラルファイナンス
大和ハウス工業	東洋シャッター	スズケン	関西銀行	兵庫県信用保証協会
協和エクシオ	日本建鐵	伊藤忠燃料	近畿銀行	**運輸通信**
日本基礎技術	日立ツール	品川燃料	高知銀行	近畿日本鉄道
製造	フルサト工業	東洋エクステリア	幸福銀行	近鉄エクスプレス
伊藤園	前澤給装工業	東テク	西京銀行	鴻池運輸
フジッコ	大和冷機工業	トラスコ中山	さくら銀行	東急観光
丸大食品	アイコム	山善	三和銀行	日本通運
六甲バター	日本マランツ	ワキタ	滋賀銀行	日本旅行
セシール	ミツミ電機	因幡電機産業	泉州銀行	フットワークエクスプレス
ユニチカ	川崎電気	コナミ	但馬銀行	名鉄観光サービス
ラピーヌ	キーエンス	立花商会	中国銀行	ヤマト運輸
永大産業	ダイヘン	西本産業	鳥取銀行	**ガス供給**
クリナップ	日東工業	明光商会	阪神銀行	東邦瓦斯
住建産業	スズキ	田崎真珠	阪和銀行	**教育**
タカラスタンダード	ダイハツ工業	ダイワラクダ工業	びわこ銀行	明石市立明石商業高等学校
立川ブラインド工業	ナブコ	**小売**	福徳銀行	滋賀県教員
段谷産業	本田技研工業	イトーヨーカ堂	北国銀行	兵庫県教員
中央出版	アマノ	ウエルマート	和歌山銀行	**公務**
デイリー・スポーツ	ソキア	関西スーパーマーケット	尼崎信用金庫	国家 13名
第一製薬	東リ	生活協同組合コープこうべ	大阪市信用金庫	地方 35名
ツムラ	藤森工業	ダイエー	大阪信用金庫	
北陸製薬		チェーンストアオークワ	大阪中央信用金庫	
理研ビタミン		長崎屋	神戸信用金庫	
資生堂		ニチイ	摂津信用金庫	
エステー化学		ニッショー	国際証券	
		明治屋		

学園ニュース

ヘッドライン

人事

◎新任

～よろしくお願いします～

経営学部　経営学科
教授　後藤　一郎
教授　本田　良巳
助教授　伊藤　裕人
助教授　山田　文明
経営学部　経営情報学科
特任教授　飯尾　要
助教授　家本　修
助教授　幸田　亮一
事務職員　水野ひろみ
水谷　和哉
総務部（依願）　田頭一二三
10・31付

◎役職者一覧（1994・4・1）

理事長　鈴木　亨
学長　上島　武
専務理事　岩谷　宣治
経済学部長　国友　順市
経営学部長　上田　慧
経営情報学科長　藤本　寿良
教養部長　門田　俊夫
大学院長　松原　和男
事務局長　桜井　弘志

◎退職

～永い間ご苦労さまでした～

特任教授（任期満了）木村　敏男
特任教授（任期満了）末永　隆甫
特任教授（任期満了）竹林　祐吉
助教授（依願）　谷口　明丈
助教授（依願）　伊豫田隆俊
事務局長（依願）　中田　伊織
以上3・31付
経理部（依願）　土居早智子
5・31付

教学関係

◎1993年度卒業式

学位授与式の挙行

3月25日（金）体育館第4教室において、学部並びに大学院の卒業式・学位授与式がとり行われました。

経済学部702名、経営学部694名、合計1、396名が卒業し、大学院経済学研究科博士前期課程（修士課程）は4名が卒業しました。

◎1994年度入学式の挙行

桜満開の4月5日（火）、大阪府立体育会館において、1994年度学部並びに大学院の合同入学式が盛大に挙行されました。

広いアリーナを埋め尽くした新入生は約千数百名、観覧席の父母に見守られ輝かしい大学生活の門出となりました。

◎新入生歓迎行事

入学式に引き続き、新入生歓迎行事が行われました。

まず最初に、日本動物園水族館技術賞を受賞するなど数々の学術的実績を持つ亀井一成（かめいいっせい）氏を迎え、「飼育係40年　オリの中からのメッセージ」と題する記念講演が行われました。

ゾウの飼育を通して得た心あたたまる体験談を感情豊かに表現された氏の言葉一つひとつは、今日の人間社会に欠けているものは何かについて、多くの示唆を与えてくれるものでした。「芸をやめさせよう、そして動物にも家庭を持たせ、動物らしく生きさせよう」と唱え続け、それを実現されたくだりには、深い感動を覚えました。

講演終了後、本学吹奏楽総部による新入生歓迎の演奏に移り、荘重な響きと共に歓迎行事の幕を閉じました。

◎1994年度在学生数

◇学部・在籍学生数

（　）は女子学生内数　1994・5・1現在

	学科	1年	2年	3年	4年	合計
第1部	経済	659 (65)	932 (71)	727 (67)	690 (51)	3,008 (254)
第1部	経営	431 (66)	443 (67)	450 (56)	530 (75)	1,854 (264)
第1部	経営情報	283 (51)	287 (58)	342 (62)	319 (30)	1,231 (201)
第1部	小計	1,373 (182)	1,662 (196)	1,519 (185)	1,539 (156)	6,093 (719)
第2部	経済	125 (2)	153 (2)	86 (5)	133 (2)	497 (11)
第2部	経営	137 (5)	111 (2)	116 (0)	157 (5)	521 (12)
第2部	小計	262 (7)	264 (4)	202 (5)	290 (7)	1,108 (23)
合計		1,635 (189)	1,926 (200)	1,721 (190)	1,829 (163)	7,111 (742)

◇大学院・在籍学生数

経済学研究科博士前期課程

（　）は女子学生内数
1994・5・1現在

学年	研究指導科目	人数
2	財政学	2
1	財政学	5
1	会計学	1
1	経営財務論	1
1	工業政策Ⅰ	1
1	数理統計学	1
合計		11

◎第7回父母懇談会開催

7月9日（土）　大阪会場
大阪経済大学
7月17日（日）　金沢会場
金沢スカイホテル
7月23日（土）　広島会場
広島リバーサイドホテル
7月24日（日）　高松会場
リーガホテルゼスト高松
7月30日（土）　福岡会場
博多パークホテル

学園ニュース

国際交流

◎貴州財経学院訪日団が来学

〔国際交流委員会事務局〕

本学学長の招請による貴州財経学院訪日団4氏（朱義甫貴州財経学院院長、鐘永興同副院長、辛耀同国際金融系系長、蔡徳明貴州省教育委員会督学）が5月11日（水）～12日（木）に本学を表敬訪問、第1日目は学術講演会、歓迎夕食会、第2日目は教育懇談会、施設見学、研究懇談会が行われました。

なお、1991年度に本学に研究留学された辛耀氏は施設見学の際、本学教職員との旧交を温められました。

◎1994年度夏期語学研修

昨年度に引き続き今年も米国（コミュニティー・カレッジズ・オブ・スポーケン）と中国（北京経済学院）の夏期語学研修行事を実施しました。

7月24日に米国研修一行18名が出発し、8月7日には中国研修一行24名が出発。8月22日に米国研修一行が30日間の研修を終えて帰国、8月31日には中国研修一行が25日間の研修を終えて無事帰国しました。研修先ではバラエティーに富んだ貴重な体験が得られました。

国庫助成

◎1993年度私立大学等経常費補助金について

1993年11月18日付で申請していました標記の件について、1994年8月25日付で確定通知がありました。

（確定額）

3351、687、000円

（海外研修派遣補助金4、181、000円を含む）

※前年度比0・74％減

本学で開催された学術講演会・学会

◎講演会

日時　3月26日（土）

報告者　J・F・J・プラズマンズ氏（ベルギー・アントワープ大学教授）〔EMS諸国、英国、合衆国および日本の相互経済モデリングについて〕

◎関西中小企業研究会

第166回研究会

日時　3月26日（土）

報告者　高田亮爾氏（流通科学大学）

上野紘氏（奈良県立商科大学教授）

「アフリカの中小企業ケニア・エジプト見聞録―」

報告者　中山徹氏（大阪府立大学講師）

庄谷邦幸氏（桃山学院大学教授）

「大阪のサンダル産業について」

◎1993年度大阪経大学会研究会

◇第5回研究会

日時　3月29日（火）

報告者　ピーター・ホール氏（ハーヴァード大学教授）

「相互依存するヨーロッパの政治経済」

◎1994年度大阪経大学研究会

◇第1回研究会

日時　5月19日（木）

報告者　秋山紀子氏（青山学院女子短期大学教授）

午前の部　「市民から見た環境基本法の意義と限界」

午後の部　「環境基本法と環境基本計画―欧米先進国との比較」

◎その他の講演会・学会

関西数理社会学研究会　1・8

日本経営分析学会第10回関西部会　4・23

経済統計学会関西部会　4・23

日本リスク・マネジメント学会関西部会　5・28

関西中小企業研究会　6・14

第167回研究会

経済地理学会関西支部例会　6・25

学生向け学術講演会　6・29

第5回中小研フォーラム　6・29

公開講座

◎第6回市民教養講座

《テーマ》知識とからだと心

高齢化社会を生きる

第1部　生涯学習を考える　近藤秀麿教授　5・14／5・21／5・28

第2部　高齢化社会と健康　中尾美喜夫教授　6・4／6・11／6・18

第3部　ホスピスの精神　Lardner Moore氏　6・25／7・2／7・9

◎第12回公開講座

（大阪府立文化情報センター共催）

《メインテーマ》

労働がかわる、暮らしがかわる「古・今・東・西」が語りかけるもの

日時　9月16日～10月22日

第1週　9・16（金）職場や家庭での新しい考え方―働きすぎ問題と女性問題を結びつける―

経済学部講師　伊田広行

第2週　9・22（木）階層構造の変容とゆくえ

教養部助教授　尾鳴史章

第3週　10・22（土）移民の国アイルランド―移民・労働・地域生活―

経済学部助教授　本多三郎

第4週　10・6（木）オイルショック以降の経済と雇用の趨勢―日英比較分析―

経済学部教授　櫻井幸男

第5週　10・13（木）「人たるに値する生活」と労働慣行―労働時間問題を中心として―

奈良県立商科大学名誉教授　三宅順一郎

第6週　10・20（木）東西の計算文化―その違いはなにを意味するか―

経営学部教授　高寺貞男

場所　肥後橋・大阪府立文化情報センター

◎「社会人のためのコンピュータ講座」開催―'94 KEIDAI―

Summer School―

8月9日～11日経営情報センターにおいて開催され、大変好評をいただきました。

8・9「社会人のための情報処理教育」講師　定道　宏

「TSSと電子メール・電子掲示板」講師　松本　良次

8・10「新しいコンピュータ技術―ダウンサイジング・マルチメディアの意味するもの」講師　藤井　泰文

「表計算／グラフとデータ分析」講師　槇本　淳子

8・11「コンピュータ1人1台の時代」講師　ビル・トッテン

「コンピュータを使った情報分析」講師　家本　修

マスコミ関係

◎1994年新聞紙上での本学記事

2・7　読売新聞「わが子も母校へ　大学生の満足度調査」

6・10　読売新聞「私大PR時代」

日本経済新聞「J便乗試合に移動看板　大経大など契約」

「大経大などスポンサーへ名乗り」

7・3　読売新聞「女性学ネットワーク」講師　伊田広行

7・19　毎日新聞「受験しやすさ競う私大」

8・11　産経新聞「就職延期、持久力で勝負」カヌー・男子カヤック

8・29　スポーツニッポン「大経大悲願の大学選手権出場へ」ラグビー大学選手権

9・22　朝日新聞「私大生き残り作戦　校名PR看板」

10・6　読売新聞「劇に歌舞伎、能の影響」助教授　山田裕康

新刊紹介

◇松村　文武著

『体制支持金融の世界―ドルのブラックホール化―』青木書店　2、266円

◇滝内　大三著

『イングランド女子教育史研究』法律文化社　7、931円

◇松岡　憲司著

『賃貸借の産業組織分析』同文舘　3、600円

◇北崎　豊二著

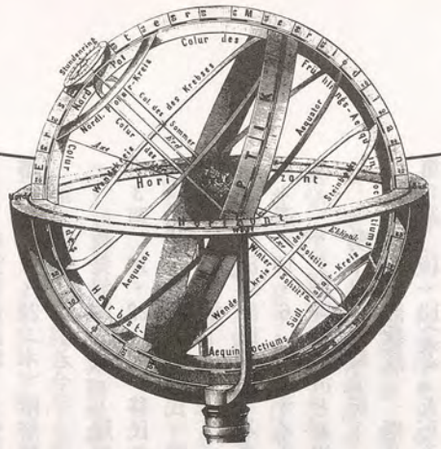
『近代大阪の社会史的研究』法律文化社　9、270円

◇重本　直利著

『管理する情報―〝情報的理性〟批判―』こうち書房　2、200円

◇中岡　哲郎著

『イギリスと日本の間でケンブリッジの日記から―』岩波書店　1、100円



ゼミ短信

猛暑の中で

家近良樹先生

目下のところ、来年出版する研究書の執筆に追われております。徳川幕府が倒される過程を政治史的に考察する内容のものですが、研究書を1冊書きあげることがこんなに大変だとは思っておりませんでした。また、史料調査のため、今年の夏は、すでに鹿児島に行き、この後会津へ行く予定でおります。

なお、つい先日、経大がオフィシャルスポンサーとなったセレッソ大阪の応援に行き、学生諸君と共に楽しんで来ました。考えてみれば、これが私のこの夏唯一の気分転換の場となりました。

（日本史）

「鬼」着任!!

家本　修先生

本年の4月から赴任いたしました家本です。経営情報学科で情報処理概論や実習・演習を教え始めて早半年になろうとしています。

家本ではなく「鬼」と呼んでくださいで始まった授業では、自ら考え実行できる力を養えるかを根底に、1種情報処理技術者試験を超えるレベルにと、分かるまでをモットーに頑張っています。演習では、構想力を身につけること、企画ができ調査・分析、プレゼンテーションができるように、コンピュータを使ったさまざまな方法・技術の学習・研究を続けています。

専門の研究領域は、情報の調査・分析です。情報分析教育、社会調査・市場調査、分析、予測などお役に立つことがありましたら何なりとお声をおかけください。

（情報処理概論）

読書のすすめ

池野重男先生

「アレ、センセ居るの?」と突然研究室にやって来た卒業生のM君。後ろには恋人も。

「『居るの?』はナイヨ――」と抗議する私。デートの途中に寄ってみたという2人と、ついに9時間も一緒に過ごす。

社会人生活の話や、恋人との過ごし方などを聞いたり、私からは、一緒に暮らすようになっても決して仕事を辞めずに2人が頑張る必要――しんどい時代だからお互いがカバーし合う大切さ――を話したり。

研究室と自宅から数冊の本を借り出した2人。「アホ顔にはなるな

ヨ」と言った私は、彼らの読書欲をこれからもサポートしていきたい。

また出向いて来てください。

（保険論）

今、関心あること

伊田広行先生

94年は、今までの女性労働関連の研究成果をまとめることに集中しています。これは『性別秩序と資本制』という書名で啓文社から94年末に出版されます。唯物論的なフェミニズムを私なりに展開したもので、家族単位の現行システムを、個人（シングル）単位に変更することを提起しています。今、問題となっている、税制改革や介護保健にも絡む、現代的かつ社会政策的意義のあるものではないかと思っています。

95年度は、労働経済論に加えて、社会政策論も担当します。

（労働経済論）

まじめにテニスの練習を!

伊藤正之先生

8月、夏真っ盛りの時に共済主催のテニス大会に参加したのですが、試合にならずに1回戦で負けました。練習不足、分かっていたとはいえ悔しいですねえ。

本学にお世話になってようやく3年、この3月に第1期のゼミ生が卒業します。これを機に!? まじめに（もちろん本業をおろそかにしない程度にまじめに）テニスの練習を始めよう! と意気込むこの頃です。

（投資戦略論）

大阪経済大学の一員として

伊藤裕人先生

埼玉大学から移って来ました。今年は、2部の企業論と工業経済論を担当しています。といいましても、大阪経済大学での教育は、今年が初めてというわけではありません。15年前と昨年、非常勤講師として、微力ながらお手伝いをさせていただきました。

今年からは、専任のスタッフとして、これまでの教育の経験を、大阪経済大学という新しい職場で――新たな教育環境で――、十分に活かすよう努力していきたいと思っています。それぞれの大学の持つ伝統と、学生の気質の違いに、この歳で、どれ程柔軟に対応していくことができるか――私にとって、新たな挑戦?の始まりかもしれません。

今後ともよろしくお願いいたします。

（企業論）

大事業に挑戦中

稲場紀久雄先生

教員2年目の今年、新たに講義「日本文化論～環境文化の側面から～」とゼミ「循環型社会経済システム入門」（2年生）、同「探究・生命系の経済学」（3年生）を開講しました。継続の講義「生命の科学～生命と環境と経済の融合～」と教養ゼミ「生命から考える環境」（1年生）を合わせ講義が2種類、ゼミが3種類、担当コマ数は合計7コマです。「生命の科学」が原論、「日本文化論」が特論、ゼミが各論という位置づけです。この体系は、21世紀を担う学生諸君に生命科学、環境科学及び経済学を融合させた生命環境経済学とでも呼ぶべき学問を講じたいという私の希望から出たものです。新しい課題ばかりで大事業ですが、充実した気持ちです。

（生命の科学）

先生の近況

言い訳

稲原康雄先生

記録的な今夏の酷暑、いかがお凌ぎですか。暇になったら訪問すると約束した遠方の諸君、今年自由の身となっていろいろ思い巡らしてはみたが結局蟄居。それは暑さもさることながら行動の手足を失ったからです。というのは、私の旅の計画から実行まで一切を取り仕切ってくれる吉村和利OBが、マニラの公立大学へ日本語科講師として赴任してしまったから。

これはNGO活動の一環として慶すべく、また、良い学生が経大へ留学する機縁ともなればはなはだけっこうなことではあります。某OBの曰く「吉村の日本語はどうせ関西弁だから経大向きだろう」と。かくなれば話は上々ながら、鉄砲玉のように行ったきりになりはしまいかと、私は心配しています。

喜寿に向かって

井上　清先生

OBの皆さん、元気に活躍されていることと拝察しま

上田ゼミ卒業生へ

上田　慧先生

ゼミOBはすでに500名以上となりましたが、各方面で大活躍されているようすを聞き、実に頼もしいかぎりです。後輩のゼミ生諸君もたいへん活発で、就職戦線が厳しい割には優秀な成果が上がっています。

今年から専門ゼミは2年生からとなり、コース制の整備も今後の課題です。私は、今年度は論文・学会報告・講演依頼が特に多く、研究を再び本にまとめるつもりです。大学改革への本当の危機意識を持って私なりに何とか頑張ろうと思っています。

昨年、本学有力OBの協力で、著名なトップ経営者13名を本学に招き特殊講義を実施しました。皆さんも、実社会から見た本学の存在意義について気づいたことがあれば知らせてください。お元気で。

（公益企業論）

経済理論の骨子

置塩信雄先生

3年越しの不況、100円台を割った急激なドル安、大規模な海外への生産移転などなど、目まぐるしく経済は変化していきます。

これらの運動を追って、経済理論もまたフル・スピードで、これらの経済現象の解明につとめています。

しかし、現象にふりまわされているだけではつまりません。蓄積されてきた、また発展しつつある経済理論の骨子（エッセンス）を学ぼうと頑張っています。

ただ諸学説を丸暗記するだけでは身につきません。自分たちの頭脳で考え、経験や種々の資料とつき合わせ、批判できる能力を開発するためにゼミナール員の諸君は努力し、その眼は輝いています。その成果が楽しみです。

（経済原論II）

To see a world in a grain of sand

片山麻美子先生

経大に奉職して7年経ちました。学生の求める英語教育と自ら学んできたものとのギャップに苦しみつつ試行錯誤で教壇に立つ日々でした。今年はイギリスの詩を授業中にほんの少し紹介しました。予想以上に熱心に聞いてくれ、学生との共有できる世界がもっと広くなるかなと期待しています。

卒業していった学生の中には私を大いに力づけてくれた人も多く、彼らのお陰でやってこれた面もとても多いのです。在学中の学生も大いに学ぶ楽しさを味わって欲しいと思います。

（英語）

国際会議に参加して

楠本秀忠先生

第2回バイオメカニクス国際会議に参加するため7月にアムステルダムに行ってまいりました。大阪より緯度が高いせいか、外は夜10時近くまで明るかったです。会場はアムステルダム自由大学で、私はすぐ近くのホテルに宿泊しました。

6日間、ほとんど毎日トラム（市電）に乗って夕食に出かけました。気候は温暖で日中でも木陰は涼しく非常にしのぎやすかったです。

まず感心したのは、自転車と人の道がそれぞれ広く確保されており、街中も結構歩きやすいこと。しかし、美しい街並をよそに、あちこちで異臭がします（公衆トイレが少ないためか、道徳的なことかよく分かりませんが）。

先生の近況

心機一転

伊豫田隆俊先生

今年4月から甲南大学経営学部に移りました。担当科目が「会計監査論」から「会計学総論」に変わったため、一から講義ノートをつくり直さなければならず、この夏休みもノートづくりに明け暮れそうです。甲南は経大より女子学生が多いせいか、全体に明るい感じがします。緑に囲まれたこぢんまりしたキャンパスで、ノンビリした学生を相手に楽しく過ごしています。しかし、私の芸風だけは、場所が変わろうと不変で、酒を飲んでは暴れまわって失笑を買っています。

今年は、移籍1年目でゼミを持っていないので、学生諸君と遊ぶ機会が少なくて困っています。ゼミOBの皆さんとも是非一緒に飲みたく思っていますので、ご一報ください。待ってます。

学生はお客さま

岩井　茂先生

確か三波春夫さんは「お客さまは神さまだ」と言った。私のたましいの師匠は「学生はお客さんだ」と教えられた。なるほど学生があって大学が成り立ち、われわれ教師も職にありつけたのである。だからといって学生におもねって良いのではなく、何ごとにも感謝せよということの一端として言われたのだと思う。

私は在職中にもっと忠実にこの教えを実行しておれば良かったと悔やむと同時に、当時の学生（今はすべて卒業生）諸君にお詫び申しあげたい。

これが96歳のねぎごとです。

ゼミ短信

今、日本に帰って来て、時差ボケ、夏風邪、夏バテの三重苦に見舞われています。

（運動科学）

科学研究会のこと

久保田誾先生

私が顧問をしている科学研究会も創立以来20年近くになりました。OB数も100人を超え、毎年OB会を開こうではないかと話が持ち上がっています。昨年秋は在学生の努力でOBが集まる機会があり、「くいだおれ」で四十数名の盛会でした。これだけの人脈を学外でつくろうとすれば大変な努力が必要です。同窓の人脈のありがたさを在学生は実感したことと思います。

さて、残念なことに最近1回生の入会者が無くて、団結を誇った科学研究会も先細りの状態です。学生の知的興味が大きく変わって、気楽で頭を使わない趣味のサークルへの志向が強くなったのでやむを得ませんが。

毎年、正月4日はOB有志の集まりが私宅でありますので、電話で確かめて参加してください。

（宇宙科学）

はじめまして

幸田亮一先生

谷口明丈先生の後任としてこの4月に着任し「経営史」を担当しております。それまで12年ほど佐賀大学に勤務していました。

研究分野はドイツの工業史です。ドイツ工業というとベンツやジーメンスなど大企業を思い浮かべる人が多いのですが、私が研究しているのはそれと違った「もう一つのドイツ工業史」です。とりわけ、中小企業の多い金属機械工業、中でも技術的に要の位置を占める工作機械工業の歴史を追究しております。熟練継承を重視し、工場にもマイスター制度を導入しているドイツは、やはりこの分野で大きな底力を持っているように思います。

こんなことに興味をお持ちの卒業生の皆さん、気楽にご連絡ください。

（経営史）

ワインがおいしい

高津芳則先生

在外研究の機会をいただき、1994年4月よりパリにいます。まず生活が成り立たなければ研究はできません。外国で生活を成り立たせるということは、けっこう大変です。語学の「カベ」はもちろんのこと、生活文化のあらゆる点について日本とは異なっています。特に、私は1歳の息子を連れての外国生活なので、さまざまな苦労をしました。

やっと生活が落ちついたかなと思ったらもう夏。研究らしいことはできていません。これまで何をしてきたのだろう、と反省しつつふり返ってみると、毎日ワインだけは好きなだけ飲んできたことに気づきました。1年間の留学で何を学んだのかと問われて、「ワインの味」と答えることになるかもしれません。

水に拍手

後藤一郎先生

この夏は連日、各地で断水が報じられた。出張先でも時間断水を味わったが、断水には忘れられない体験がある。

前勤務地に住んでいた時、台風の影響から突如として居住地域が完全断水に襲われた。給水車を待つしかないが、1杯の水にもこと欠くのは不便極まりなく、住人の

関心は断水がいつまで続くかに集まる一方であった。水が出るようになったのは5日目であり、多くの人から拍手がわいたという。

今のところ、関西は断水を回避できそうであるが、あらためて水に不自由しない生活を願うこの頃である。

（商業学）

ゼミ26回目を迎え

杉山　襄先生

平成7年3月に25回目の卒業生を送り出すことになります。多数の卒業生は、みな特色のある方々でした。社会での活躍も盛んなことでしょう。

私も平成7年3月で74歳ですが、元気はつらつで、多数銘柄の株式を業界にまんべんなく配し、米経営誌『フォーチュン』は隅から隅まで読んで10年続いています。

住居も京阪・香里園駅前で34年住みついています。近くへお越しの節は是非お立ち寄りください。産業界の現況にはかなり深い知識を蓄えています。本来は技術者で、エレクトロから経済・経営・税金まで広く浅い知識を蓄えています。

（生産管理論）

教師にとっての同窓会

高寺貞男先生

生まれ育った土地で小学校、県立中学、官立高校へ進んだが、大学は遠く離れた京都を選んだため、故郷での同窓会へ出席する機会はほとんどない。しかも、大学を卒業すると、母校の教師となったため、単なる卒業生として気楽に同窓会に参加したことは一度もない。

この点は大阪経済大学の教師となっても、変わりはない。

その意味で、同窓会への参加を求められると、私はいつでも複雑な気持ちになってしまうのである。

（会計情報システム論）

暑さと就職

田渕　進先生

学生が就職活動で駆けずり回るころ、就職部長の仕事ももっとも忙しくなる。

5月の産業セミナーは企業の人事課の方々を招いて懇親の機会をつくる重要な行事である。6月の後援会理事会や同窓会支部長会議での挨拶は欠かすことができない。7月になると恒例となった父母懇談会が始まる。本学だけでなく地方でも開かれ、その機会にそれぞれの同窓会支部の歓迎を受けることになる。今年は広島、高松に続き福岡にも赴いた。いずれの都市も日照り続きの猛暑で水不足が心配され、父兄からの質問はこれまで以上に就職問題に集中した。

暑さとは違っても今年の就職は文字通り厳しい。こうした状況の下、同窓会の機会に知る諸先輩の活躍にはおおいに潤いを感じた。

（経営学総論）

みんなでスキーに行こう

土居充夫先生

卒業生の皆さん、お元気ですか。この夏の記録的な猛暑に負けませんでしたか。残念ながら、小生は少々バテ気味でした。

さて、94年度の3年生ゼミのテキストに細川護熙編の『日本新党責任ある変革』を使っています。細川政権ができる前に、これはタイムリーだと確信して採用を決定したのです。ところがその後の展開はどうでしょう。今回もまた後手に回ってしまった。トホホ……。

（というのは冗談。日本の戦後全体を対象に考察しているから、政権交代が頻繁に行われてもビクともしないのだ）

ところで、恒例のスキー合宿に下級生にも自由に参加してもらうことにしました。OB諸君も暇があればどうぞ顔を出してください。

（政治学）

先生の近況

退職の挨拶

木村敏男先生

私は昨年11月に満75歳になり、本年3月末をもって本学を退職しました。大阪市大から本学に移籍して早くも12年を経ましたが、その間本学の教職員、学生、関係者の皆さんには大変お世話になり、誠にありがとうございました。

「産業構造論」の講義やゼミナールでの研究・合宿・旅行（野尻湖）などではいろいろのことがありましたが、今はすべて楽しい思い出として残っています。

退職後、私は時間割りに規制された生活から解放されて、すべての時間を自由気ままに使う生活に入り、これまで十分にやれなかった社会活動や趣味の学習などに残ったエネルギーを注いでいます。

皆さんにはますます元気で活躍されることを祈念しています。

鈴木達郎氏を偲んで

倉辻平治先生

本年6月9日、スーパーダイエーの専務取締役鈴木達郎氏が他界されました。鈴木氏は経大在学中は私のゼミ所属、卒業後ダイエー入社。39歳の若さで重役の一人に抜擢され、以後中内社長の右腕として同社の重要ポストに就いていました。それだけに、53歳という人生航路のこれからという時での急逝は誠に惜しまれてなりません。

今夏も信州野尻湖高原で過ごしました。毎年この高原に来るたびに、昆虫類の数が目に見えて減っているのに驚きます。数年前までは、山小屋の周りで赤とんぼが群をなして飛び交っていたのに、今年はほとんど姿を見せませんでした。人間生活と自然環境の関わりの重要性を改めて痛感した次第です。

激動の時代の中で

重田澄男先生

1989年以来の東ヨーロッパやソ連における社会主義体制の崩壊をどう考えたらいいのかということについて、マルクス経済学をやってきた者として自分なりの見解を提示する必要があると考えました。そこでこの3月、『社会主義システムの挫折――東欧・ソ連崩壊の意味するもの――』（大月書店）を出版しました。

さらに、その実態の一端でも知りたいものと考え、7月上・中旬

ゼミ短信

中川操ゼミ卒業生へ

中川　操先生

この原稿を書いている時はいつも夏休みでアメリカに滞在中です。毎年アメリカで在学中のゼミ生や卒業生と会えるのが楽しみです。

今年も英語研修参加者の中に4年1名、3年3名、2年2名、昨年の教養ゼミ生1名がいました。また、2年のゼミ生たち3名がカナダ旅行の途中、立ち寄ってスポーケンの我が家に4日ばかり滞在しました。

大学院のMBAコースには、2年前の卒業生西口登造君が在学中、中川昭君は6月に無事大学院を卒業しTESL（外人に英語を教える）でMAをとりました。外国の大学院をめざす卒業生や、海外駐在や出張する卒業生も多くなって海外からの便りが楽しみです。

同じ住所に住んでいますのでお便りをください。

住　所
〒662 西宮市甲陽園東山町4-12
TEL0798-74-1378

（英語）

ゼミ第1期生を送り出して

長岡延孝先生

昨年度（93年度）本学赴任後初めての卒業生を送り出すことができ、皆さまへの感謝と安堵を感じております。お陰さまで、真剣に就職活動した学生は、100パーセント就職に成功しました。卒業式に証書を一人ひとり手渡し握手したときの学生さんたちの満足した表情は一生忘れることはないでしょう。

もとより、就職は人生の一つのスタートに過ぎませんが、気持ち良くそうできたことは、私にとっても学生さんたちにとっても幸せなことに相違ありません。これも卒業生の皆さまを中心にした幅広いネットワークのたまものであると思います。今後とも同窓会が発展していくことを心より期待申しております。

（経済政策）

ゼミ生ふえる

永野　仁先生

「教養ゼミ」――『戦争と平和』は昨年度から始め、昨年は4人、今年は19人と激増しました。

岩波文庫『きけわだつみのこえ』を中心にやってます。

ゼミ旅行は東京（ヤスクニ遊就館）、長野県信濃町（一茶の里、ナウマン象博物館など）と決まりました。車中での談論風発を期待しております。

『アンナ・カレーニナ』ゼミは1985年から続けましたが、ただ今、中断中です。

老母が5月にみまかり、私はやっと〝日本的封建家族制〟から解放されました。

これから〝第四の青春〟を生きます。

皆さま、大学気付で、お便りをください。

（日本文学II）

退職を控えて思うこと

成瀬　洋先生

私は来年（1995年）3月、27年間お世話になった経大を定年退職の予定です。ずっと1、2年生中心の教養科目を担当してきま

したが、ひと頃学部ゼミを受け持った時期があって、卒業生諸氏とのつながりができました。

その後6年間理事を務めた折には、磯野会長、比企事務局長と共に、北海道から九州まで多くの同窓会支部総会に招かれ、歓待を受けました。その時のことはいまでも、忘れがたい思い出として残っています。平生狭い大学構内で学生諸君と向き合っているだけだったので、経大と言えば大隅キャンパスというイメージでしたが、支部総会に行ってみて、経大が日本中に広がっているという実感を得ることができました。

（地球科学）

2年目の御挨拶

林　遵先生

本学2年目の教員です。昨年4月に東京からやって来ました。キャンパスの近くに部屋を借り、徒歩で通っております。遅ればせながらご挨拶申しあげます。

担当は「経済原論Ⅰ」。現代の若者にマルクス経済学原論を教えることは予想以上に難しいことを知りました。本年度から専門ゼミも始まり、学生諸君と直接語り合えることが嬉しいです。

偶然ですが、小生の指導教授であった和田重司先生は、1963年11月から1970年3月まで本学教員でした。担当は「経済学史」。昨年配布された同窓会名簿にも和田ゼミ先輩諸兄のお名前を沢山見つけることができました。

未熟者ですが、どうぞよろしくお願い申しあげます。

（経済原論Ⅰ）

新たなスタート

本田良巳先生

4月に経大に赴任してきました。もともと、京都の出身で、12年ぶりに関西に戻ってこられ、大変喜んでおります。専攻は「会計学」、講義は「国際会計論」を担当しています。

経大は長い歴史を有する単科大学であり、その落ち着いた環境の中で、研究・教育に努めることを光栄に思っております。初心に返り、今後とも頑張っていきたいと考えています。

（国際会計学）

松尾ゼミの卒業生へ

松尾竹彦先生

卒業生の皆さんお元気ですか。月日のたつのは早いもので、小生が大経大に奉職して早30年が過ぎました。ゼミ出身者も、およそ1000余名を数えますが、第1期生は、すでによわい知命に達し、実社会の先達としてエネルギッシュに活躍しているようすが目に浮かんできます。

最近は、ゼミも女子学生が多くなり今昔の感があります。

ところで、小生も還暦を迎えて以来、多少健康を損ないましたが、どうにか余生を楽しむ心境で暮らしております。目下、月曜日と火曜日は、大学に出校しておりますから、お暇の節は気軽にお立ち寄りください。

末筆ながら諸兄及び諸姉のご健勝とご発展とを祈念いたします。

（経営管理論）

経大生活も、早10年となりました

松岡憲司先生

松岡ゼミ卒業生の皆さん、お元気のことと存じます。

月日の経つのは早いもので、私が本学にお世話になって10年目となり、ゼミも現在の2年生が8期生になっています。

今年の連休には1期生（1982年卒）、4期生（1991年卒）の何人かの方々とお目にかかる機会が続けてありました。不況の中、みんなそれぞれ仕事に頑張っていらっしゃるようすを伺いながら、学生時代の思い出話も盛り上がりました。ほかの卒業生の皆さんも、近況をお知らせください。

私個人の近況としては、この3月に、長らく取り組んできたリースについて『賃貸借の産業組織分析』という本を出版することができ、ほっとしています。

（産業組織論）

大学の社会的地位向上の王道

末永隆甫先生

貨幣論に「グレシャムの法則」というのがある。それは「悪貨が良貨を駆逐する」というものである。ところが、この法則は私の見るかぎり、単に貨幣の世界だけでなく現実社会のさまざまの領域で作用しているように思える。

大学もまたその例外ではない。大学の場合には、教師として採用された当初は上級職に昇格するために懸命の努力をして「良貨」になろうとするが、「教授」になってしまえば、自らの専門領域で一層の研究努力をしなくなり、もっぱら学内行政の面で、あるいはマスコミに進出して名を売りたがるようになる。そのような教師が増えてくると、当然大学の知的水準は落ち、社会的評価も次第に低下する。

そうならぬためには、教師たちが切磋琢磨して、自らの研究水準を高めるため、不断の努力をすることが必要である。大学を「愚者の楽園」にしてはならない。

大阪経大への感謝の詞

平　實先生

小生が、大阪市大をリタイアしてから、本学において再び学究生活を送らせてもらったことは、実にありがたいことであったと感謝している。

市大在職中に小生は限界内ではあるが経済学に関する蓄積を行い、種々の語学を身につけた。この時点でのリタイアは、まさに脂の乗り切った時期といえた。だから本学に来て後の小生は、市大時代に優るとも劣らないほどの多くの論文を書き著書を上梓しており、研究者としていささか自負し得るほどの仕事をしたつもりである。これも全く本学に勤めさせていただいたお陰であり、その意味で本学に心からお礼を申しあげたい。

同時に本学在職中に何かとお世

卒業生の皆さんへ

松村幸一先生

しばらく「ゼミ短信」での卒業生へのお便りをご無沙汰していました。一昨年の2月に大腸の手術で2カ月入院しました。歳のせいで視力を始め体のあちこちにガタがきています。しかし、昨年5月から学内で相当忙しい仕事にたずさわり、緊張しているせいか、気力は充実しているつもりです。

カリキュラムが変わり、今年から2年の専門ゼミが始まりました。ゼミが3年間続くわけです。今までよりもゆとりができた感じで、3年間の成果を楽しみにしています。

ご承知のように今年の4年生は、就職活動で悪戦苦闘しました。来年も必ずしも楽観はできません。良いお話があればご一報ください。

（西洋経済史）

金沢在住OBと交歓

松村文武先生

7月16日金沢にて4名のOB（福原、尾山、塩、松田の各君）と旧交を温めました。卒業年度の異なるゼミOBを引き合わせたことにもなります。新しいネットワークが生まれ発展することを祈ります。いずれは「両道会」がこうした役目を果たせればと思います。

ゼミ再開で40名の新ゼミ生（今年から2年生ゼミが開始）が集まりました。関学へも非常勤で教えに行くことになりルーティンの多忙さが戻ってきました。

また、新著『体制支持金融の世界』（青木書店）はさまざまな波紋を呼び起こしているようです。

7月末現在本学の最高経営責任者は依然として変わりありません。ケジメをつけない指導者はその組織を崩壊に導きます。

（国際経済論）

マルチメディアに取り組んでいます

松本良治先生

松本ゼミ第1期生の皆さんお元気ですか。職場での配属先も決まり、緊張と充実の毎日を過ごしておられることでしょう。

ゼミテーマ「情報通信」にもマルチメディアを取り入れて、段々おもしろくなりそうです。現在、音や映像を使った学校案内の作成、マルチメディアデータベースの作成、パソコン通信の運用、情報家電を前提にしたユーザインターフェースの提案などをグループ研究のテーマとして取り組んでいます。昨年に懲りて卒論はできるだけ短く、共同執筆でといっていますがどうなることやら。

たまにはゼミに顔を見せに来てください。女性の後輩も増えましたよ。

（情報通信概論）

里がえりの新任者

山田文明先生

本年4月から経営学科に採用していただきました。どうかよろしくお願いいたします。

かつて教えを受けた多くの先生

の姿がすでに無く、博士課程を終えてから過ぎた17年の重さを寂しく感じ取っています。その一方で、未来に向かって変化しつつある母校の力もまた感じる毎日です。

母校で何かお役に立たねばと思いながら、まだ何もできないでおります。取りあえずは講義を大切にすることからと考えています。

体験的学習も有意義ですから、円高を利用して、学生と一緒に海外の社会状況と進出している日本企業を見学すると共に、現地の学生とパソコン通信で情報交換する状況を作りたいと考えています。

（情報処理概論）

ゼミOB会

参加希望者は連絡を！

12月18日、兵庫県民会館で、講師に甲南大学理事長小林守正氏を迎え「クラウデヴィッチの戦争論から見た太平洋戦争」の講演会を開催する。終了後元町「愛園」で懇親会を行った。

1月25日、26日の両日、但馬旅行を行う。初日は香住で、カニ鍋を満喫し、翌日は、但馬海岸道路をドライブし、城崎に遊ぶ。

姫路城をバックに皆で春を楽しむ

4月8日、明石の舞子浜で建設中の明石大橋の現場を見学し、明石市内の「人丸花壇」で名物の〝鯛ずくし〟を賞味する。翌朝、明石「魚の棚」を散策後、昨年世界の文化遺産に登録された姫路城を鑑賞し、「福亭」で昼食を囲みながら懇親する。

8月20日、南大江「湖陽樹」で「ヴェトナム・アンコール遺跡群について」を井上清先生、「最近の中国」を松本茂郎先生から、それぞれ最新の見聞を聞き、その後懇親会を開く。

次回参加希望者は、左記まで連絡を。

TEL06-4621-5979
菅　脩(16)
TEL06-2291-8525
酒井亮介(15)

卒業20周年記念ゼミ旅行

松村幸一ゼミOB会

卒業以来、毎年集まってきた松村幸一ゼミ同期会は、6月18日、大経大卒業20周年を記念して、1泊2日のOBゼミ小旅行を平安建都1200年の京都で開催いたしました。鴨川べりの宿で京料理の醍醐味をゆっくり味わいながら大いに語り、京の花街祇園では、松村先生の素晴らしいカラオケ特別講義を深夜まで受講し、楽しい一夜を過ごすことができました。

参加者が8名と少なかったのは残念でしたが、荒井君の十数年ぶりの参加もあり、母校の発展と松村先生のますますのご活躍を願い、来年の再会を約束し散会いたしました。

今回、参加できなかった同期生諸君、来年会えるのを楽しみにしています。

八木眞一郎(40)

鴨川べりの宿で京料理に舌鼓

先生の近況

話になった教職員の皆さまにも厚くお礼申しあげると共に、同窓会の今後の発展を祈っております。

炎暑と闘いながら

田中健一先生

異例の酷暑続きですが、学友諸兄にはめげずに御健闘あり、向井さんの夢の宇宙実験成功と共に大慶至極です。

老生は、今年もねたきり老妻の在宅看護に追われていますが、居住市高年福祉課の「年金外無収入者扱い」で、ほとんど無料のご配慮に甘えさせていただいております。これも老生の三大失敗の一つの結末と諦観し、前向きに夢を抱いています。寛厳交々の自然と共存しつつ、ひたむきに老妻介護に生き甲斐を感じ、夢想論達成・カラオケ上達と恵み雨に期待しつつ猛暑と闘っていきますから御安堵ください。

しかし猛暑が来ると過去85年間の数多くの思い出を想起します。大経大学会シリーズ5『教師と教育』の中の「夏休みと恩師」もその一つですが、今夏もまた、次のような句をものしています。

●発気揚々（ハッケヨイ）ビール日和と胸が合い

訃報

黒羽兵治郎先生の思い出

大阪府立大学名誉教授・元大阪経済大学日本経済史研究所所長黒羽兵治郎先生が、平成5年10月29日、89歳で逝去されました。

先生が学問・研究の上で残された輝かしい業績は、改めて記すまでもないことであります。先生には学究生活のみならず、大阪府史・大阪市史等の編纂委員長をはじめ、多くの要職に就かれ、昭和50年度には、大阪府・大阪市から大阪文化賞を受賞されました。

日本経済史研究所での先生の思い出は、何といっても研究所が毎年刊行している『経済史文献解題』に関することであります。先生が毎週の学部・大学院の講義やゼミの合間も、寸暇を惜しまれて『解題』の原稿に朱を入れられ、不備なものは来週までに調査をしておくようにという宿題を課せられ、次週のご来学前には宿題の完成に追われる緊張が続いたものでした。今にして思えば、先生のご指導のもと、三十有余年『解題』をここまで続けてこられたのも、先生のご努力があってこそと、感慨ひとしおのものがあります。

先生の残されたよき伝統を、関係の先生方と共に大事にしていきたいと思っております。ご冥福をお祈り申しあげます。

日本経済史研究所
野村君代

ブックギャラリー

『猫とがん患者の愉快な交遊』

―がんを明るく生きるための試み―

松本　剛著
平成6年6月28日発行
自費出版
174ページ

タイトルが示すように、がん患者の主人とその主人を支える一家の日々のくらしを、猫の視点から物語風に綴られた作品である。

主人の梅谷智善さんは大阪財政大学の先生で、歳は57歳。大学病院で癌手術をしたが、悪いところをうまく取り除くことができず、4カ月の入院生活を終えて、現在

●招待も無にして深謝の鉾祭

やがて始まる熱闘全国高校野球大会を共に楽しみにいたしたいです。

「汗し　泪し　血を涌かす」

そのものずばりを。

あたり年!?

橋本紀子先生

今年度は学内では組合の委員、自宅の方でもマンション自治会の役員と、世話役にあたる年のようです。そんな年に限って(?)自宅の隣に新しいマンションが建つこととなり、市への陳情だとか、建築協定書の作成だとか、新しい分野の事柄についていろいろと勉強するはめとなってしまいました。(どうも法律関係の話は苦手です…)

交渉の方は無事円満にすんだのですが、いざ工事が始まってみるとすごい騒音！　常時歯医者さんにいるような気分で、この夏の猛暑がいっそう骨身にこたえています。

は自宅療養をしている。家族には、智善さんの奥さん、娘さんが2人、犬のコロ、そして猫のチーコとチーコの母のクロがいる。そのチーコの視点から梅谷家の闘病生活が描写されている。

智善先生の癌の病巣は肝門部胆管といって、肝臓の出口の胆管のところにある。その胆管が詰まっていて、胆汁が腸に流れていかない。このため、先生のおなかには胆汁を体の外に吸い出すチューブが2本ささっている。大きく口を開けてあくびをすると横隔膜が動いて、チューブも動いておなかが痛くなるため、智善先生があくびをする時はいつもおちょぼ口になる。そんな智善先生を見たチーコは、智善先生が大きな口を開けてあくびができるようになるのを祈って、〝あくび先生〟と名づけた。

そんなあくび先生の持論は「ことばが真実になる」である。苦しい病との闘いの中にあっても、常に明るく肯定的な言葉を口ずさみ、自らを律していくところにあくび先生の精神的な強さを見ることができた。また、看病を通して、家族の愛情も見ることができた。物語としてユーモラスなところは、猫たちは猫たちなりにあくび先生を気づかい心配して、ご祈禱を捧げるところだ。その文句とやらは「ルオナズラナカ、ハイセンセビクア」である。皆さんは、この意味がお分かりになるでしょうか？一度、逆さから読んでみてください。

この物語は、夫が癌を患い、3度目の手術が不能であることを告た2年余りの日々の暮らしを自ら物語風にまとめたもの。猫の視点から描かれているが、述べられていることはすべて事実に即しているとのこと。あらためて、故松本剛先生のご冥福をお祈りいたします。

（川崎　章記）

TOPICS

本学大学院で学ぶ国費留学生

私の名前はダイアナ・ザンモといいます。1965年2月27日にアルバニアのティラナという町で生まれました。1987年にティラナ大学経済学部を卒業した後官庁へ就職しました。ティラナにいた時大阪が日本の有名な商業の町であることを本で知り、それで私はこの大学で研究をすることにしました。私は1994年の4月から経大で学んでいます。会計学は高寺先生、日本経営論は澤邉先生、計量経済学は藤川先生に教えていただいています。私はこの日本で広範囲にわたる質の高い研究をしたいと思っています。

また、私のために大変よくしてくださった教職員の皆さんに感謝します。本学で監査について学べることを大変うれしく思います。

『七草雑煮録』

園田理一著
平成5年12月10日発行
自費出版
118ページ

本学で25年の長きにわたり、中小企業論の教鞭をとられた園田教授。その晩年の93歳から94歳にかけて、半盲であられながら書かれた随想録。自分の人生を誠実に、しかも悔いなく生きた一人の男の総決算の想いや、言葉が…

「勇気とは、何事が起きても泰然として事を処理することである。」

「我が妻の今もわが家に生き続く、思わず知らず、名を呼びにけり。」

「流れは、先を争う事もなく、流れの中に身を任すのみ。」

園田教授の想いが今もこころに呼びかけてくる。

（大門由秀記）

本部だより

大阪の国際化と共に活発に進む支部活動

同窓会 会長
磯野　斉

待望の関西国際空港がめでたく開港しました。騒音と土地問題を回避して造られた、世界でも珍しい海上空港だけに、その建設に巨費を要した結果、幾多難題を抱えてのスタートになりました。しかしながら、国内初の24時間空港を実現したことは、この数年間に目覚ましい近代化を成し遂げたベイエリアと連動して、2、000万市民を擁する関西都市圏に、新たな文化的、経済的価値創造を約束したと言われています。これから飛躍的に増大する空の便利性を通じて、関西国際空港は、国内各都市との輸送力の強化、円滑化に寄与すると共に、国際的にはグローバルな世界交流の拠点として、刮目すべき将来が期待されます。

長期にわたる不況に悩んだ関西経済界は、その多くの企業が、自らの生き残りをリストラにかけ、人員削減によって企業再生を図りました。そして今ようやく苦渋の時期を越えて、創意工夫、発想の転換に衆知を集め業容の発展を模索する段階かと考えられますが、関西空港を中心とする特筆すべき環境の変化が好影響を与えて、景気回復の起爆剤になればと思います。母校大阪経済大学は市内に立地して変転する政治経済の動向を直視する環境に恵まれていますが、これからは、大阪の国際化が進むにつれて、世界の学者、教育関係者の来訪がさらに増えることになりましょう。開学以来62年の今日まで自由と融和を教学理念として、国際的感覚豊かな人材を数多く世に送りましたが、同窓会は本年卒業の新会員1、399名の参加により会員5万8千名に達しました。全国各地に所在する38の支部は、年々会員の交流を盛んにし、その支部活動は極めて活発であります。

大学の知名度回復の一環として続けられている父母懇談会は、今年も上島学長の積極的主導のもと石川、広島、香川に加え、新しく福岡で開催されました。支部総会はこの大学行事に合わせて開催され、何れも盛んな会合になりましたが、支部長はじめ役員の方々のご尽力に感謝申しあげます。

今年も皆さんにご報告すべき喜ばしい情報があります。高知支部長として後輩の面倒を見ておられる横田憲介氏が叙勲の栄に浴されました。また日印文化協会設立三十周年を迎えるに当たり、桑原泰業氏が、その協会長として国際親善に貢献されたことで「井植文化賞」を受賞されました。両氏の栄誉を讃えお喜び申しあげます。

次に悲報があります。長い間、同窓会副会長として、常に私心を捨てて正論をとなえ、同窓会発展に全力投球を続けられた松本義和氏が数年に及ぶ闘病のあと、遂に薬石効なく逝去されました。誠に惜しい人を失い惜別の情を禁じ得ません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

さて、平成5年度決算、6年度予算につきましては例年のとおり6月25日全国から支部長、理事、監事104名のご参集を賜わり、全議案すべて滞りなく可決確定されました。ここに厚くお礼申しあげます。

おわりになりましたが、公私ご多忙の中『澱江』の編集に少なからぬご尽力をいただいた方がたに深謝申しあげますと共に、国内外でご活躍の同窓生各位のご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

平成6年9月

平成6年度総会リポート

平成6年度同窓会総会は、多数のご来賓各位のご臨席をえて、例年通り11月3日(文化の日)、母校の50周年記念館で盛大に開催された。

◆総会セレモニー

開会冒頭に物故者の冥福を祈り黙禱を捧げ、続いて津秋総会特別委員会委員長(29)が、新しく開港した関西国際空港の開港により、今年は大阪にとっては大変意義ある年となり、この意義ある年の総会を有意義に過ごしてほしいと挨拶し、学歌斉唱に続いて、磯野同窓会会長から要旨次のような挨拶があった。

①例年通り多数の皆さんの参加をえて今年度総会を盛大に開催できたことを心から嬉しく思う。

②大学当局から鈴木理事長、上島学長をはじめ多くの教職員のご臨席をえて、錦上花を添えていただいたことに心から謝意を表する。

③全国各地で母校並びに同窓会のために活躍しておられる支部長各位の日頃の努力に感謝すると共に、新しく会員となった新卒者諸君の入会を歓迎し、その前途を祝福したい。

また、今後共より一層の支援・協力を要請する。

④今年度の感謝状贈呈者に対して謝意を表し、また、故松本義和氏(18)(当時副会長)に謝意を表し、その冥福を祈られた。

⑤高知支部長横田憲介氏(7)、桑原泰業氏(9)等の受賞の栄を称えられた。

⑥最後に諸般の事情によって学校法人の理事・評議員の職を辞したことを報告された。

来賓ごあいさつ

鈴木理事長ご挨拶の要旨

①先に、磯野同窓会会長が法人の理事・評議員を辞任された旨の挨拶があったが、磯野会長とは兄弟のように親しくし、50周年記念館の建設その他幾つかの事業を成し遂げ、実に感慨深いものがある。

②厳しい不況下にあって、就職状況は、男子90%、女子80%の内定率で、他大学に比べて素晴らしい成果だと思う。

③昨年は入試志願者の減少も極くわずかであったが、今後とも同窓会との連携を密にして大学の発展に努力したいので、全面的な協力を願う。

上島学長ご挨拶の要旨

①大学は冬の時代に入り陰鬱な光景でさえあるが、幸い本学では一条の光明がさしつつあると思う。

本学では、大幅なカリキュラムの再編成を行っているが、そのねらいは、新しい学問の発展と社会情勢の変動に即応する体制を教員が認識して実践することである。自己点検、自己評価運動の第1段階が終了する時期を迎え、本学がかかえる教育研究上の諸問題が系統的に分析されると思う。

②社会の変化の中には学生の変化もある。18歳人口は減っても学生は様々な顔を持ち、様々なニーズを持っており、それに合わせた教育をするのが、これからの大学であると思う。

本学でも、この認識が具体化し、実を結びつつあり、多様な学生を迎え、少人数教育を実践する計画である。

③就職状況は量的には好成績であるが、学生の就職先は必ずしも学生の望むところではない。しかし、学生が、何時、どのようなところでも自信を持って活動できるような教育をしなければならないと思う。今後共より一層の力添えをお願いしたい。

来賓紹介

波根広報部長(32)から来賓各位の紹介が行われた。

シンボルマーク、ロゴタイプの発表

母校に新しくシンボルマーク、ロゴタイプが制定され、11月3日(文化の日)の同窓会総会当日を期して、学内一斉に使用されることとなり、広報委員長の松岡憲司教授から、その発表と趣旨説明が行われた。

感謝状贈呈

この度勇退し、後進にその職を譲られた、前泉南支部長中川克己氏(6)、前東海支部長加藤正秋氏(10)並びに去る平成5年10月現職の副会長で逝去された、故松本義和氏(18)に対して、その功績を称え感謝状並びに記念品が贈られた。

支部長・同窓会来賓の紹介

陰下事務局長が、当日出席の支部長・同窓会会長・顧問・副会長を紹介してセレモニーのすべてを終了した。

◆懇親パーティー

平尾哲男常任理事(28)の司会で開会し、鈴木理事長、上島学長、磯野同窓会会長3氏による恒例の鏡開きに続いて、3学部長・大学院委員長を代表して、国友順市経済学部長の音頭で乾杯の祝杯をあげ、会場の雰囲気は一気に活気を呈した。

昨年の同窓会総会風景の写真展示も行われ、その前に用意された

談話室、お茶席の利用者も結構多く、和やかな雰囲気のうちに予定時間も過ぎ、グリークラブの逍遙歌斉唱の後、井阪健一東京支部長の音頭で威勢のいい三本締めを行い、午後2時散会した。

平成6年度理事会リポート

◆日　時　平成6年6月25日(土)
午後3時30分開会

◆場　所　新阪急ビル12階
レストランパレス

◆磯野同窓会会長挨拶の要旨

例年のことながら、今年も6月の第4土曜日を迎え、理事の皆さんと元気にお会いできたことは真に喜ばしいことで、今後共お互いに健康に留意して、母校並びに同窓会の発展にご支援・ご協力をお願いしたい。

また、昨年度は各地で後援会主催による学校当局の父母懇談会が開催され、それに併せて、その地区では支部総会が開催され、何かとご協力いただいたことに心から感謝の意を表する。

なお、平成5年度決算・平成6年度予算(案)については、理事会の承認を得ることになっているので慎重審議をお願いしたい。

◆議長選出

慣例によって、磯野会長を議長に選任し議案の審議に入った。

◆議案審議

第1号議案　平成5年度決算について

本案件については、中村財務部長(31)が収支各項目の詳細を説明し、続いて植村監事(32)から平成6年6月8日に監査を行い、その処理は「正確かつ適正であった」旨の監査報告が行われた。議長が本案件について、その賛否を問うたところ満場一致で原案通り承認可決された。

第2号議案　平成6年度予算(案)について

本案件については、福元財務部副部長が各項目について詳細に説明し、特に今年度は前年度に比較して会費収入が大幅に減少する理由、また、前年度に続いて同窓会の財政基盤充実のため、特別基金へ800万円を繰り出した旨等を説明し、議長が本案件について、その賛否を問うたところ、満場一致で原案通り承認可決された。

第3号議案　その他

前年度理事会において、磯野会長が基金合計額が1億円になったことを報告され、その提案者であった当時の財務部長長岡辰生氏(5)の功績を称えられたが、本年度理事会において、同氏を同窓会顧問に推挙したい旨を提案され、全員これに賛意を表した。

続いて、長岡辰生氏が顧問就任を受諾され謝辞を述べられた。

以上をもって議案審議を終了し、最後に、村松幸一入試部長、田淵進就職部長から本年度の入試状況、就職状況を報告いただき理事会を終了した。

◆懇親会

恒例の懇親会は、例年通り立食パーティー形式で開催。

開宴に先立って、ご臨席いただいた来賓各位を代表して、鈴木理事長・上島学長にお祝いの言葉をいただき、続いて陰下事務局長が来賓各位を紹介し、国友経済学部長の乾杯の音頭で会場の雰囲気は一気に盛り上がり1時間半の予定時間は瞬く間に過ぎ、来年の再開を楽しみに三三・五五解散した。

当日ご臨席をいただいた来賓各位。

鈴木亨理事長、上島武学長、岩谷宣治専務理事、桑津昇理事、桜井弘志理事・事務局長、鳥居洋総務部長、国友順市経済学部長、上田慧経営学部長、門田俊夫教養部長、松村幸一入試部長、田淵進就職部長、香積弘晟大学事務部長

平成6年度全国支部長会リポート

◆日　時　平成6年6月25日(土)
午後1時30分～

◆場　所　新阪急ビル12階
レストランパレス

◆出席者　磯野会長以下常任理事13名並びに東京、東海、岐阜、滋賀、京都、富山、福井、三重、和歌山、豊中、池田、尼崎、神戸、丹有、姫路、淡路島、岡山、備後、広島、山口、香川、愛媛、徳島、高知、熊本、南九州の各支部長(代理を含む)

◆開　会

定刻に筒井豊中支部長の司会で開会、磯野同窓会会長から、概ね次のような挨拶があった。

①新卒会員の入会を心から歓迎すると共にその前途を祝福し、今後各界、各地で活躍してくれることを期待する。

②支部長各位には、常々母校・同窓会のために一方ならぬご支援・ご協力をいただき、前々年度には大学当局とのことで色々お心遣いをいただいたが、昨年9月岩谷宣治氏(11)に学校法人の専務理事として、また桑津昇氏(11)が学内理事に就任され、同窓会としても母校の経営に協力する体制が出来たと思

っている。

③18歳人口の激減期を目前にして学内では卒業生が考える程危機感を持っているようには思えないが、今回は特に学内理事に就任された岩谷専務理事、桑津理事が出席しておられるので、ご意見・ご質問等があれば懇談の際、遠慮なく発言して忌たんのない意見を伺いたい。

④支部長会幹事会は3カ月ごとに定期的に開催され、また、この度東海支部に女性の支部長が誕生し、他校に比べて同窓会の活動は大変活発であり、大阪女子経済専門学校の歴史を持つ母校としては真に意義あることだと思う。

⑤私学の経営は今後ますます厳しくなると思われるので、より一層のご支援・ご協力をお願いする。

◆協議事項

慣例によって、梶村丹有支部長(支部長会幹事長)を議長に選任し、筒井豊中支部長の司会で協議をすすめ、概ね次のような意見が出された。

①大学当局に実効あるPRを期待する。

②支部の実情・活動内容等紹介のため機関誌『澱江』の増頁を希望する。

③同窓会本部は支部長会の意見を大学当局に積極的に伝え、その実現に努力されたい。PR効果の大きい運動部強化のためにはグランドが狭すぎると思う。

④理事会当日以外の支部長会の開催を希望する。

⑤スポーツ振興のためにもスポーツ推薦入試枠の拡大を希望する。

⑥マスタープランの実現、卒業生の高校教員との継続的な懇談会の開催を希望する。

⑦理事会と教学執行部との協力体制が不十分ではないか。

以上の意見に対し、最後に岩谷専務理事から「支部会員の意見を反映した支部長各位の意見は十分に尊重すべきであると思うが、資金的なこともあり、総べてのことを一気に実現することは到底不可能であるが、できることから実現するよう考えたい」との返答があり閉会した。

平成5年度収支決算書(単位:円)

自 平成5年4月1日 至 平成6年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	16,270,388	16,270,388	総会費	5,315,256	7,000,000
会費収入	62,728,000	60,000,000	役員会費	2,145,811	2,500,000
総会収入	870,000	800,000	支部費	6,222,914	8,000,000
利息収入	1,538,888	1,200,000	事務費	1,138,790	1,500,000
澱江収入	652,110	900,000	人件費	7,426,000	7,600,000
名簿収入	4,559,700	4,500,000	旅費交通費	2,959,980	3,500,000
雑収入	273,650	0	澱江発行費	16,523,408	18,000,000
名簿発行積立金から繰入	16,000,000	16,000,000	名簿調査費	1,934,244	2,000,000
			名簿編集費	12,096,116	16,000,000
			学対費	3,202,405	5,000,000
			諸会助成費	1,059,148	2,000,000
			慶弔費	276,750	500,000
			名簿積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	7,000,000	7,000,000
			特別基金へ繰出	10,000,000	10,000,000
			予備費	0	5,070,388
			次期繰越金	21,591,914	0
合計	102,892,736	99,670,388	合計	102,892,736	99,670,388

平成6年度収支予算表(単位:円)

自 平成6年4月1日 至 平成7年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	21,591,914		総会費	7,000,000	
会費収入	53,000,000		役員会費	2,800,000	理事会・常任理事会・各部会
総会収入	800,000		支部費	8,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入	1,200,000		事務費	1,000,000	
澱江収入	700,000		人件費	7,600,000	事務局人件費
名簿収入	300,000		旅費交通費	3,500,000	
			澱江発行費	18,000,000	
			名簿調査費	2,000,000	
			学対費	5,200,000	大学祭・クラブ活動援助他
			諸会助成費	2,000,000	諸会援助
			慶弔費	700,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ・学術振興積立金	3,500,000	
			特別基金へ繰出	8,000,000	
			予備費	4,291,914	
合計	77,591,914		合計	77,591,914	

支部だより

北海道内の同窓の消息を

北海道支部

北海道支部が発足して12年になりますが会員数は今なお40名足らずです。その半数は札幌及びその周辺都市です。転勤族が多い中で最近北海道内での定住者が15名余り居ることが分かって大変うれしく思っております。

つい先ごろ東京から釧路に移住された第12期の福永庄三さんの消息を知りました。このような人が広い道内にまだ大勢おられるのではと推測しております。ご存じの方は是非ご一報いただければありがたいことです。

毎年10月上旬に支部総会を開き楽しいひと時を過ごしております。相変わらず出席者少人数ですが以前よりは賑やかになりました。支部総会も母校の発展、繁栄にあやかって次第に盛会になって行くことを念じております。

支部長　田中喜三郎(10)

北海道の支部総会は毎年10月上旬に開催

生き残れる大学に

東京支部

当学の入試会場が東京にもあることを同窓会の皆さんにも知っていただき大いに宣伝していただきたいと思います。本年は土井教授と林・西田の両職員が2月7日上京、2月8日は支部長及び、松谷国際証券社長ともども夕食をご一緒し、苦労話を拝聴。4月22日には上島学長、桜井事務局長が井阪支部長と文部省を訪問された後、先のメンバーで東陽クラブにて大学生き残り作戦をテーマに夜の更けるまで美酒を交えながら歓談し、意義深い春の夜でした。

ダイエーの元専務・鈴木達郎君が6月9日、北興化学工業の取締役企画部長・上岡豊晴君が8月8日と、第一線で活躍中の両君が急逝し、惜しみても余りある人材を亡くしました。葬儀には同窓会より生花を贈り生前の同窓会に対するご厚意に報いました。合掌。

尚本年の支部総会は11月2日(水)、中央区日本橋茅場町の鉄鋼会館で6時より開催です。

代表幹事　西山昭吾(16)

女性支部長に交代

東海支部

平成五年度支部総会は11月、なじみの名古屋国際ホテルで母校から松原教授、本部から南部副会長、梶村丹有支部長らを迎え、佐藤金銀花酒造㈱社長(9)による「利き酒大会」など、楽しいアトラクションも交え賑やかに行われた。しかし、私にとって最も大きなできごとは支部長交代だった。先日、全国支部長会議にも出席したが、女性は私一人でちょっと戸惑いを感じた。

前支部長から、これからは女性だからやれるんだということを示して欲しいといわれたが、これは大変な課題である。20年以上も支部長を続けられた先輩のご期待に沿うにはどうしたらよいだろうか。今後とも幹事の諸兄とじっくり相談していきたいと決意している。

支部長　阿部淑子(13)

利き酒大会では飲みすぎてしまった人も!?

親睦をいっそう深めて…

母校の発展を願い

富山支部

富山支部は毎年7月に総会を開催しております。本年も27名の参加をえて、会員の交流と親睦を深めました。大学から上田慧先生と本部役員の陰下・鶴谷両氏のご出席のもと、学園の現状と将来についての報告をいただきました。新学部設置の困難な中で、既存の大学の独自性を発揮しつつ、サバイバルの時代に、母校のより一層の発展を願う声が出ておりました。

支部全体としても、さらに交流を深め各分野で頑張りたいと思います。

支部長　重松　尚(23)

話題の同窓生

佐藤氏語る

加藤・阿部・佐藤氏

爽快なお彼岸の某日、私は東海支部長の阿部淑子さんと相談役の加藤正秋さんの訪問を受け、商都の東北澱江一族の不断の契りを覚え、古稀を過ぎたいま、一気に青春の思いに返ったのでした。実は、どう間違ってか「顔」の欄への取材とかでしたが、不肖は生来不精であり、そんな顔は持ち合わせぬと申し訳なくもキッパリお断わりして、私に対する取材よりは、僭越ながら、拙文投稿でお許しをえた次第です。

さて、東海支部の創世期は、先輩岡田佐市氏のユニークな指導性と円満な運営に託して久しく、その間、幸いにも名古屋市史編纂のため数カ年在名の上田藤十郎教授の熱心なご参加があり、時に2回ほど黒正巌学長のご臨席をえて、格調高いご講演を承ることができました。故野々山誠君はじめ諸兄の持参した「すき焼」を囲んで酌み交わした美酒の味は、友情と共に尽きせぬ黒正イズムの展開と多彩な話題に意気軒昂たるものがあり、忘れえない戦後廃虚の名古屋市日本興業銀行の一室をお借りしての感激でありました。

次代を受け継いだ加藤支部長はさすがにジャーナリストらしく、積極的に女性の参加を勧めたり、メンバーによるスピーチタイムを設けるなど、支部運営を確たるものにした中興の士といえましょう。加藤支部長はやはり良き後継人事も考えていました。まだ早いと思いきや古稀を迎えての決断か。その交替スケジュールの鮮やかさは見事でありました。

颯爽たる阿部女史の支部長就任は、新しい支部運営のさらなる活性化への大いなる期待がうかがわれ、すでに発展策を具体的に打ち出されています。支部会員の絶大な賛同をえて、日本一の支部長として東海支部の発展に寄与貢献されんことを祈念してやみません。

東海支部　佐藤常十郎(9)

夏はキャンプで親睦を深め

福井支部

昨年の支部総会は12月1日、大学から門田、玉岡、陰下の諸先生を迎え、会員約40人が参加し新装した福井商工会議所ホールで盛大に催された。

昨年10周年を迎えた大淀会では、2月18日の総会で新会長に野沢雄一氏(35)、事務局長に森真一郎氏(39)を選出した。今年の夏の家族ぐるみのレクリエーションは和泉村でのキャンプとなった。

夏休み図書館で偶然にも小浜の先輩、山脇延子氏(13)の歌集『海近く』(短歌新聞社・平成5年刊)を拝読。若狭の海への深い愛着や兄(故田中雅次郎氏(7))を思う歌に接し、今さらながら先輩の地道なご活躍に感服した。

吉田　叡(20)

楽しかった和泉村でのキャンプ

「一期一会」を大切に!

岐阜支部

岐阜支部会員総数150余名。昨年の支部総会案内を全員に配布して音信のあった方々が94名ありました。皆それぞれの場所でご活躍の状況を知らせていただきました。

支部同窓会は高校のクラス会と違って話題にこと欠きがちですが、「一期一会」の新たなふれあいを大切にして、個人の人脈の開発に努めていただきたいと思います。運営にあたる新たなスタッフも前回の支部総会で決まりました。

最後に訃報です。支部発足にいろいろご尽力いただきました丹羽好輝氏(8)が平成6年8月に急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。

野澤高秋(39)

ふれあいを深め、人脈を広げる場に

ただいま青春の城再建中

滋賀支部

私のふるさと彦根市のシンボル、国宝彦根城が平成の大修理に取りかかっています。喜びや悲しみを共にしてきたお城だけに、改修のためとはいえ天守閣が見えないのはなんとも寂しいかぎりです。

大阪経済大学同窓会滋賀支部は、かつては盛大に運営されていましたが、この20年ほどの間、まったく活動されていませんでした。大学や同窓会のご指導で、再び活動を開始したのは2年前の夏です。彦根のお城のように、今、経大滋賀支部という青春の城の再建に取り組んでいる真っ最中です。

去る3月20日、再建後2度目の総会をOBの森島君が経営する近江八幡市駅前のホテルで開催いたしました。総会には磯野同窓会長をはじめ、深田京都支部長や北村実教授にご臨席いただき、会員65人が出席いたしました。この総会の後、出席いただいた甲賀出身の方たちが声をかけられ、甲賀部会も開催されるなど徐々にではありますが、確実に再建への道を歩んでいます。

滋賀全体で約700人のOBが力を合わせ、青春の大切な城として、経大滋賀支部が再建される日は遠くありません。

支部長　正村公一(27)

彦根城のように青春の城再建の真っ最中

盛んな交流を目指す

和歌山支部

平成6年同窓会和歌山支部総会は、9月3日、和歌山ターミナルホテルにて開催しました。大学より上島学長、陰下同窓会事務局長ら、数名の来賓をお迎えし、多数の出席者を集め、盛大に行われました。

今後は、より一層会員相互の交流を盛んにし、友との親密さを深

めて、機会あるごとに同窓会員の輪を拡げていきたく思います。
変わらぬ気持ちで母校を愛し、今後の発展をお祈り申しあげます。
支部長　坂田文治(11)

大満足の支部総会
大阪市支部

第4回大阪市支部総会は3月20日、大阪東急ホテル「須磨の間」で開催されました。ご来賓に上島学長、南部同窓会副会長、梶村丹有支部長、鶴谷常任理事のご臨席を仰ぎ、参加者44名で始まりました。

太田支部長の挨拶に続き、南部副会長と上島学長の祝辞をいただき、議案審議の後、太田支部長の講演をお聞きしました。太田氏はアマチュアながら写真で二科賞を受けられる腕前。過去海外等でお撮りになった写真のごく一部を展示され、その写真にまつわるエピソードをユーモアを交えて紹介されました。出席者は満足のうち散会しました。

越川　昇(35)

楽しい時間は過ぎるのが早く…

話題の同窓生

県下で活躍する議員たち

現在、和歌山県下で市会議員、県会議員として活躍されている大経大の卒業生です。
写真、向かって左より、橋本市会議員・森安欣吾氏(33)、和歌山県会議員・新田和弘氏(32)、和歌山県会議員・上野山親主氏(38)。
和歌山支部総会において、改めて皆さんにご紹介いたした上で、全国の皆さんにも、卒業生諸氏が地元のために尽力していることをお知らせします。
今後、ますますのご発展をお祈りします。
和歌山支部　坂田文治(11)

これから一層の親睦を深めて…

若手会員の参加を望む
大阪市役所支部

わが大阪市役所支部は、全国でも数少ない職域支部です。大阪市に勤務している人が対象です。事務職・消防職・教職と幅広く、現在会員数は300名になろうとしています。もちろん西尾大阪市長も特別会員になっていただいております。

支部の主な活動としましては、年1回秋の総会と会員名簿の作成です。平成5年度の総会も、昨年10月22日に水桜会館で多くのご来賓をお迎えして盛大に行われました。本年度も11月に予定しています。新卒を含め若い会員の出席が少ないのが悩みの種ですが、幹事一同ガンバッています。

福地利仁(39)

若い方も気軽にご参加を

親睦で輪を広げつつ
豊中支部

「信頼と親睦」をテーマに、当支部は、ユニークな活動は何か！を模索しながら相互の親交を重ねています。

さて、5年度の総会は会場を変えて、10月23日に北摂中央の千里阪急ホテルで開催、好評のうちに相互情報交換をし交流を深めました。

また、11月には恒例のハイキングを同好の士約30名という多数の参加者をえて、宇治周辺の史跡散策を行いました。さらに6年2月5、6日に支部独自の読書会をかね舞鶴、小浜方面に一泊旅行を実施しました。同地は夜来の雪もやみ、残雪を踏み史跡等観光地を周遊しましたが、特に海上自衛艦艦内の見学には複雑な感動を覚えました。

複雑な思いを胸に、海上自衛艦の前で

今後も会員の緊密度を図り、輪を広げるため「豊中支部会報」の発行を企画推進中です。

林　博(12)

泉南支部長就任挨拶
泉南支部

平成6年8月の役員会で、中川会長が高齢を理由に辞任されました。その後任といたしまして私が推挙され、微力をも顧みず後任をお引き受けいたしました。

中川会長の和衷協同の精神を継承し、役員の皆さま方のご支援とご協力を賜りながら、〝大阪経済大学〟という絆で相互扶助の精神を発揮し、先輩後輩の隔たりなく近況を語り合い、励まし合い、杯を傾けるといった気軽な楽しい活気のある支部にしていきたいと思います。

大阪府下でも開発の遅れていた泉南地方ですが、泉佐野市沖に、わが国初の海上24時間空港の開港まで後数日となっております。空港本島の3,500メートル滑走路では、飛行検査も行われ、旅客ターミナルビル等の主要設備も完成し、泉佐野市内では、開港に向けて、交通アクセスの整備が進められております。

市内の幹線道路には空港や臨空タウンへの案内表示板が取り付けられ、すでに関西空港自動車道、阪神高速湾岸線、JR阪和線、南海電鉄関西空港線等が開通し、いよいよ9月4日の開港を待つばかりとなりました。

このように今、泉南地方は、わが国はもとより、全世界から脚光を浴び、飛躍と共に大きく変貌しようとしています。

わが泉南支部も、先に述べたとおり活気に満ちた楽しい支部に変貌して行きたいと思いますので、総会には一人でも多くの会員の皆さまの参加をお願いいたしまして、就任の挨拶といたします。

支部長　小松安夫(23)

関西国際空港と共に活気に満ちた楽しい支部に

世代を超えて
神戸支部

わが神戸支部は、総会を11月頃に開催し、毎年私も参加しています。51回卒の私にとって出席者のほとんどの方が大先輩で、最初は躊躇していましたが、徐々にお顔やお名前も分かり、先輩方の優しいお心づかいも手伝って、今はたいへん楽しく時を過ごさせていただいております。多分野のビジネスや物事の考え方、ひいては遊びの話まで、こんなに多くの諸先輩の方々と気軽に語らいができるのも、同窓会ならではだと感じております。

これからも縦のつながりを大切にし、世代を超えて交流を図りたい気持ちでいっぱいです。

柴田仁志(51)

大先輩とも気軽に語らえる楽しいひととき

創立45周年を祝う

丹有支部

地方の支部では、高校の先輩後輩、大学での卒業年次の違い、それに年齢的に大きな差がある同窓生たちが、一堂に集うということは、とても難しいことです。

当支部では、丹波の2郡と三田市の3地区が順番に支部総会を担当して、会場周辺の会員が出席しやすいようにしています。

さて、今年の総会は、10月23日(日)、篠山町の「ささやま荘」で開催し、創立45周年を祝って、15回卒・円増浩之（藤間吉之輔）氏をはじめ社中の皆さんの多彩な踊りで華を添えていただきました。

「ささやま荘」にて創立45周年を祝う

なお、大学冬の時代と言われる中、当地域から約90名が母校に在学し、今後も増加が期待できることは大変うれしいことです。

副支部長　奥野昇二(19)・西羅隆之(25)・足立徳太郎(36)

姫路藩傾財学断片
―黒正イズムより上島イズムへ―

姫路支部

一般に社会科学はいかなる様相を呈するかとの問いに、安定期社会においては認識論的となり、矛盾の社会においては存在論的になると言われている。経済学の最良の書物は実際生活そのものである、ともリストは言っている。思えば黒正博士が経済学は傾財学であり、散ずるところに集まる、即ちギブ・アンド・テイクの精神であろうと説かれたことを思い出す。1939年笠信太郎氏が日本経済の再編成の名著を世に出されて爾来55年、政治の55年体制の終末ではないがこの辺りで流動する激変期に現在的総合の立場に立って上島学長を主軸とした経大の強烈な再構築を願うのも筆者一人ではあるまい。『変化は機会である』『不況は革新の母』と言われることを想起しつつこの転換期を『場』として21世紀に向かって限りなき前進と終りなき挑戦をしようではありませんか。

備考　1994年度姫路城世界文化遺産指定

支部長　永川仁一(6)

来年はカニを食べに香住へ

淡路島支部

支部設立の時から毎年一回総会を開いて来ましたが、今年は少し趣きを変え寝食を共にして、より深い会員の親睦を図る意味で、来年1月28、29日、一泊二日、香住の方へカニを食べに行く事に決定しました。

現在、できるだけ多くの会員に参加していただくよう、呼びかけています。

支部長　宝川雅嗣(23)

挨拶の後、宴は盛り上がって

地区ごとに親睦を深めて

岡山支部

母校卒業生第60期を迎え、わが支部会員も1500名に近づきました。県下全域会員の氏名確認はできても、会合・親睦は次第に固定化され、進展が難しくなってきました。そこで数年前より総会に日

地区別にグループ会を開催しています。ぜひご出席を

帰り困難な遠方の地域を地区「グループ会」として開催。いまではすっかり定着化しています。「津山会」・「市役所会」等、毎回数十名の会員の出席があり、毎年恒例となっています。新たに県北西部の会を開催、計画していますので近隣の方はすすんでご出席ください。

今年度支部総会は、平成6年6月11日(土)に「まきび会館」で開催しました。来賓、会員とも多数出席いただき盛況でした。特に、60期卒業生及び新司会者の出現は、心強く、意義ある総会となりました。

支部長　村上一夫(12)

参加者30名を目標に

岡山津山会

毎年恒例になった津山会は今回で4回目。大学本部より香積事務部長、同窓会陰下事務局長、そして村上支部長を来賓としてお招きし、津山会17名の参加をえて8月26日盛大に開催された。

初参加者が数名出席、常連出席者の雰囲気の盛り上げの努力もあり、和気あいあいと会は進んだ。出席者の自己紹介の中で、今後職場、地域等の同窓生を誘い合わせて是非30名を目標に盛大な津山会の開催をと誓い合った。また、半

初参加者も温かい時間を過ごした津山会

伝言板

岡山支部改正役員名お知らせ

大阪経済大学同窓会岡山県支部役員名簿

H.6.4.1

役名	氏名	卒期	主担当地区	TEL
顧　問	大森喜太志	6		086-287-7063
支部長	村上　一夫	12	全　般	086-252-7077
副支部長	小野　隆	35	〃	086-262-4758
常任幹事	岡本　健也	23	東　部	086-943-6111
〃	渡辺　肇	35	西　部	086-424-4330
〃	塩尻　康勝	35	岡　山	086-263-3311
幹　事	高畠　典治	28	〃	086-231-4181
〃	相木　和巳	29	〃	086-232-0311
〃	高橋　良彰	32	〃	086-225-2151
〃	寺尾　正志	37	〃	086-241-9253
〃	光本　京市	39	東　部	086-222-0415
〃	香取　進	26	西　部	086-293-6111
〃	寺尾俊一郎	40	〃	086-522-1882
〃	岡本　勝也	33	〃	086-423-0723
〃	三宅　孝治	47	〃	086-466-1255
〃	月田　武士	26	南　部	086-265-3111
〃	伊達　正二	42	〃	086-473-1231
〃	片岡　康平	37	西北部	0866-22-3107
〃	直原　武司	44	北　部	08672-2-0254
〃	小谷　哲生	49	〃	0867-44-4837
〃	中塚　節也	24	岡山市役所経大会グループ代表	086-942-2036
〃	竹本　巧	37	津山経大会グループ代表	0868-23-7810
〃	岸本　一美	36	津山経大会グループ代表	0868-24-9307

話題の同窓生

支部総会の初司会を務めて

6月11日、岡山県支部総会が「まきび会館」にて開催されました。

当日は、多数のご来賓の方々と会員により、会は盛大に進行いたしました。

例年の支部総会は、開催前より会員の方々との再会を喜ぶばかりでした。しかし、今回は司会という大役を仰せつかっておりましたので、例年と違い不安と緊張でいっぱいでしたが、皆さまのご指導とご協力により、最後まで務めさせていただきました。

自分なりに反省し、いたらない点や、ああすれば良かったと後悔する点も多いのですが、この経験をこれから生かしてゆきたいと思います。

司会の機会を与えてくださって、誠にありがとうございました。

岡山支部　三宅孝治(47)

年に一回、気楽に集まれる会を開こうと言われ、会をあずかる私にとっては、とても嬉しく準備等の苦労も吹っ飛んだ。皆さんありがとう。

竹本　巧(37)

幅広い会員参集のために
広島支部

①今年度の総会を7月23日に「広島リバーサイドホテル」で、上島学長をはじめ、大学、本部より来賓をお迎えして盛大に開催。

②支部運営については、今年決定した班別の責任者が、同窓会開催の都度会員に連絡を取り、参加を働きかけ動員を図る。

③動員を図るためと消息を把握するために広島支部の会員名簿を一年毎に更新し、精度向上をめざす。特に当支部においては、転勤により在住している会員が少なからずいるので、毎年の総会案内の「出欠」の返信により住所を確認して名簿の精度を高めていく。

会員の皆さま！　同窓会に出席していただいた時には、最新の名簿をお渡しします（通信費節約のため郵送は不可）。多数のご出席をお待ちしています。

友谷義明(36)

上島学長や大学・本部からの来賓とご一緒に

TOPICS

世界カヌー選手権大会、アジア競技大会の代表選手に

カヌー部の山本隆司君（経済4年）が世界カヌー選手権大会（9月21日～25日、メキシコ）並びにアジア競技大会（10月2日～16日、広島）の栄誉ある代表選手に選ばれました。種目はカヤック1000m競技です。

9月7日午後、学長室で上島学長から激励を受けた山本君はたくましく日焼けした顔に決意を込めて健闘を誓っていました。

なお、日本オリンピック委員会は同君を平成6年度オリンピック強化指定選手に認定しました。

『わが母校』
山口支部

平成6年度、同窓会総会が開催されますが卒業後一度出席をと思いながらなかなか実現しません。

支部総会で母校の発展を聞き、大変心強く嬉しく思っています。

現在市議会議員（5期）を務めており議会公務にて新幹線に乗って新大阪、京都間になると一心に車窓に目を向け母校の姿を追います。同僚に「わが母校」と告げる時の気持ち、嬉しいものです。

山口支部には、光市に山本先輩、下関市に中田、関谷君と市議会で活躍されています。皆さんも同じ気持ちだそうです。

欠席続きの同窓会ですが心には「大阪経済大学」わが母校を忘れたことはありません。

母校の発展を祈っています。

岩村　実(30)

ライバルを超えて！
鳥取支部

昭和48年、私たち、大経大卒業生は数多く地元金融機関に就職しました。現在では熟年世代として、それぞれ中堅幹部クラスとして活躍しています。狭い鳥取を舞台に

各行が激しく競合を繰り返す中、卒業生同士で情報交換や交流を保つ。それは、ライバルを超えて同じ痛みや喜びを分かち合える唯一の懐かしい友情の場でもあります。

現在のめまぐるしい時代背景の中、厳しい選択をせまられる金融機関の第一線で、このような友人を多数持つことは一つの大切な財産のように思われます。忙しさに紛れ、忘れがちな心の糧を大切に、今後とも良きライバルとして火花を散らして頑張りたいと思います。

小泉雄介(39)

ゴルフコンペでライバルの火花を散らし

出口のしっかりした大学へ
愛媛支部

平成6年度（第11回）同窓会愛媛支部総会が、新居浜市にて開催されました。大学の現状について、いろいろとフリートークされた中で、現職高校教諭・真鍋さんから以下のような意見が出されました。

「今までは、入口について多くの議論がなされてきましたが、今日のように不況が長びくと、出口の方もより一層の努力が必要かと思われます。就職状況はいかがでしょうか？」と…。出口のしっかりしていない大学へは、多くの学生は望めないと言うことなのでしょうか。大きく言えば、大学の存亡は、就職部の肩にかかっていると言えそうです。愛媛の皆さまご協力を…。

宮崎　望(37)

話題の同窓生

ハトレースで優勝

去る1993年12月に行われた日本鳩レース協会鳥取競翔連合会の第13回高松宮賞レースで、松保寿(38)さんのハトが優勝しました。

高松宮賞は1年目の若ハトを対象に富山－鳥取間400キロのコースを競うもの。今回、出場した42羽中わずか16羽しか帰らなかった厳しいレースの中、5時間50分10秒（分速978・256メートル）を記録し、2年前に続いて2度目の勝利を勝ち取られました。

松保さんは「予測していたよりはちょっと遅かったが、全般的に帰りが悪かった中で、出場した8羽すべてが帰って来た。大切に育てたハトが好成績を出してくれるのはうれしい」と喜ばれていました。

ここに全国の皆さまへお知らせし、お祝い申しあげますと共に、今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

鳥取支部

学生時代をふり返り、これからの経大を思うひとときでした

伝言板

愛媛支部同窓生の皆さまへ

愛媛支部もやっと10年を過ぎ、現在名簿作成に着手しております。現在約330名の同窓生がおられますが、その数は設立以来ほとんど変化なく推移しております。その要因は、県外への転勤者並びに転居先不明者の数と、愛媛への転勤者並びに新卒者との数が、相殺されているからだろうと推測されます。

そこで、愛媛在住の同窓生の皆さん、住所変更の折りには、大学同窓会事務局本部並びに、愛媛支部事務局の宮崎まで、ご一報ください。

また、この11年間で、宇摩地区と南予では、同窓会が一度も開催されていません。そこで、来年・再来年は、宇摩地区・南予での開催を予定しております。各地区の同窓生の皆さまには、重ねてのご協力よろしくお願い申しあげます。

宮崎　望(37)

友情の輪を広げましょう

徳島支部

徳島県支部は10月21日、徳島市内のホテルで本年度総会を開催しました。

田中良昌支部長(26)（徳島新聞社事業局局次長）より「友情の輪を広げましょう」と挨拶があり、続いてご来賓の黒正明先生、陰下嘉典事務局長から学園の近況、同窓会本部の心意気などについてご挨拶をいただきました。出席者25人は熱烈な拍手を送っていました。

野々宮充造県支部事務局長(37)（ファブリックス社長）が、カラオケ大会、家族とのサーカス見物、ゴルフコンペなどの事業報告、今後の事業計画について説明。

樫本孝氏(35)（徳島県議）の乾杯の発声で宴に入り、楽しいひとときをすごしました。

支部長　田中良昌(26)

和やかな雰囲気で支部総会

熊本支部

本年度、熊本支部総会は、10月15日、水俣湯の児温泉にて、本部より磯野会長、車野部長、大学より山本恒人教授をお迎えし初めて一泊にて行いました。また、当日有志にて水俣国際CCにてゴルフもあわせて楽しみました。

支部設立5周年に当たり12名の会員が集い、初参加者3名を含め終始和やかな雰囲気の中で終えることができました。

来年度は夕陽の美しい天草西海岸にて行う予定です。できますならば夫婦同伴にて。素晴らしき出会いを求めて会員諸兄の出席をお待ちしております。ご健勝にてお過ごしください。

支部長　濱　忍(35)

支部創立5周年を和やかに祝う

平成6年中に開催された支部総会一覧

開催月日	支部名	開催場所	開催月日	支部名	開催場所
2月20日(日)	山口支部	ホテル石田屋	10月15日(土)	熊本支部	苓洲館
3月5日(土)	西宮支部	甲子園都ホテル	10月19日(水)	福井支部	ユアーズホテルフクイ
3月20日(日)	滋賀支部	ホテルニューオウミ	10月21日(金)	徳島支部	徳島グランドホテル偕楽園
3月20日(日)	大阪市支部	大阪東急ホテル	10月22日(土)	豊中支部	千里阪急ホテル
4月22日(金)	尼崎支部	ホテルニューアルカイック	10月23日(日)	丹有支部	ささやま荘
6月11日(土)	岡山支部	まきび会館	10月28日(金)	北海道支部	札幌第一ホテル
7月3日(日)	愛媛支部	リーガロイヤルホテル	10月28日(金)	姫路支部	北京閣
7月16日(土)	高知支部	三翠園ホテル	10月29日(土)	鳥取支部	鳥取シティホテル
7月17日(日)	富山支部	富山エクセルホテル東急	11月2日(水)	東京支部	鉄鋼会館
7月23日(土)	広島支部	広島リバーサイドホテル	11月6日(日)	三重支部	和田金
7月24日(日)	香川支部	リーガホテルゼスト高松	11月11日(金)	大阪市役所支部	桜ノ宮会館
7月30日(土)	北九州支部	博多パークホテル	11月18日(金)	東海支部	名古屋国際ホテル
8月26日(金)	岡山支部津山会	桐　生	11月18日(金)	神戸支部	神戸東急イン
9月3日(土)	和歌山支部	和歌山ターミナルホテル			

支部長一覧

◎…全国支部会幹事会幹事長　○…同幹事

支部名	支部長	住所	電話番号
北海道支部	田中喜三郎		
東京支部	井阪　健一		
東海支部	阿部　淑子		
岐阜支部	長崎　和夫		
富山支部	重松　尚		
石川支部	柚木　繁		
福井支部	内田　甫		
三重支部	木戸　董		
滋賀支部	正村　公一		
京都支部	深田　稔		
和歌山支部	坂田　文治		
奈良支部	白井　武夫		
○大阪市支部	太田　一澄		
大阪市役所支部	角谷　泰秀		
北摂支部	石川　裕		
○豊中支部	筒井　英夫		
池田支部	渡辺　泰敏		
泉南支部	小松　安夫		
尼崎支部	小谷　芳男		
○西宮支部	中山　隆		
○神戸支部	桐月　正邦		
◎丹有支部	梶村　文弥		
東播磨支部	永井　宏		
姫路支部	永川　仁一		
淡路島支部	宝川　雅嗣		
岡山支部	村上　一夫		
備後支部	小池　勝章		
広島支部	佐々木一義		
山口支部	江村　育己		
鳥取支部	西山　林一		
島根支部	渡部弘一郎		
香川支部	岡野　敦		
愛媛支部	小野　茂樹		
徳島支部	田中　良昌		
高知支部	横田　憲介		
北九州支部	嶋原　正孝		
熊本支部	浜　忍		
南九州支部	伊伏　彰		

考齢忘却皆生への旅

昭寿会（第4期生会）

卒業後早56年。年1回の昭寿会（同期生会）を、今回は三木薫君の計らいで、5月24日鳥取皆生温泉大山荘において開催。

1984年以降毎年欠かさずご来臨の武田長太郎先生（92歳）が、今年は先生のご都合で拝顔の栄に接し得ず無念至極。加えるに遠路も厭わず毎度三脚を肩にかけてやってくるカメラの原秀夫君も療養中とあって参加見送り。ようやく7名だけが集合。

当日、正午全員米子駅で落ち合い、レストランで一服後、温泉大山荘の同室で一夜を明かす。翌朝、早々に中国一秀麗の大山へと向かう。公園を周遊後、麓の大山寺に詣でた。その後昼食をとり境港の近くアジア博物館へと歩を進めた。館内遊覧後米子駅へと引き返し、来年の再会を念じつつ散会した。

皆生温泉でゆったりお湯につかりました

○写真右より周藤、山本、佐々木、宮平、内田、三木、桜井　宮平盛助(4)

澱友会の近況

澱友会（第5期生会）

昭和57年第1回澱友会を開催し、今回平成6年5月26日、難波月日亭において第5回目を開催いたしました。出席者17名、すでに平均寿命に達し、なお矍鑠。青春を大義に生き抜いてきた面々だけに、学生時代の童顔に返るのは速く、熱弁も尽きないまま会も最高に盛大でした。

今回案内を出したのは55名、次回からは皆さんの要望で毎年開催することになりました。一人でも多くの元気な顔を期待しております。

○出席者　（写真左より上）福嶋、和田、堀、重本、奥田、長岡、（中）阪本、中尾、筧、柳内、村上、倉垣、（下）菊地、吉年、下川、芝田、岸本

阪本（堀江）克己(5)

往年の健脚今も健在

昭六会（第6期生会）

今回は滋賀に決定。桜の開花期を利用して奥琵琶湖周遊海津桜トンネル観賞をメインとしました。

平成6年4月16日、JR近江八幡駅に集合。〝近江商人の里〟を見学後、国民休暇村に、会員20名と陰下事務局長の計21名が宿泊、岡山以来の旧交を温めました。翌17日、朝食後全員観光バスに乗車、天女の羽衣の余呉湖において小休止。リフトで賤ケ岳山頂を極め、古戦場を展望して昔日の激戦の模様を偲び、お互いの健脚？ぶりに驚きました。ドライブインにて昼食。ここにても健啖ぶりを発揮し、再度驚きと共に往年の若き日が甦りました。

さらに車の錯綜する中を湖岸沿いに海津大崎へ。一点の雲もない晴天に恵まれ湖岸から水面へせり出した桜は正に満開、桜一色。湖水が青白く煌めき、遠く竹生島が霞むさまは、一幅の日本画を見る想いで全員春爛漫を謳歌しました。

なお、マスタープランについては土手、大森（侃）両氏に、下見ほか写真については竹村氏にサポートを得たことにつき深くお礼を申しあげます。

伴野順三(6)

春一色！　余呉湖の風景が印象的でした

みんな熱弁をふるい、大いに盛り上がりました

童心に返ってお伊勢詣り

九友会（第9期生会）

昨年3月唐津会で「来年は式年遷宮後のお伊勢さん詣りをしよう」との話となり、本年度第20回、意義ある九友会を6月3日、4日豪華な志摩ロイヤルホテルで開催する。

丁度すぐ近くに情熱的なスペイン村が開かれており、各自それぞれスパニッシュ気取りで、異国情緒を思い切り味わい夕方ホテルに集まる。今回幹事は上野の川合君、四日市の大久保君、またホテルは松山君のお世話。参加者同期生22名、奥さま（婦人部）12名、計36名。18時恒例の記念撮影後、幹事の歓迎挨拶があり、宴会に入る。一年ぶりに顔を合わせて久しぶりの再会を喜び旧交を温める。時の経つのも忘れて昔を偲び、今を語

趣向をこらした2日間に大満足

らい、飲み食べ歌って素晴らしい一夜を過ごす。

明けて4日、好天気に恵まれ、朝食後大型バスでガイドさんの歌う伊勢音頭を聞く。「何事のおわすかは知らねどもかたじけなさに涙こぼるる」とその昔西行法師が詠んだ伊勢神宮内宮(皇大神宮)、外宮(豊受大神宮)に参拝し、一途松阪へ。松阪城跡本居宣長の鈴の屋を見学し、松阪肉で有名な老舗「和田金」でステーキ網焼で舌鼓をうつ。14時、お世話になった幹事川合、大久保両氏に、ホテルのお世話をしてくれた松山氏に厚くお礼の言葉を述べる。2日間の会合で素晴らしい思い出を残して終わる。

来年またホテルは松山君のお世話、幹事は坪内さんご夫妻のお世話で浜松と決まる(平成7年6月頃の予定)。

なお、第3回婦人部会は、岡本ご夫妻のお世話で昨年10月8日、9日、神戸舞子で盛大に行われた。今年度第4回は、岡村ご夫妻のお世話で10月8日、9日、湯の山温泉で開催の予定。

川合　均・大久保俊二(9)

濵江サンデー会第11回懇親会　第10期3D会

岡山の岡村智君の肝煎りで皆さんに呼びかけてくれたおかげで、第10回生3年D組のメンバーが一堂に集うようになってから、今年で11回目を迎えることになった。

卒業時は40数名だったが、現在は30名余り、それでも毎回20名前後が、遠くは仙台・東京・佐世保から馳せ参ずるという盛会ぶりだ。

今年は9月11日(日)、集合場所のJR天王寺駅で、それぞれ一年の久闊を叙し、握手を重ねた後、車中の人となる。王寺駅から迎えのマイクロバスで国民宿舎「信貴山荘」に到着、身軽になって信貴山・朝護孫子寺に参詣する。道すがら、「高商のとき、全校で一夜この寺へ泊ったことがあったね」と誰かが言いだすと、50年の時を越えて一気に学生時代にタイムスリップ。淡路・洲本行きのことから、連合演習・夜行軍と、当時の苦しかったことが、今は懐かしい思い出として次から次へと飛び出して来る。

本堂で大般若五百巻転読の勤行をしていただき、ありがたい心地になって帰宿、ひと風呂浴びて宴席に入った。コンパニオンまで準備していただいて、一同歳を忘れて、カラオケ十八番も続々。来年は、京都の諸兄にお世話願うことになって大団円。

自宅に戻って2次会。話題は次々にいつ果てることもなく、しかし最後は長生きの秘訣というオチがついて、「まほろば」の夜の灯を眺めて床についた。

翌朝は農業公園「のどか村」を見学して昼食後散会。来年の京都の初秋散策を楽しみにして帰途についた。

竹内三郎(10)

学生時代にタイムスリップ、思い出話もはずみました

半世紀ぶりの10期3E同窓会　第10期3E会

無事「古稀」をパスした10期生の3E同窓会が、若葉薫る5月26日、京都知恩院の山門横にある「楠荘」で開かれた。3E同窓会とは卒業時に3年E組で机を並べた面々で、卒業して実に半世紀、五年前に既に大阪で第1回を開いたので第2回会合と銘打ったが、ほとんどは50年ぶりの再会だった。

この日のために、幹事が調べてくれたメモでは、卒業時47人だったのが現存者29人(物故者11人、不明者7人)。このうちなんと11人が参加した。東京から横内武三君、福岡から佐藤清之助君と遠隔地から駆けつけてくれた者も含め、現存者の半分近くが集まったわけである。

自分の姿から大体の老人ぶりは推察できたが、会ってみてびっくり。全員10年は頭も顔のシワも若かった。最初戸惑った顔もやがて昔のワンパク顔へ戻ってくる。名刺交換が終わると、一流企業の相談役から個人企業の現役社長、経理士、大学講師とまさに多士済済である。

軍事教練から学内食堂へと広がる母校の思い出は、やがて恩師の評判になる。トップはやはり黒正校長、ついで校長の門下生だった久野収、寺尾宏二の両先生、故人になられた梅田武文、大北文次郎先生などなど。最後は「われわれにはもったいない、偉い先生ばかりだったなぁ」に落ちついた。

来年は神戸で開催、ご夫人もぜひ同伴でと申し合わせたが、今回の会合には終始世話役だった高田壮介君と、京都在住の幹事役池田宏、大矢知力両君に多大なご労苦をかけたことを追記したい。

加藤正秋(10)

思ったよりも皆若々しい？

前向きな考えを若々しく　ひとみ会(第13期生会)

平成6年5月26日、「ひとみ会」が大阪で開催されました。交通の便を考えて、会場は大阪の街が一望できる、ホテル京阪・京橋の7階で、26名が出席されました。

在学中、大阪空襲の時若くして亡くなられた故稲垣和代さんの今年は50回忌にあたります。また、会の直前、3月13日、北田幸代(田辺)さんの悲報がありました。会に先だって同期の物故者を偲び、「共に学びし亡き友よ魂安らかに」と黙禱を捧げ一同心より、ご冥福をお祈りしました。

その後、懐石料理「生尾」の心づくしのお料理を賞味しながら、久方ぶりでご出席の方もあり、楽しい話に花が咲きました。マイクを回しての皆さんの現況報告、それぞれの人生の歩み、巧みな話に、「ひとみ会」の方々の前向きな考え方のすばらしさに感心しながら、ころ好評でしたので、今後、内容を一層充実して同期生の情報誌に育てたいと考えております。皆さまの近況・回想などお気軽にお知らせくださいますようお願いいたします。

○出席者　井上(豊)、伊東、岩谷、大島、加藤(二)、向津、坂田、坂上、武田、谷、土屋、浜谷、林、北條、三間、村田、桑津、筒井

筒井英夫(11)

いつまでも若々しい友に刺激を受けました

初めての出席者もあり、会は活気にあふれ

せに感謝をしました。高齢化社会に向かって若さを失わない友に、拍手を送ります。

私たちも、数年先には卒業して50年を迎えます。皆で楽しい有意義なプランを考えることにして、来年はトレンディな街、神戸でまた皆さんと元気にお目にかかれますことを楽しみに名残り惜しみながら散会いたしました。

なお、当日計画をしていました花博記念公園鶴見緑地、「咲くやこの花館」散策が実施できなかったことが残念でした。

赤木(堀田)尚子・前田(寒川)房子・西田(細井)法子(13)

岡山での開催　第16、18期生同期会

それぞれの思いを込めた有意義な時を過ごしました

平成6年5月8日、9日に16、18回の合同同期会を岡山市近郊の苫田温泉、乃利武で開催しました。正直いって当初は大阪以外の地での開催に多少懸念していましたが、前年とほぼ同数の出席者が得られ内心ホッとした思いでした。宴会は皆よく飲み、進んでカラオケに興じ、話も尽きることのない楽しいひとときを過ごしました。引き続いて麻雀テーブルを囲む者、翌日はゴルフを楽しむ者、それぞれの思いを込めた有意義な同期会となり、来年名古屋での再会を約束して散会しました。

守屋光太郎(19)

二十三期生の集い　第23期生会

今年も恒例の2月11日、大阪心斎橋筋冨久屋ホテルで、23期生34名と来賓に玉岡同窓会副会長を迎えて、盛大に10回目の例会を開きました。初参加の人も3名おり、午後からの4時間程を楽しく過ごしました。なお、今回も当日都合がつかず欠席の返信葉書64名分のコピーを懐かしく読んでいました。

また、もうひとつの集いである大樟会ゴルフコンペを、6月29日に名門コース泉ヶ丘C.C.で開催。田中利明・清水利通両幹事のお世話で、16名4チームが上天気に恵まれ楽しい1日を過ごしました。次回は矢井・大橋氏を幹事に決定し、10月頃に予定されています。参加ご希望の方は幹事まで連絡を願います。

私たち23期生もどうやら60歳代に入りました。お互いに健康に留意し今後共このような集いを大切にしたいと思います。

来年の2月11日また元気な姿をみせてください。楽しみにしています。

酒井弘光(23)

長良川において　寄多郎会（柔道部OB会）

昭和60年に吉田、上野両先輩の発案により発足した寄多郎会も早10回目を迎えた。今回は記念の会として6月11日岐阜グランドホテルにおいて長良川の鵜飼見物をかねて開催した。30年ぶりに顔を見せた井上君、埼玉県からの初参加である。また、遠方にもかかわらず出席者16名と盛況のうちに終わった。

今年も恒例の2月11日、元気な顔に会うことができました

今回欠席された中で2月に心臓のバイパス手術をされた高橋理君、交通事故の後遺症が残る伊藤宏君のより早い回復を願ってやまない。また、来年の再会と皆さまの多幸と健康を念じつつ。

三輪忠昭(25)

長良川の鵜飼も興味深く見学して

若き日の思い出を胸熱く語り合いました

青春を思う　昭蹴会（蹴球部OB会）

昭和高商蹴球部、昭蹴会。昭和15年に関西学生1部に昇格するや同年インカレ優勝、以後1部2位以内を堅持した栄光の歴史を共にした仲間が神戸に集いました。20メートルも危うい熟年紳士たちでしたが、故黒正先生によって培われた頑張り精神は、いささかも衰えることなく談論風発、楽しい一日でした。

参加者はFW石井(8)、木口(9)、大谷(10)、池田(12)、MF霜田(笹村)(10)、加頭(10)、坂田(11)、DF田中(10)、光本(12)、本田(12)、GK長尾(8)、大隅(9)の諸兄です。戦局の悪化の中で配給の途絶えた大切なボールを繕いながら、猛烈な練習に明け暮れた鮮烈な青春の思い出です。10名の戦死者を含め32名に上る物故の仲間のご冥福を祈りながら平均70・6歳の諸兄の今後の活躍を祈ります。

加頭興治(10)

第3回旅研OB会総会開催　旅行研究会OB会

6月18日(土)、母校50周年記念館の同窓会ホールにおいて、第3回OB総会を本年も開催しました。参加者はOB10名、現役諸君9名。内海教授には、ますますお元気なごようすでご出席いただきました。

総会では、OB会の活動報告・会計決算報告等の承認及び役員の改選を行いました。

懇親会では、OBと現役諸君との交歓が和やかに行われました。現役諸君の活動報告では、2年後にクラブ化が確定したとのこと。会員数も36名と聞いています。

なお、次回OB会総会は、3年後の平成9年6月開催予定です。

大八木傳一郎(37)

次回は3年後に開催します

再会を楽しみに　芸術会OB会

平成6年7月2日(土)、3日(日)の両日、兵庫県赤穂市、赤穂御崎温泉「銀波荘」において、第23回芸術会OB会総会を開催しました。

今年も来賓として、内海教授並びに陰下事務局長にお越しいただきました。大学の近況や、OB会運営に関しアドバイスを頂戴し、また、出席OBより、OB会総会の開催意義を再考させられるような意見も出て、予定時間を大幅に

越える大変中身の濃い総会となりました。

夜の懇親会では、学生時代の懐かしい話に花を咲かせて、大変に盛り上がりました。

翌日は、赤穂義士の史跡を見学し、次回総会での再会を楽しみに散会いたしました。

田中正恭(56)

珠算研究部同期会、久々に開く

珠算研究部同期会

卒業後15年を経て4年前より始めた珠算研究部同期会を久々に開きました。

梅田花月横の「本むさし会館」で平成5年10月30日(土)午後6時より開始。今回は直前になって仕事によるキャンセルが相次ぎ、結局4名しか集まらず淋しい同期会になってしまいました。40歳過ぎの働き盛りで、皆企業の最前線で活躍しているようです。

四人は山本、加藤、藤本、私です。山本が大学3年の時あこがれていた女の子から電話があった話や、藤本が3年の時広島の女の子を好きになりバイトをしては広島へ通い、大学をやめる決意までしていたこと、加藤が同じく好きな子に会いに東京へ行った話など学生時代を思い出し楽しい一日を過ごすことができました。二次会は4人でミナミへ出て小さなスナックで古い歌を歌いまくりました。

塚本行雄(41)

おいしい料理に懐かしい顔、話はつきない

創部35周年記念OB会総会開催

自転車競技部OB会

標題から、「さぞや活発なOB会か」と思われるかもしれないが、実は創部以来、この種の会合は初めて。それだけに「どの程度集まるものか」と心配されたが、いざ開催となると、地方からも多数集い、総勢60名の盛大なOB会となった。

総会では、会則を確認し合った後、懇親会を行ったが、集まった顔ぶれも多士済済。それでも同じクラブ出身者同士の結びつきは強いと言うべきか！　初対面の者、世代の違いも超えて、昔話に花が咲き、あたかも会場まるごと学生時代にタイムスリップしたような雰囲気。限られた時間ではあったが、出席者全員「あの頃」に帰った一日であった。

阪口　昇(39)

井阪健一氏の東証副理事長ご就任を祝う会

水曜会

平成5年7月14日、東京日本橋茅場町の鉄鋼会館において、井阪健一東京支部長ご夫妻をお招きし、証券会社に勤務する同窓生60名が井阪氏の東京証券取引所副理事長ご就任をお祝いしました。

今回の「ご就任を祝う会」は、東京支部水曜会（証券・金融マンの同窓生の集まり）が呼びかけ、首都圏をはじめ全国の同窓生の皆さんのご協力を得て実現したものであります。同窓会活動は勿論のこと後進の育成などについて、日ごろ多大なご尽力をされている井阪氏をお祝いしようと、予想を上回るご出席をいただき、またご夫妻揃っての方もおられるなど大変盛況な集いとなりました。

祝賀会は午後6時に開会し、出席者を代表して松谷嘉隆水曜会副会長と西山昭吾東京支部代表幹事から祝辞が述べられ、ご就任記念

世代の違いも簡単に超える結束の強さ！

品の贈呈式へと続きました。井阪氏は謝辞の中で、大経大出身の仲間がこのようなお祝いの機会を設けてくれたことに対して、感謝の気持ちを述べられると共に、今後、大学の発展と同窓会活動の充実のためにも、横の連絡を密にし団結を強くすることが重要であることを強調されました。

続く懇親会では、自薦他薦が入り交じったミニ祝辞や初参加者の自己紹介などが相次いで登場し、大いに雰囲気が盛り上がる中でまたたく間に予定の時間が過ぎ、恒例の学歌斉唱で閉会となりました。

今回の「ご就任を祝う会」では東京近辺だけでなく、大阪からご出席いただいた方をはじめ、「出席できないが開催費用に」と賛助金を頂戴した方や全国版名簿の作成にご尽力いただいた方など、全国の皆さんからご協力を得ることができました。紙上をお借りして、お礼申しあげますと共に、水曜会の活動を今後ますます全国に広げ、充実させなければならないと考える次第です。

尾崎　章(36)

またたく間に時が過ぎ、学歌斉唱で閉会しました

税理士大樟会総会報告

税理士大樟会

◎第3回定期総会
日時：平成6年7月16日(土)
午後1時～7時
場所：大経大同窓会ホール
第1部〈研修会I〉
テーマ：査察事業の実例、実態
講師：元国税局査察部次長
堺税務署長　広瀬俊邦氏
〈研修会II〉
テーマ：管理会計と市場経済
講師：渡辺大介本学教授
◆第2部〈定期総会〉
各議案どおり事業報告、収支計算書及び役員改選、事業計画、予算等すべて承認され無事終了した。
◆第3部〈懇親会〉
今年は来賓として、大手前大樟会の長谷川宗平氏（東大阪税務署長）のご来臨を得、賑やかに楽しい宴が続いた。

清水（川端）幸子(15)

第1回総会を開催

大手前大樟会

平成5年7月に発足しました大手前大樟会の第1回総会を、去る8月6日(土)に母校同窓会ホールにおいて行いました。

総会は、長谷川代表幹事の挨拶の後、会計報告が承認され閉会となりました。

また、懇親会では、昨年に引き続きご多忙中にもかかわらずご出席いただいた磯野同窓会会長をはじめ、来資の方々よりご祝辞をいただきました。自己紹介を行うなど、和気あいあいとした雰囲気の中、杯を傾け、親睦を深め、来年の再会を約束して最後は一本締めで散会しました。

入江洋一(52)

楽しい時間を過ごした後には一本締めで散会

川西市制40周年！

川西市役所大樟会

遙かないにしえの時代から、豊かな自然を舞台に先人たちが暮らしてきた川西。

昭和29年8月1日、川西町と多田村、東谷村が合併し、川西市が誕生して40周年を迎えた今、恵まれた自然、古くから受け継がれてきた歴史や文化を大切にしながら、

人が生き生きと暮らし、働き、憩えるまちづくりを進めています。

当会は、昭和52年に同窓生数人の有志により発足し、以後毎年定期的に懇親会を開催し、会員相互の情報交換により親睦を深めています。（現在の会員数は35名）

毎年増える会員たちと…

幸福大樟会

昭和63年、有志の音頭により、幸福銀行の行員でつくる経大ＯＢ会を発足、名称を「幸福大樟会」（会長・坂口良三　取締役本店営業部長）としました。発足以来会員も毎年増加、今では１２２名となっております。

毎年5月には総会を開催。会員間の親睦を図り、例年経大同窓会より磯野会長をはじめ母校関係者の出席も賜り、会員の出席者も70～80名と盛大な総会を行っております。総会では新入行員の紹介や先輩による経験談・失敗談、またカラオケもあり、全員が和やかな雰囲気で、ひと時を過ごします。

多田　修(40)

乾杯の音頭で緊張した気持ちもほぐれ

剣山を登る

経大山歩会

「経大山歩会」は、白馬ヒュッテの集まりで再会の約束をしながら、2年間のブランクを経たが、昨秋ようやく加賀白山登山以来の再会の機を得た。経稜会の案内で谷川岳へ随伴したメンバーが、今回は5月の連休と7月のシーズンの間隙を狙って、徳島県の穴吹に集まった。参加メンバー9名が地元の藍野氏(28)のガイドで、29日朝、全員元気に登頂を果たした。

次回は中央アルプスか南アルプスか。なかなか百名山は難しい。しかし、土田会長が昨夏マッターホルンやモンブランを登頂したのに刺激を受けて私もやる気に火をつけた。というところで入会希望者を求めます。入会の垣根は一切ございません。

桑田利雄(19)

登山に興味ある方へ、入会希望者募ります

T・O・P・I・C・S

部員、OB一同より感謝を込め『松本剛先生追悼集』を発行

35周年を迎えた第２学部会計学研究部が、このたび『松本剛先生追悼集』を発行しました。同追悼集は同部機関紙『会計学研究』の19号にあたり、同部育ての親である松本先生の遺稿、泉谷教授の論稿、ＯＢ、現役の論稿、追悼文、ならびに、『会計学研究』総索引、卒業生、現役名簿等が収録されています。（Ｂ５判　111ページ　1994年８月発行）

●ホットインタビュー●

日印文化交流の懸け橋となって

関西日印文化協会会長
桑原泰業氏(9)

猛暑が続く8月10日、神戸のとあるホテルで同窓会副会長の南部氏と同広報部長の波根氏と共に桑原氏にインタビューを行った。

わずか1時間という短いインタビューではあったが、戦時中に映画研究会の委員長として活躍した学生時代の思い出や、園芸の趣味が高じて日本バラ協会会長まで務めているバラの話、また、若いころから積極的に取り組んできた国際交流などの貴重な話をしていただいた。特に氏自身が長年やってこられたインドとの交流に関してのお話を伺っていると、とても70歳には見えない生き生きとした顔つきがとても印象的だった。

インドとの出会いのきっかけは、神戸銀行市役所出張所の所長時代である１９５６年に、締結された日印文化協定に関係したことである。それ以後、約40年間にわたって関西でのインド交流の中心となって活躍され、今日までその貢献ははかりしれないものがある。

現在、同氏が会長を務める関西日印文化協会は昭和33年に設立され、以後在日インド人が全国で4分の1在住する神戸で、インドと日本の交流の橋渡しを行ってきた。この4月にはその創立35周年を記念し、『日印文化・特集号』を発行し、貴重な資料として注目を浴びている。

昭和17年9月昭和高商卒業後軍籍、昭和26年神戸銀行（現さくら銀行）に入行、昭和60年桑原総合事務所を創設し、現在所長。

（菊川和義記）

○○○○○

"北陸の太陽"

太陽グループ代表
北陸大学前理事長
北元　喜雄氏(10)

北の雄々しさ、名は体を表すというが本学10回卒（昭和高商卒）の北元喜雄氏は、人間味豊かな、豪快な人物だった。

現在、16の企業グループ「太陽グループ」の代表であり、かつ、北陸大学前理事長でもある。モットーは、「生涯挑戦」。65歳でホノルルマラソンを完走。70歳で参勤交代の道（加賀藩）を完歩。現在は、東海道五十三次を完歩中とのこと。歩くことが、健康の秘訣であり、90歳でシルクロードを歩くことまで計画しておられる。氏曰く「１２０歳まで生きる」そうだ。

昭和高商在学中の思い出は、当時、配属将校がおり、自由はきかなかったが、その中、黒正先生が、屋外の芝生の上で講義をされたのが印象的であったとのことだ。空手部の創設者でもあり、かの故大山倍達と昇段試験を受けたこともあるそうだ。

卒業後、志願兵として、南方戦線へ3年程従軍、終戦後、現在にいたるまで十数程の事業に取り組んできたとのこと。理事長であった北陸大学は、薬学、外国語、法学部の総合大学で、「私学冬の時代」に順調に志願者を伸ばしてきている。広々とした金沢の山間に、ゆったりとしたキャンパス、国際交流センター、全面開架のライブラリーセンター、一般の人も利用できるフィットネスクラブ並のスポーツセンター等々、学生に対する心くばりが感じられた。

最後に案内された大学の教養別館「林鐘庵」は、初代理事長林屋亀次郎氏の邸宅で、前田潘に抱え

られた樹齢250年の五人扶持の松を中心に、重要文化財とも言うべき素晴らしい邸宅と庭が保存されていた。常に前向きな北元氏に伝統を守る繊細さと思いやりを感じつつ金沢を後にした。

（大門由秀記）

静謐な文筆家・田中宏和氏

日本ペンクラブ・日本詩人クラブ・日本比較文学会所属

田中宏和氏(35)

連日の真夏日、7月10日、高野山のふもと橋本へ前田悦子常任理事と共に田中宏和氏を訪ねた。紀ノ川を見下ろす料理旅館「紀ノ川苑」でお話を伺う。空梅雨のせいか川の流れは細り、木々の緑と空の青さが目に染み込んできた。

日本経済が高度成長期に入り、土地神話、経済至上主義の入り口に立ち始めたころに氏は経大に入学された。このような世相に対し、氏の鋭敏な感性は、もっと全人的な個性を求め思索を始める。卒業後、いったんは橋本市役所に就職。図書館勤務の傍らあらゆる分野の書物（文学・哲学・心理学・真言密教など）を読みあさり、自己を見つめ思いを書き綴る。やがて21年間勤務していた市役所を退職、それまでに書き綴ったノートを整理し、本格的な文筆活動に入り、知的エネルギーの噴出はしばらく止まる所を知らず、次々と著作を発表する。詩集あり、哲学書ありで、その内容は実に多彩。氏の作品には対象物の周囲に視線を当てることにより、その対象を浮かび上がらせるという表現方法を取り、そのため豊富な語彙と言い回しのリフレーンで、一種の言葉遊びの楽しみがあるようだと私は思った。この8月にも新刊の予定があるとのことである。

氏の母校に対する希望は一言で言えば「総合化への変身願望」である。単なる通過点ではなく、若者が持っている可能性を開花させる触媒の役割を大学や、教授に果たして欲しいと強調されていた。酒もタバコもやらない氏だが、食事しながら『濵江』を毎年楽しみながら読ませてもらっていますが、大学の変化が余り感じられないのは残念です。私で良ければいつでもお役に立ちますヨ」と力強いエールを送ってくださった。

（神田　博記）

著書

『エヴァ・コンプレックス』
1985・5・15発行　鳥影社
定価1、400円

『欲情するトマト』田中宏和詩集
1990・5・31発行
㈱土曜美術社
定価2、060円

『文芸読本―時代を疾駆した15人の作家たち―』
1993・8・15発行　新風舎
定価2、000円

『南方熊楠―ラビリンスのクマグス・ランド―』
1994・3・15発行　新風舎
定価1、500円

『南方熊楠　高野山登山行寄譚』
1994・9・30発行　白地社
定価1、200円

切り絵作家・成田一徹氏

成田　徹氏(39)

（昭和51年大学院修士課程卒）

鈴木亨ゼミ

『スポニチ』紙1月25日号の記事で、東京に切り絵作家・成田一徹

氏（本名＝徹）がおられると知る。電話を入れると、折しも食と味の月刊誌『あまから手帖』の取材で神戸に帰省される予定とのこと。早速便乗して、7月13日母校の記念館へお越し願い、お目にかかった。

「ものごころついたころから絵が好きで、姉の机で馬の絵ばかり書いていました」と木訥に少年時代を語る。93年12月発行の『一徹の酒場だより』を見せていただく。構図の白黒バランスが良く、明暗を切り分けるシャープな線、テクニックも並のものじゃない。それにもまして「扉の前のときめき」、何とも心憎いまでの前書き、その粋な文章に魅了される。万言を費やす紹介より、氏の「切り絵と文」を『濵江』誌に記載するのが一番と、次号には是非作品で参加していただくよう確約を得る。

約10年間のサラリーマン生活から切り絵作家に。バーの雰囲気やバーテンダーの人柄がモチーフ。関西・首都圏は言うに及ばず、世界の酒場を取材して、ニューヨークあたりで個展を開きたいと夢も大きい。大経大の哲学系ゼミ出身の異才の人である。10月からは毎日新聞の日曜版に連載エッセーの挿絵を受け持つ予定とか。鈴木亨先生著作集の付録月報に、先生ゆかりの人の似顔を切り絵で協賛される由、どんな表情のキルケゴールが、マルクス、ヘーゲルが登場するのかが楽しみ。さらに氏の奥さんの母上が14期生の堀幸子さまとのこと。浅からぬご縁にますます話ははずんでいった。

（前田悦子記）

ブック・ギャラリー

『日本経済の課題と展望』

加藤正秋(10)著

平成6年3月12日発行

晃洋書房

140ページ

定価1、700円

本書は2部構成になっている。第1部は、日本経済の総体的把握、第2部は、日本経済の個別的把握についてである。第1部は名古屋学院大学長の西村氏が、第2部は本学卒業生で名古屋文理短大講師の加藤氏(10)が執筆されている。

激変の時代と言われているが、まさに日本国内のみならず世界的にも世の中の仕組みが急激に変化している昨今である。まず、国内に目を向けると、1993年8月に38年間一党支配してきた自民党政権が崩壊し、多数政党による連立内閣が成立した。また、世界に目を向けても、89年秋に東ヨーロッパにおける社会主義体制の崩壊に始まり、ベルリンの壁が壊されたり、ソビエト連邦が解体したことは記憶に新しい。このように、固定観念化あるいは常識化していたことが次々と崩れ去り、新たなものの見方、捕らえ方が必要な時代とも言えるだろう。

第1部では、今後の日本経済の課題を取り上げ、それらに対するわれわれの基本的な姿勢や具体的な対応策、また、昭和20年から昭和59年までの日本経済の軌跡について書かれている。

第2部では、円高対策、日米貿易摩擦、金融政策、税制問題、ODA、環境問題など個別的に分析・解説がなされている。

なお、前著には『身近な日本経済』（西村・加藤共著　1989年4月）を出版されている。

（川崎　章記）

『町人の都 大坂物語』
—商都の風俗と歴史—

渡邊忠司㊱著
平成5年9月25日発行
中央公論社
209ページ
定価700円

今日、大阪は日本の第2位の都市として繁栄している。この基礎は、日本中の物資が集まり〝天下の台所〟と呼ばれ栄えた近世に築かれた。この商都〝大坂〟の町の町民の暮らしに視点をおき、書かれた一冊である。

近世つまり江戸時代ごろ、大坂では独自の文化が築き上げられていた。しかし、文化の中心となったのは商人や職人であり、武士ではなかった。では大坂の巨大な経済力をささえた当時の民衆の暮らしはどのようなものだったのだろう。食生活は？　娯楽、あるいはレジャーは？　江戸時代期にも選挙が行われていた!?

著者である渡邊氏は大阪市史編纂所で「新修大阪市史」にも関わった人物でもあり、古文書等の資料に基づいて書かれた文章は当時の人々の生活や大坂の町の様相に真実味を与えている。

最近何かと注目を浴びることも多く、またその文化について書かれたものが書店にも並べられているのもよく目にする。大阪、一度そのルーツを探ってみるのもいかがであろうか。

（菊川和義記）

歌集『海近く』

山脇(田中)延子⑬著
平成5年11月21日発行
短歌新聞社
265ページ
定価2、500円

ひとみ会（第13期生会）が『青春の記録』を平成元年に出版した折、山脇さんは思い出記を短歌で寄せられ、初めて歌人であることを知りました。その格調の高さに強い感銘を受けたことを思い出します。創作社同人として、昭和62年より平成4年の選歌565首を、このたび『海近く』として上梓されました。小浜で生まれ、若狭の自然に育てられた著者の、海への深い愛着は選び抜かれた言葉の端々にあふれ、素直にその折々の感動が伝わってきます。とくに厨でのブリやタイなど魚たちへの心こまやかな真情は共感を呼び、著者の素晴らしい感性が伺われます。

この本をいただいたのは昨年10月、レイアウト終了後でした。1年遅れの書評となりました。

（前田悦子記）

島田一葉子句集『巴里祭』

島田恭亮⑨著
平成6年3月1日発行
春陽堂書店
254ページ
定価1、500円

5年前、『澱江』1989（No25）誌上で紹介した島田先輩の第1句集『巴里祭』が、俳句愛好者のみならず各方面の希望により、このたび普及版として改めて出版された（初版3、800円）。

かつて、吉川英治の『親鸞』を読んだ時、浄土真宗勃興の経緯を興味深く感じとったことがあるが、「これが俳句？」「俳句ってこんなんでいいの？」「これなら僕も」「あたしだって」と、島田氏自ら普及版あとがきで記しておられるとおり、俳句現代派リーダーとしての氏のユニークで幅広い活動が評価されてのことであろうと思われる。

物より心の豊かさが叫ばれる昨今、同窓諸氏の購読をお勧めしたい同窓の〝句集〟である。

なお、問い合わせは同氏まで。

（TEL075－781－5447）

（波根伸俊記）

訃報

上岡豊晴君を悼む

平成6年の夏は異常とも思える酷暑で、毎日30度を越す真夏日の連続でありましたが、その8月8日、三度目の入院先で肝臓病のため、60歳で他界されました。

昭和32年4月、母校を卒業と同時に北興化学工業㈱（一部上場企業、農薬メーカー）へ入社。大阪支店長、東京支店長、営業部長を経て、平成2年2月取締役岡山工場長、3年7月同企画部長として務められました。社業発展のため仕事一途に、ある時は厳しく、新しい部署につく度に猛勉強をして仕事内容をマスターする人でした。頑張り屋の本領を発揮し、大学時代バスケット部で鍛えた体力と相まって、部下にまず自ら手本を示して率先垂範、事に当たり、今後を大いに期待されていた折だけに、その死は悔やまれてなりません。

家庭にあっては、数年前より会社が週休2日制になってからは、奥様と2人の娘さんの4人で、旅行に行ったり食事を共にしたり、たまにはゴルフに行ったりと、仕事人間から、やっと家庭人間として人生に楽しみを持つようになった矢先のことでした。

平成5年春、大阪経済大学「春秋会」に本学の鈴木理事長と磯野同窓会長を招き、野村クラブで会食を共にした時は、元気な声で大学の新キャンパス移転に伴う構想に熱弁を振るってくれたのが昨日のように思われます。

死ぬ直前まで苦しいとか痛いとか辛いとかを一言もいわずに頑張った上岡君の面目躍如たる一面を今も見るような気がしてなりません。

なお、ご遺族は、奥様の恵子様と長女の由起子様と次女の都史子様が、武蔵野の名残りを留めた東京都小金井市に、亡夫に負けてはならじと決意もあらたにお住まいになっておられます。

合掌

鈴木達郎君と私

同窓会東京支部代表幹事
西山昭吾(16)

まさか、鈴木君が!!　訃報の知らせに、我が耳を疑った。あんなに元気でバリバリ頑張っていたのに!!

愛媛県新居浜市出身の鈴木君とは、大阪経済大学に入学して同じF組、倉辻ゼミナールでも一緒に経済政策を勉強した仲である。また、教職課程も一緒に修了し、お互い、良く頑張ったものだ。

そして、体育部では入学と同時に鈴木君と苦労して、剣道部を創部し、お互い良きライバルとして、4年間一所懸命練習に励んだものだ。創部3年目にして、全日本学生剣道大会に関西の代表チームの一つとして大将・副将のコンビで出場したのも、今は、懐かしい思い出となってしまった。

鈴木君は、卒業と同時に主婦の店ダイエーに入社。その時彼に、「スーパーって何だ?」と聞いたのを覚えている。

彼には、時代の先取りをする「先見の明」があった。その後、彼は一時退社して、故郷で教鞭に立ったが、話によると、すぐさま今の中内功社長に呼び戻され、労働組合を結成し、初代書記長に就任。まもなく人事課長、人事部長、そして、30代で取締役へとスピード出世し、社長の懐刀としてダイエーを育てあげた。

最近では、南海ホークスの譲渡の話の後で、「松尾君、ホークスを立派に育てあげるから、見ておってくれ」と言った言葉を覚えている。今のホークスの強さは、彼の約束どおりである。

今は、私の一番誇れる友を亡くした悲しみで一杯である。

鈴木君、必ず君の分まで、これからの人生で頑張るぞ!!

最後に、ご家族の皆さまに、心から哀悼の意を表し、この駄文を

鈴木君に捧げる次第です。

南海電気鉄道株式会社・理事
ニッポンレンタカー南海
株式会社・社長
松尾剛男(29)

親友松本義和君を偲ぶ

君とは昭和22年4月、共に大阪経済専門学校に入学して以来四十数年のつき合いであった。

今、追悼文をしたためようと思ったが、思い出されることばかり多くて何を書こうかと迷ってしまう。

昭和24年の学制改革で、母校大阪経済専門学校を新制大学に昇格させるための自治会活動に積極的に参加してくれたこと。卒業後も「互笑会」などという勝手な名称の会を作って、恩師風間先生の中国語研究会（麻雀のこと）を開いて、その常連であったこと。その後は、同窓会の常任理事・母校の評議員となって、『澱江』の編集に、50周年記念事業募金に一所懸命になっていた姿等々、思い出せばきりがない。

子育ても終わり、お互いに多少余裕もでき、一緒に夫婦同伴旅行をした時には、君から散々孫の可愛さの話を聞かされ、小生にも外孫ながら孫ができ、これから孫でも連れて旅行する機会でもあればと思っていた矢先だった。平成5年12月6日、奥さんから「容態が思わしくなく入院した」との連絡を受けて、病院に駆けつけて君と面会した時の気持ちは到底筆舌につくせない。

そして、その6日後の12月12日、君との永遠の別れの日が来てしまった。

紙面の都合で君との思い出の万分の一もしたためることはできないが、今はただ「瑞雲院義山和修居士」となった君が安らかに眠ってくれることを祈るのみである。

同窓会事務局長
陰下嘉典(19)

亀井　寛氏を偲んで

去る9月の中旬、同窓会鳥取県前支部長（初代支部長）であった亀井寛氏（旧昭和高商・第12回卒）が急逝されました。たまたま、昨年11月3日の同窓会総会では亀井氏の鳥取支部育成のご功績に対し、感謝状が贈呈され、12月には小生同期生のよしみで磯野会長の代理として直接ご本人に感謝状をお渡しすることとなり鳥取に赴きました。その時はとてもお元気で私とは同期生の気安さもあって歓談いたし、再会を約して帰路につきました。それだけに訃報に接した時は呆然自失、しばらくは何も手につきませんでした。誠に残念です。

亀井氏は生粋の鳥取県生まれで、戦後は家業（㈱亀井堂）の三代目を継がれ、持ち前の積極性と人に好かれるお人柄で事業を拡大し、鳥取県産業界に大いに貢献されました。

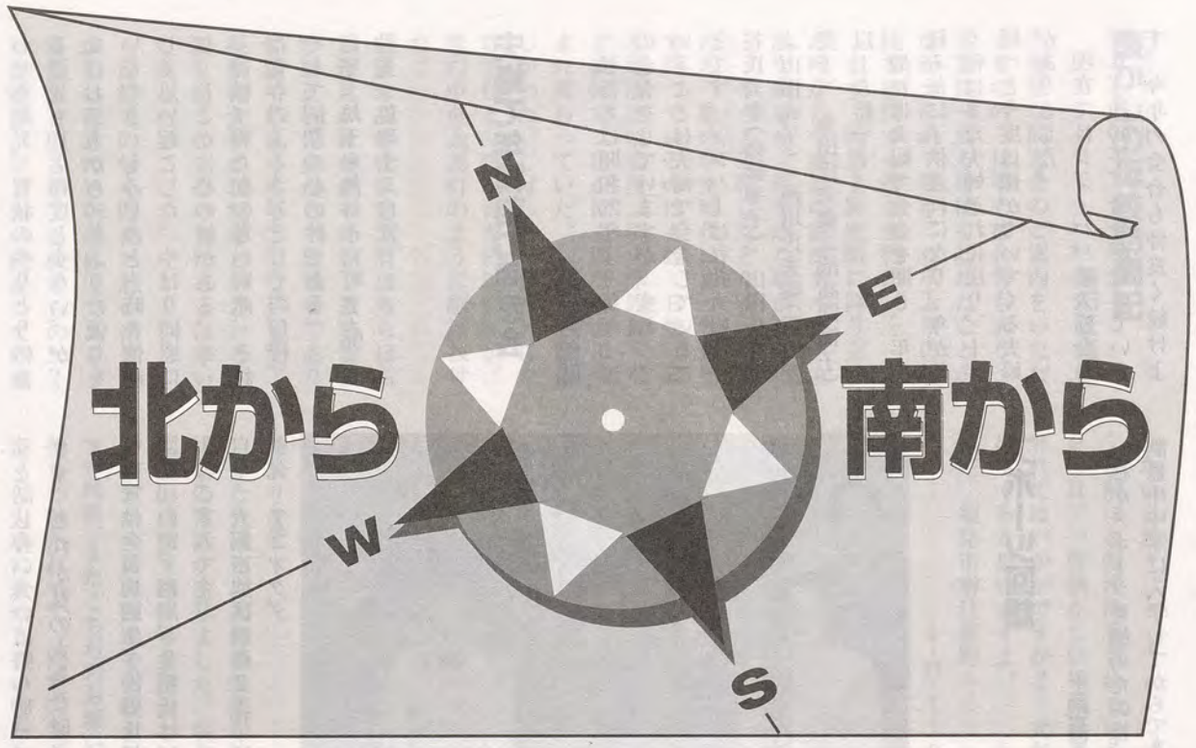
また、彼は当時（戦前）の名門鳥取商業学校の野球部の選手であったと記憶しています。しかし、戦時中のため、昭和高商に入学してからも野球どころではなかっただけに悔しかったと思います。そんな思いもあってか戦後野球が華やかになってからは母校大経大に優秀な選手を送り込む努力をしてくれました。事実鳥取商高から幾人かの選手を送り込んでくれたものです。

また、数年前開催された鳥取国体は、関係者の一人として、その準備から運営まで全力投球で鳥取国体を成功させた由承っています。彼の少年時代からのスポーツマンシップを遺憾なく発揮されたものと存じます。

鳥取支部は亀井氏のご努力の後現西山林一支部長に引き継がれさらなる発展が期待されます。

ここに故人を偲び心からご冥福をお祈りいたします。

同窓会副会長
玉岡　浩(12)



骨身惜しまぬご指導に感謝

植田音次郎(2)

母校のお陰で計理士の資格を取得することができました。会計事務所開設に余念がなかったのですが、当時の社会情勢は戦を挑む方向へと変わり、やむなく教職の道に進むことになりました。それから定年を迎えるまで約40年間、生徒指導に当たってまいりました。

これも母校の教官が骨身惜しまずご指導くださったお陰と感謝いたしております。この機会に厚くお礼申しあげます。

最後に、母校がその存在をアピールし、卒業生の就職に格別のご尽力をお願いいたします。

自宅　枚方市長尾台2-2-8

思い出と現役サッカー部員に喝

木口正勝(9)

思えばサッカーで始まって、サッカーで終わった3年間。鬼のような仮野（渡辺）督之助(5)監督（永眠）のもと、厳しい練習に耐えぬいた。故黒正先生の頑張リズムは、当時のメンバーの個性強い野生の暴れ馬のようなチームにうまくかみ合っていた。チームプレーに徹し、友情を深めたのもその時で、大隅音頭にのって黄金時代が始まった。

現在も昭蹴会で毎年集まって親交を深めている。一人去り、また去って行った連中も集まって楽しく球を蹴っていることだろう。「早く来んかいなあ」と言われているような今日このごろだ。

現役サッカー部員奮起せよ。この2、3年は2部に低迷とはどうなっているのか。もっと根性を出して勝とうとしないのか。情けないの一言につきる。スタッフ連中にも問題あり。チームカラーはあるのか。しっかりしたプランを立てて、旺盛な行動力と指導力しかない。猛省を促す。

自宅　西宮市弓場町1-37

同期の心の絆

嶋田　茂(11)

昨秋、思いがけず同期の三間雅美君、その前年夏には加藤二一君から便りをいただいた。両君とは卒業以来初めての接触である。

私たちは戦時の繰り上げ卒業であったが、学年半ばで軍務に服す同窓も多く、昭和19年9月の卒業式に参列したのは半数程度のみ。以来50年、古稀も近くなったが、母校を訪れる機会もなく、顔を合

わせた諸兄、賀状のやりとりのある諸兄も10名程度と少ない。が、先日お二人から50年ぶりに便りをいただき、しみじみと当時を懐かしく思い起こした。やはり同窓には、どこかに心の絆がある。

母校で得た私の尊い財産、それは青春のふるさととしての母校、そして同期の心の絆である。

自宅　埼玉県熊谷市宮町2-96
勤先　税理士（自営）

夫婦で年輪刻む同窓会

奥田芳郎(15)

私たちは昭和29年より毎年一度の会合をしていますが、変わっていることは夫婦で会合していることです。メンバーは私共夫婦、渋谷氏夫妻(高橋幸子)、山田氏夫妻(山田成子)、西川氏夫妻(西川登美子)、金田氏夫妻（故高岡節子）以上5組です。

最初は夫婦で会合を開き、年を経る毎に子供連れになり、年が行く程にまた夫婦連れに戻り、十年経つと今度は孫がついてくる夫婦がありました。

現在ではジジ・ババの夫婦会となり、約40年、会合が続いています。今年の会合も仲良く続けようと話し合い大いに張り切っています。これが私の大きな財産です。

○女性は全員14回生、渋谷氏は15回生、山田、西川、金田氏は14回生のご主人です。

自宅　大阪市旭区新森2-19-16
勤先　(有)オクダ

毎年夫婦そろっての同窓会

スポーツ回想

土田善久(17)

私がスポーツを始めたのは、旧制豊中中学に入学してからである。当時の送球部（今のハンドボール部）で、戦時中だったのでそれは厳しい練習だった。終戦後、第一回国体が西宮球場を主会場に開催され、中学の部で全国優勝した時の感激は今も忘れることができない。そのスポーツを通じて学び得た貴重な体験は大学を卒業して、会社に入った後も私の人生を支えてくれている。

それは精神論になるかもしれないが、「自分が〝しんどい〟時は、相手も〝しんどい〟のだ。ここでもう一パツ頑張れば必ず勝てる」という頑張りの精神だ。

今もゴルフ場に勤めているので楽しくスポーツをやっている。

自宅　箕面市箕面4-3-5
勤先　るり渓開発(株)（社長）

平成不況に思うこと

原田春夫(23)

すべてのものは宇宙の大法則によって動いている。政治、経済及びそのほかすべての物も同様である。平成不況といわれている現在、不況を回復する特効薬はない。が、処方箋はある。医者が病気を治すのではない。手助けをして病人の自己回復力を高めるのである。

ソ連の崩壊は世界の政治、経済に大きな変革をもたらした。米国の対日政策は急速に変化しつつある。急激な円高、それに伴う国内産業の空洞化、価格破壊そのほか予期しないことが起こるかもしれない。これに対応する処方箋を出すのは私ではない。諸先生方の適切な処置をお願いしたい。

自宅　山口県宇部市厚南区
　　旭が丘団地138-9

無題

磯田郷一郎(26)

株・不動産・会員権等、不況回復への道はまだ遠い。が、好況の時こそ悪い時代にそなえてと思い、体質を強化し続けるメジャーなビジネススタイルになじみつつ私の32年は経過した。経済大学で学んだ合理的発想と、自由経済社会で実施し体験した手法等は、私のビジネスライフの財産になっている。

この永かった研修コースも残り3年で一応卒業することになるが、大学に高齢者学習ゼミが開設されれば受講したいと思っている。

自宅　東京都北区中十条
　　1-13-9-101
勤先　エッソ石油(株)

懐かしの母校訪問記

猪口正通(27)

毎年、同窓会のご案内をいただくものの、仕事の都合等もあり、卒業後一度も母校を訪ねたことがなかったが、昨年、32年ぶりに母校を訪問する機会を得た。

まず、阪急上新庄駅に降り立った時から今浦島の感があった。立派な駅ビル、賑やかな駅前商店街…。やっと母校にたどり着いたものの、私の学生時代にあった建物で残っているのはA館、B館、日本経済史研究所（現大学院館）など数棟で、ほかは立派な学舎に生まれ変わっていた。しかし、懐かしかった。しばしキャンパスにたたずむと、我が青春の思い出が、頭の中を走馬灯のように駆け抜けた。

夏休み中で学生諸君はちらほらしか見かけなかったが、教務課長の黒正明先生から、創始者であり父親である黒正巌先生の思い出や、現在の大学の状況などいろいろお話を伺うことができたことは幸いであった。

母校での学生時代の思い出、懐かしい青春の思い出は宝である。定年まで後3年、母校からのエールを胸に、ゴールへ向かって頑張りたいと思う。

母校にご無沙汰をされている皆さんは、一度懐かしい母校を訪問されてはいかがですか？元気が出てくると思いますよ。

自宅　姫路市増位新町
　　1-21-1108
勤先　兵庫県立長田商業高等学校

持ちつ持たれつの同窓の友

山本幸伸(28)

私は、経大を卒業して今年で32年になります。

早いもので、新幹線から母校を見るたびに昔の面影はなく、立派に発展していることを誇りに思っています。

そこで、今回のテーマの母校で得た私の財産といえば、まず、多くの友を得たことが第一かと思います。今でも先輩、同期、後輩の友から年賀状を30通ほどいただいております。

また先ほど、広島の後輩から儲け話の電話がありました。現在同窓会山口県支部幹事と議員という肩書きから千客万来で、頼まれごと、商売、またこちらのお願い等、持ちつ持たれつで、同窓の友と仲良く、大事におつき合いいたしております。

私を導いてくれた言葉

金井徳蔵(29)

昔から「光陰矢の如し」と言われているが、50代半ばになって強くこの言葉の持つ意味を実感している。サラリーマンとして頑張っている人、実業家として頭を痛めている人、家業を継いで城を守っている人、さまざまな人生を送っておられることと思う。

私も50数年生きてきて、困難にぶつかったり、迷ったりしたことがある。しかし、それを乗り越えることができたのは先輩諸兄に教わった「決断したら後悔するな。不安な時こそ自信を持て。調和を大切に」という言葉があったからである。

これまで私を導いてくれたこの言葉と、それを教えてくださった先輩方が私の母校で得た財産である。

自宅　福井県敦賀市本町1-10-27
勤先　(株)三徳不動産

おる今日このごろです。

自宅　光市室積中松原4281
勤先　室積木材(株)・
　　(有)山幸興産

教員として思うこと

増野　実(29)

卒業後郷里島根に帰り、高校の商業の教員として32年。勤務校も津和野、出雲商業、2度目の津和野、そして現在浜田商業に勤務しています。

校務分掌は主に進路指導でしたので、同窓生の皆さんの近くで、私の教えた生徒たちがお世話になっているかもしれませんね。現在県内の高校で8名の同窓生が、県商業教育界の中枢として活躍しています。しかし、ここ数年、後輩が途切れていることを寂しく思っています。

それにしても現在の不況、いつになったら脱出できるのでしょう。高校生の就職にも大きな影響があります。1日も早く好況に転じることを願っています。

自宅　益田市三宅町8-4
勤先　島根県立浜田商業高校

21世紀に生き残れる大学に

栗原央幸(31)

大学を卒業後29年、地方で高校教師をしています。職業柄か母校の動きに少なからず関心を持ってみています。

高等学校は平成6年度から新学習指導要領が実施に移され、いろいろな教育改革に取り組んでいます。大学においても、18歳人口の減少の中で、種々の改革がなされているものと思います。が、地方に住んでいるせいか、最近母校の顔が見えにくくなってきているような気がしています。新興の大学に押されているように感じます。

センター試験の導入、女子学生向きの学部の新設、理工系学部を含めた総合大学構想、大学の名称変更等21世紀に生き残れる大学として発展していくことを期待しております。

自宅　松山市味酒町2-9-2
勤先　愛媛県立長浜高等学校

教員28年

高嶋(南部)　照(32)

卒業して28年余りずっと教員をやっております。長い中学校勤務の後、今は小学校の教頭です。経済学、会計学を学んで小学校勤務とは畑ちがいもはなはだしいわけですが、そこは「慣れと努力」で頑張っています。

経大卒の教職員も多数になると思いますが、教員は視野がせまくなりがちで、体験が足りないと思うのです。そこで身分保障の上で30歳までに1回、40歳代で1回、期間は1年以上、民間企業での勤労体験を義務とするというのはどうかと最近思うのです。

ところで、昭和40年当時の泉谷ゼミ、準硬式野球部の諸氏元気ですか。

自宅　福井県坂井郡三国町山王4-3-22
勤先　丸岡町平章小学校

"澱江大学"

森野洋造(32)

毎回『澱江』を読んで思うことは、大学のスポーツを強くして、有名にしたらという意見がよく見られるが、こんな考えは邪道だと思う。

スポーツが強くても良くならない大学は良くならない。それより「あの大学は就職に強い」とか「実践向きの大学である」という評判をあげた方が、大学の地位を高めることになると思う。講座に税理士・公認会計士コースを設け、試験にパスする学生が多ければ実践向きの大学という評判は立つ。また卒業生で実業界で成功した人を経営陣に迎え、多方面から大学が良くなる方策をとってもらったら良いと思う。

経大もそろそろ大学のC.I.が必要なのではないだろうか。重厚な〝澱江大学〟という校名がとれるではありませんか。

自宅　彦根市大薮町225-67
勤先　マルピー薬品(株)

片道2時間半の学生生活

寺井詔一郎(33)

田舎の近江鉄道八日市駅から国鉄近江八幡、高槻、阪急富田、上新庄、そして、徒歩で大学へ。通学片道約2時間半。9時からの剣道部の稽古、午後は、午前の講義のノート写し、良くぞ続いた学生生活である。剣道師範の中川先生の厳しく心ある剣風と部員諸兄に恵まれたと感謝している。

商業科教師として早くも28年、齢50歳である。インターハイ出場歴6回、生徒と共に片時も竹刀を離さず、経大での経験を大いに教育に生かすことができ、大学の名誉の下、誇りを持っている。

現在は、剣道7段教士としての生涯剣道、情報処理教育の指導に追われている。

自宅　滋賀県八日市市
　　建部日吉町676
勤先　滋賀県立日野高等学校

生き方、道の選び方

金子洋巳(36)

PHP8月号に松下幸之助氏の遺した言葉として「道」について掲載されている。

「自分には自分に与えられた道がある　広いときもある　せまいときもある　のぼりもあればくだりもある　思案にあまるときもある　しかし心を定め　希望をもって歩むならば　必ず道はひらけてくる　深い喜びもそこから生まれてくる」

といったものだったと思う。

解説で、「みんながそれぞれの道を、それぞれ精一杯歩けば良い。他人の歩み方を見て、そこから教えをえるのは良いが、それを真似する必要はない。自分の道を一所懸命歩めば良い。自分の道を見つけ、精一杯歩めば良い」と書いている。

私は頭も良くないし、利口でも、話術巧みでもない。だから、額に汗して働く。人が嫌がったりして取らない、シンドイ道・シンドイ方法を選ぶ。それが私の一番やり良くできる道だからと思ってやっている。しかし、時には疲れたな、ドン臭いな、もっとスマートにやれんのか、楽しく、楽にやれんのかと自己嫌悪になる。

が、そんな私を見て人は、「いつも一所懸命やってるね」とか「朝は一番早く、帰るのは遅く、文句も言わんと良くやるね」と言う。実力以上に評価されるのは辛い。私にはこの方法しか道がないからやっているだけ、死ぬ時自分が満足できたら、それで良いと思ってやっているだけだ。

自宅　福井県坂井郡丸岡町
　　北横地1-7
勤先　福井テレビジョン放送(株)

故郷・長野の近況

唐沢正富(36)

卒業以来、早24年経ち、前任地大阪より故郷長野へ赴任し、これまた10年が過ぎました。この7月には松本空港がジェット化再開港となり、大阪まで空路1時間と関西が身近に感ぜられるようになりました。

現在当地は4年後の冬季五輪に向け施設建設や新幹線を含めた高速交通網の整備に追われ、わが社も関連の工事に関わっております。五輪の波及効果はバブルがはじけた影響で期待した程望めず、リストラも思うように進まず、大変な時です。しかし、これも天与の試練と頑張っております。

長野といえば、善光寺と自然の景観、それにスキー等の冬季スポーツですが、皆さんも是非一度来県ください。お待ちしております。

自宅　長野市大字大豆島6308
勤先　綿半鋼機(株)

不況脱出の哲理

広瀬　勲(36)

学校を出てすぐ飛び込んだのが、船場の中小企業。これがバリバリの同族経営の夜具地メーカー。多少の曲折の後、今の会社に入って14年。トータルで25年繊維畑一筋に歩いて来ました。

しかし、この繊維、今では典型的な構造不況業種の横綱格。右を見ても、左を見渡しても不況一色。明るい話題は皆無です。小生も真綿で首を締められるような毎日で、会議の度に、胃がキリキリと痛むありさまです。

ところで、弊社取引先の船場の老舗創業者の哲理を参考までに。

㈠損して徳とれ、㈡利は源にあり、㈢始末とはものを生かして使うこと、㈠利は努力の結果、㈡金は返借に節あり、㈢人少なきところに才覚育つ。

こんな時代遅れの古臭い言葉の中に、ひょっとすると、不況脱出の鍵があるのかも。

自宅　生駒市小瀬町891-24
勤先　日商岩井繊維(株)

一生の宝物をありがとう!

岩本(竹端)美紀子(39)

現在母校で3年生のクラス担任をしていますが、進路のH・Rではついつい私の学生時代の想い出話になってしまいます。

無我夢中で過ごした4年間は私にとって一生の宝物です。いろいろなできごとや多くの人たちとの出会いが今の私を支えてくれているのだといつも思っています。生徒たちに「かえれるものならば、もう一度あのキャンパスで思いきり飛びはねてみたいわ」と話しています。

もし、このコーナーで私のことを想い出してくれる人がいたらとても幸せです。小さい体でエクボがあっていつもニコニコしていた私です。速記部で喜田ゼミ出身の女の子でした。旧姓は竹端といいます。

これからも頑張っていきます。すばらしい想い出を本当にありがとう!

自宅　岡山県英田郡作東町土居
　　2479-2
勤先　岡山県立江見商業高等学校

同窓生諸氏!

木村正裕(39)

私は今年で44歳、社会人になって20年余りです。最近になって、同級生の活躍を聞いたり、限られた仕事の関係者の中に、一度もお目にかかったことのないクラブOBの大先輩を見つけ驚いたりで、経大の懐かしさ、存在感をまさに感じております。

若かりしころ(?)は経大のことは気にせず生活しておりましたが、最近懐かしさを感じ始めた次第です。私が気がつかないで身近にいる同窓生諸氏!　お声がけの程よろしくお願いします。

自宅　明石市大久保町高丘
　　7-17-9
勤先　兵庫県土地開発公社

政治経済への関心を胸に

山本(谷崎)光子(40)

母校で得たものは、多くの人々との出会いと、政治経済に対する関心なのではと思います。今回の自社連合のニュースに大変興味を持っており新聞にかじりついています。

ひょっとして私たちは貴重な時代を生きているのではないか。北朝鮮の動向は、とても歴史的なこ

となのかもしれない。そう思うと、平凡な日々を過ごしている私どもですが、政治に関心を持ちながら、これからも暮らしていきたいと強く感じるものです。

自宅　加古川市尾上町長田
　　282-12

年1回の楽しみ

塚本行雄(41)

経大在学中に教職課程で商業科の免許を取らせていただき、現在の高校へ就職することができていつも感謝しております。勤務校より2年間に1人ぐらいの割合で経大へ進学する生徒がおります。その生徒に毎年10月下旬の大樟祭のパンフレットを届けていただき、将棋部主催の将棋大会に参加することが毎年1回の母校を訪れる楽しみとなっております。

学部も増え、入試方法も変わってきておりますが、今後の発展を祈っております。

自宅　奈良県香芝市白鳳台
　　1-18-11
勤先　大阪女子商業高等学校

社会に役立つ教育を

南　等(49)

私が思うのは、これからは大学教育においても奉仕活動、ボランティア活動をもっと重要視する必要があるということです。例えば日本でも米国のようなシステムを早急に確立し、世のため、人のために貢献できる人材を育成しなければなりません。ですから、母校においても、是非ともボランティア活動を通して、社会から評価される大学になってほしいと思います。

自宅　泉佐野市上町2-10-20-810
勤先　(株)三協製作所

我が故郷〝大阪〟

荒川　剛(54)

7月上旬、上阪した際に懐かしく思い経大の姿を見に行きました。私の学生のころのようにジャージにサンダル姿が見られず少しさみしく思いましたが、それが今の学生なのだとも思います。

昨年に続いて投稿する私ですが、今年も「第二の故郷大阪」について書こうと思います。昨年の『澱江』を見て少林寺拳法部だった友人から思いがけず年賀状が届きました。さすが人情の大阪であると思いました。誰が読むか分からないのでしっかり書こうと思いますが、経大を想えば大阪を想うという結果になってしまいます。

今の学生には、4年間何かで完全燃焼してもらいたいと思います。

自宅　富山県富山市梅沢町
　　2-8-10
勤先　富山県立富山商業高等学校

TOPICS

地元球団、サッカー・セレッソ大阪のスポンサーへ

18歳人口の減少が進む中、大学の生き残りが迫られています。各大学ともさまざまなイメージアップを図っていますが、本学は全国の大学に先駆けて、Jリーグ入りをめざすセレッソ大阪と競技場に並べる移動看板の掲出を契約しました。

移動看板はタテ90センチ、横4.5メートル、白地に紺色の文字で大学名と校章を記載。テレビ中継や、中高生がおし寄せる競技場で、高いPR効果を発揮するものと考えています。

セレッソ大阪のサポーターに名乗りをあげたことで、大学名を全国的に浸透させ、受験者を増やすと共に活気ある大学のイメージをアピールしていきます。

皆さんにご投稿いただいたテーマ

- ●平成不況への対処
- ●母校への提言
- ●母校で得た私の財産
- ●その他

お知らせ～事務局～

記念品販売のお知らせ

平成6年度同窓会総会の参加者に配布する記念品として、新しいシンボルマークとロゴタイプの入ったタオルをつくりました。

色はシンボルマークと同じグレイッシュ・ピンク、サイズは62×127㎝。色鮮やかでシックなバスタオルです。(写真参照)

ご希望の方は、同封の振込用紙で同窓会事務局までお申し込みください。(販売価格1枚1,000円)

なお、売り切れの節はご容赦ください。

本部役員一覧表

1994.11.20現在

役職	氏名	卒回
会長	磯野　斉	3
副会長(組織部担当)	南部　俊一	9
〃(財務部担当)	玉岡　浩	12
〃(支部長会幹事会担当)	太田　一澄	17
〃(総務部担当)	水納　敏也	25
事務局長	陰下　嘉典	16
参与(広報部担当)	前田　悦子	13
参与	上野満里子	14
参与(財務部担当)	打出　清	20
〃(組織部担当)	鶴谷　利一	28
〃(財務部担当)	平尾　哲男	28
組織部部長	車野　修三	27
〃副部長	森　政彦	33
総務部部長	津秋　靖博	29
〃副部長	福元　輝雄	37
財務部部長	中村　敏啓	31
〃副部長	大西　健介	35
広報部部長	波根　伸俊	32
〃副部長	神田　博	30
(以上常任理事)		
長間	好彦	3
会誉	達生	2
顧〃	善辰	5
〃	重郎	7
〃	市昇	10
〃	晃	11
〃	尾子	8
〃	智三	13
監〃	美祐	32
事〃	植村	

役職	氏名	卒回
長間	好彦	3
会誉	達生	2
顧〃	善辰	5
〃	重郎	7
〃	市昇	10
〃	晃	11
〃	尾子	8
〃	智三	13
監〃	美祐	32
事〃	植村	

『澱江』購読料のお願い

「自らの講読料で、『澱江』を育てよう！　1,000円にご協力を！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました澱江購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集子一同は、この力強いご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、一ふんばり、二ふんばり頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局、三和銀行本支店をご利用になれば振込手数料は不要です)

異動のあったときはただちにご連絡ください。

- ●住所変更　●呼称変更
- ●勤務先変更●所属部課
- ●役職異動　●電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。

とくに、官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申しあげます。

コンピュータシステムの名簿をご利用ください。

同窓会会員名簿は、現在、同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、

1、郵便番号による都道府県市町村別会員名簿作成
2、ゼミ別会員名簿作成
3、卒業回数別会員名簿作成
4、クラブ別会員名簿作成
5、業種別会員名簿作成
6、封筒用漢字ラベル作成

などのアウトプットが可能です。

逍遥歌

作詞　中村行男(16回卒)
作曲　松川圭一(15回卒)

1．比処　城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2．水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変るまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3．踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな比の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

学園歌

作詞　黒正　巌
　　(昭和高商初代校長)
作曲　水野泰孝
　　(元本学教授)

1．商都の東北澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2．一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3．黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八衢を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

学　歌

作詞　秋本吉郎
　　(元本学教授)
作曲　柴田南雄
　　(放送大学教授)

1．大淀の　水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原　緑が沁みる
この若さ
希望は明るい　蒼穹かけて
永遠の青春　みなぎる学園
大阪　大阪経済大学

2．大樟の　蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が　幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた　融和の象徴
繁れ自由の　花さく学園
大阪　大阪経済大学

でんこう
澱江
1994

■発行日　1994年12月20日
■編　集　同窓会広報部
■発行所　大阪経済大学同窓会
〒533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話(06)328-2431
■印　刷　凸版印刷株式会社
〒553 大阪市福島区海老江3-22-61
電話(06)454-3256

お知らせ～事務局～

平成4年度版（平成5年3月発行）同窓会名簿を販売しています。

新名簿を販売しています。
ぜひ購入して有効に活用してください。

〈収録概要〉
◇第1回卒業生より第58回卒業生
（平成4年3月卒業）
◇創設時より平成4年3月までの
大学院の卒業生

〈価格〉
◇一冊　¥6,000（送料込み）

〈申し込み方法〉
◇郵便振込
◇銀行振込
いずれの場合も同封の払込用紙をご利用ください。
（注）郵便局または、三和銀行本支店をご利用になれば払込手数料はいりません。
ただし、三和銀行本支店以外の銀行をご利用の場合は、払込手数料が必要ですのでご了解ください。
◇現金書留
送付先／〒533
大阪市東淀川区大隅
2－2－8
大阪経済大学同窓会
名簿係宛

〈お問合せ先〉
◇大阪経済大学同窓会事務局
☎06・328・2431㈹

ご注意

●最近皆さまのお手元に、複数の出版社等から、大阪経済大学同窓会名簿の製作に当たってという名目で、調査カード並びに購入の勧誘が届いていることと思います。この件についてさまざまなお問い合わせが寄せられていますが、同窓会本部とは一切関係がありません。

●ご承知おきくださいますようよろしくお願い申しあげます。

編集後記

▼景気回復の待たれる1994年でした。明るい未来を信じ、会員同士の励ましあいに期待をします。

▼同窓会総会の場で、母校のシンボルマークとロゴタイプが発表されました。キャッチフレーズ「エコノ・ロマンティストの世紀へ」も決まりました。母校の躍進に期待したいと思います。

▼支部活動も活発です。ビジネスや趣味の話に花が咲いています。氷河期といわれる後輩の就職活動にもご協力をお願いします。

▼『澱江』編集の大先輩、松本義和副会長が他界されました。故人の遺志を継ぎ頑張りたいと思います。

▼多数のご投稿、取材へのご協力に心より感謝いたします。「澱江購読料」へのご協力もお願いいたします。